流山市
障害福祉計画アンケート調査
【結果報告書】

令和５年３月

流　山　市

目　次

第Ⅰ章　調査の概要 1

１．調査概要 3

第Ⅱ章　障害者アンケート調査結果 5

★　調査票に記入していただける方はどなたですか。 7
１．あなたご自身のことについて 8
２．生活の状況 15
３．お子さんの生活状況 30
４．外出・移動支援について 36
５．社会参加・地域参加 47
６．雇用・就労 52
７．保健・医療 57
８．情報・コミュニケーション 61
９．介助者の状況 65
１０．権利擁護について 72
１１．障害者虐待防止法について 77
１２．ヘルプマークについて 78
１３．障害者福祉センターについて 79
１４．今後の施策の重要度 81

第Ⅰ章　調査の概要

1. 調査概要

（1）調査の目的

本調査は、令和６年度から始まる「第７期障害福祉計画」、「第３期障害児福祉計画」の策定にあたり、障害者の皆様の実情やニーズを把握したり、市民の皆様の障害者施策へのご意見を新しい計画に反映させるために実施しました。

（2）調査方法と調査期間

調査方法：郵送配布、郵送回収

調査期間：令和４年 12 月 23 日～令和５年１月 10 日

（3）調査区分

調査対象	配布件数	回収件数	回収率
市内に在住の障害者手帳または自立支援医療受給者証をお持ちの方、障害福祉サービス受給者の方から無作為抽出	1,500	774	51.6%

（4）報告書をみる際の注意点

①調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第２位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が 100.0%にならない場合があります。

②複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常 100.0%を超えます。

③図表中の「ｎ」とは、回答者数を表します。また、全体の結果で「ｎ」が 100 を下回る場合、本文中では回答比率と共に回答者実数も併記しています。

④選択肢の語句が長い場合、本文中や表・グラフでは省略した表現を用いていることがあります。

⑤「その他」や「無回答」のように、回答から読み取れるものが少ないものについては、言及しないことがあります。また、クロス集計表等の表側においては、表側となる設問に「無回答」がある場合、これを省略しています（ただし、全体の件数には含めているため、各項目の件数の合計が全体の件数と一致しない場合があります）。

⑥クロス集計等の分析の際には、全体の結果より５ポイント以上多いものを「多い」とし、５ポイント以上少ないものを「少ない」と表現しています。

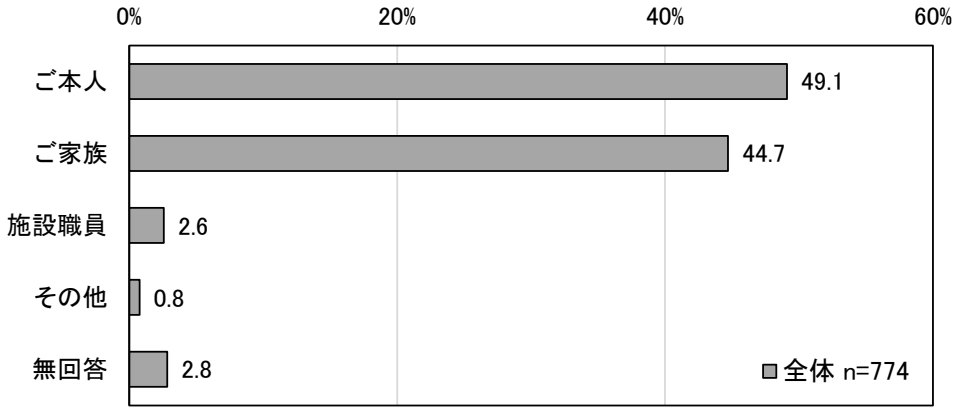
⑦回答が少数である場合の比率については、特定の意向が強く反映される場合があることにご留意ください。

⑧障害種別のクロス集計は「問４ 障害や難病の状況」の数値を使用しています。また、「身体障害者手帳所持者」を【身体】、「療育手帳所持者」を【知的】、「精神障害者保健福祉手帳所持者」を【精神】、「難病（特定疾患）認定者」を【難病】、「発達障害と診断」と回答した人を【発達】、「高次脳機能障害と診断」と回答した人を【高次】と、省略して記載しています。

第Ⅱ章　障害者アンケート調査結果

★ 調査票に記入していただける方はどなたですか。

回答者については、「ご本人」が 49.1％で最も多くなっています。



■障害種別

【身体】、【精神】、【難病】では「ご本人」が、【知的】、【発達】、【高次】では「ご家族」が最も多くなっています。

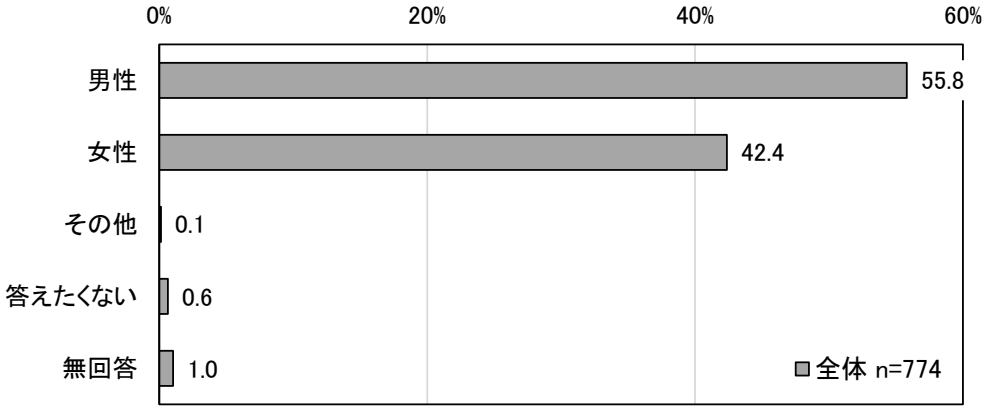
	ご本人	ご家族	施設職員	その他	無回答
全体 n=774	49.1	44.7	2.6	0.8	2.8
身体障害者 n=400	65.0	30.3	1.0	1.0	2.8
知的障害者 n=210	15.2	75.7	7.1	0.5	1.4
精神障害者 n=148	74.3	16.9	3.4	2.0	3.4
難病患者 n=50	52.0	48.0	0.0	0.0	0.0
発達障害 n=122	20.5	74.6	3.3	0.0	1.6
高次脳機能障害 n=10	20.0	80.0	0.0	0.0	0.0

（単位：％）

1. あなたご自身のことについて

問1　あなたの性別をお答えください。（○は1つだけ）

性別については、「男性」は 55.8%、「女性」は 42.4%となっています。

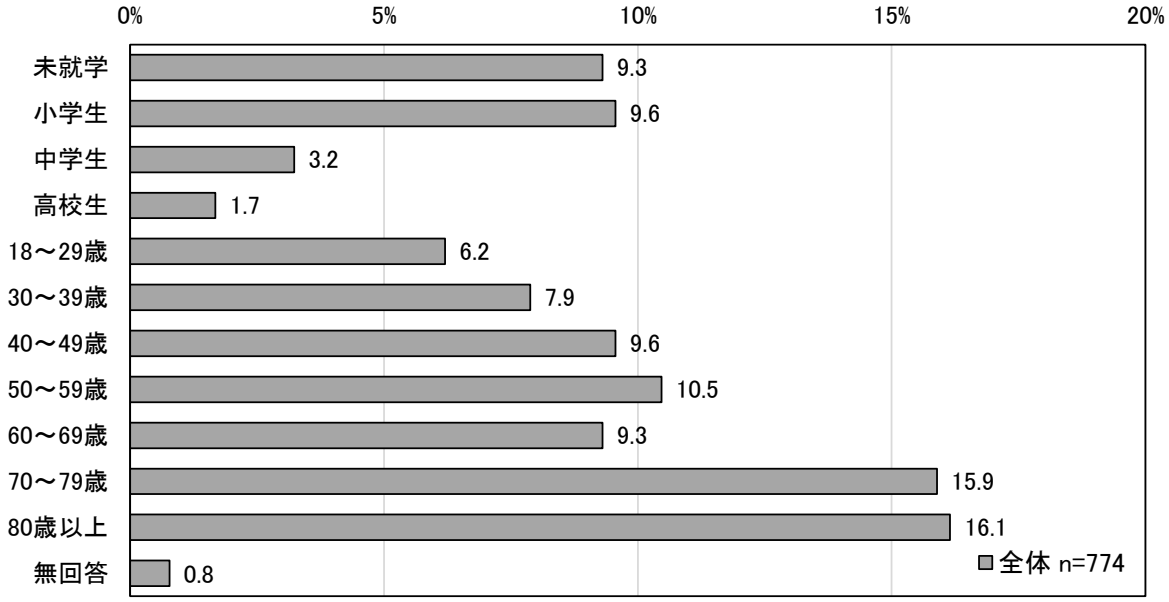


	男性	女性	その他	答えたくない	無回答
全体 n=774	55.8	42.4	0.1	0.6	1.0
身体障害者 n=400	52.3	46.5	0.0	0.5	0.8
知的障害者 n=210	61.0	37.1	0.0	1.0	1.0
精神障害者 n=148	48.6	45.3	0.7	2.7	2.7
難病患者 n=50	52.0	46.0	0.0	2.0	0.0
発達障害 n=122	61.5	35.2	0.8	1.6	0.8
高次脳機能障害 n=10	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

問２　あなたの年齢は、何歳ですか。（令和４年１２月１日現在）

年齢については、「80 歳以上」が 16.1%で最も多く、次いで「70～79 歳」が 15.9%、「50～59 歳」が 10.5%となっています。



■障害種別

【身体】では「70 歳以上」、【知的】では「小学生」、【精神】では「18～59 歳」、【難病】では「小学生」、「70～79 歳」、【発達】では「未就学」、「小学生」、「18～39 歳」が全体より多くなっています。

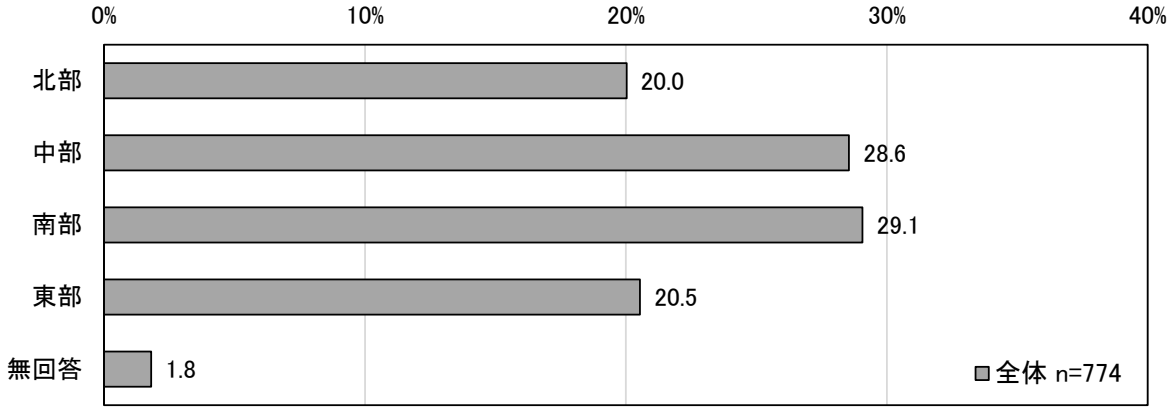
	未就学	小学生	中学生	高校生	18～29歳	30～39歳
全体 n=774	9.3	9.6	3.2	1.7	6.2	7.9
身体障害者 n=400	1.8	2.3	1.3	0.3	3.3	4.3
知的障害者 n=210	11.0	20.0	9.5	6.2	11.0	12.4
精神障害者 n=148	0.0	1.4	0.7	1.4	14.2	14.2
難病患者 n=50	6.0	16.0	4.0	0.0	6.0	4.0
発達障害 n=122	18.9	26.2	4.9	4.1	13.9	14.8
高次脳機能障害 n=10	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	10.0

	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	無回答
全体 n=774	9.6	10.5	9.3	15.9	16.1	0.8
身体障害者 n=400	7.8	8.5	15.0	28.3	27.3	0.3
知的障害者 n=210	10.0	11.4	1.9	2.4	3.3	1.0
精神障害者 n=148	23.0	23.6	9.5	6.8	3.4	2.0
難病患者 n=50	10.0	8.0	10.0	24.0	12.0	0.0
発達障害 n=122	9.0	7.4	0.0	0.8	0.0	0.0
高次脳機能障害 n=10	0.0	10.0	10.0	10.0	40.0	0.0

（単位：%）

問３　あなたがお住いの地域はどこですか。（○は１つだけ）

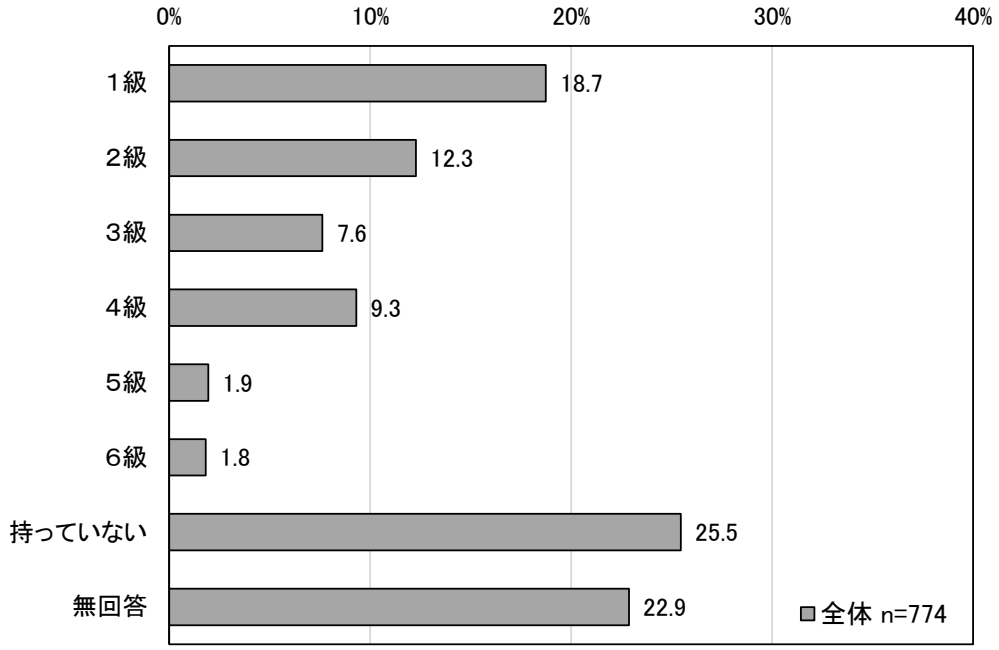
居住地域については、「北部」が 20.0%、「中部」が 28.6%、「南部」が 29.1%、「東部」が 20.5%となっています。



問４　あなたの障害や難病の状況についておたずねします。
（以下の①～⑧の項目ごとに該当する数字を○で囲んでください。）

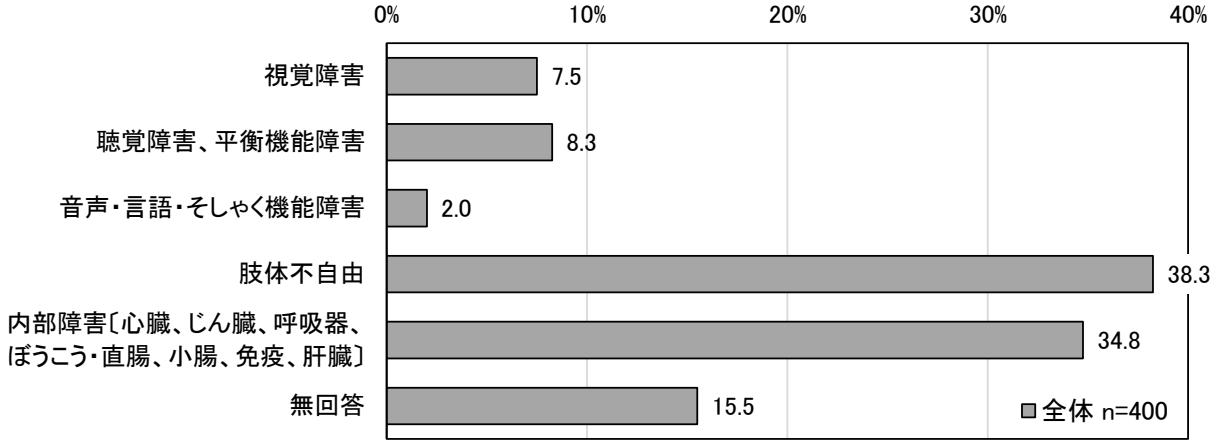
①身体障害者手帳の等級

身体障害者手帳については、「持っていない」と「無回答」を除くと、「１級」が 18.7%で最も多くなっています。



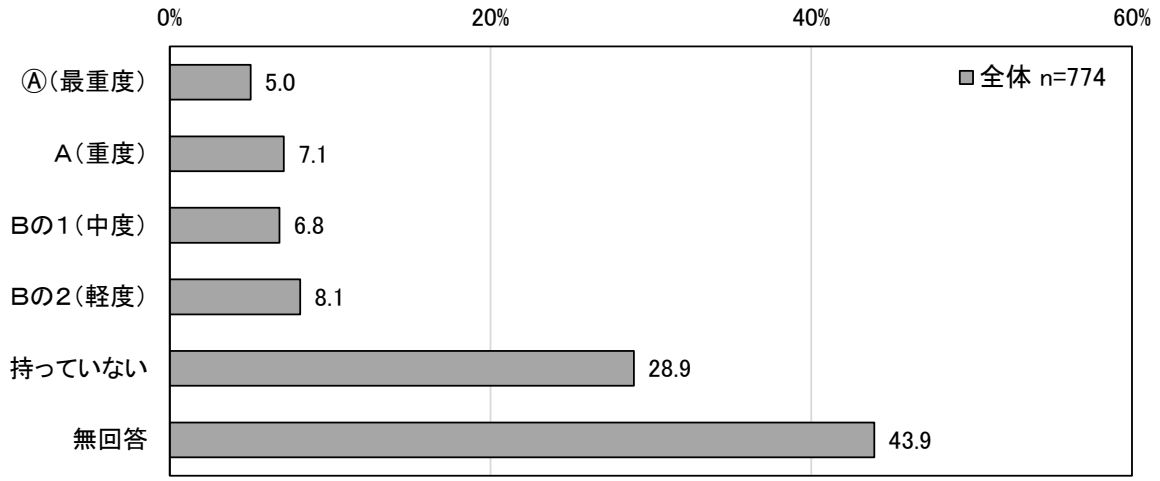
①－１　身体障害者手帳をお持ちの方におたずねします。手帳に記されている障害をお答えください。

身体障害者手帳を持っていると回答した人に障害の種類について聞いたところ、「肢体不自由」が38.3%で最も多く、次いで「内部障害」が34.8%となっています。



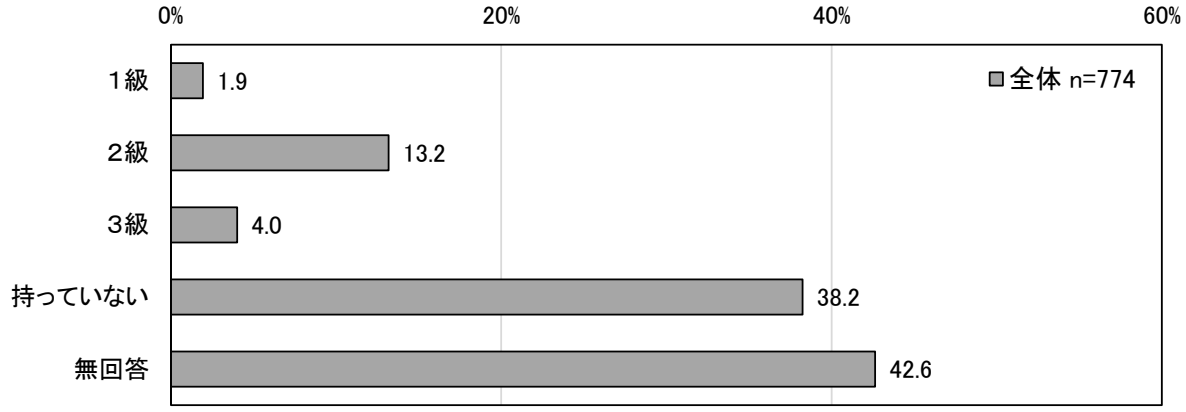
②療育手帳の等級

療育手帳については、「持っていない」と「無回答」を除くと、「Bの２（軽度）」が8.1%で最も多く、次いで「A（重度）」が7.1%、「Bの１（中度）」が6.8%となっています。



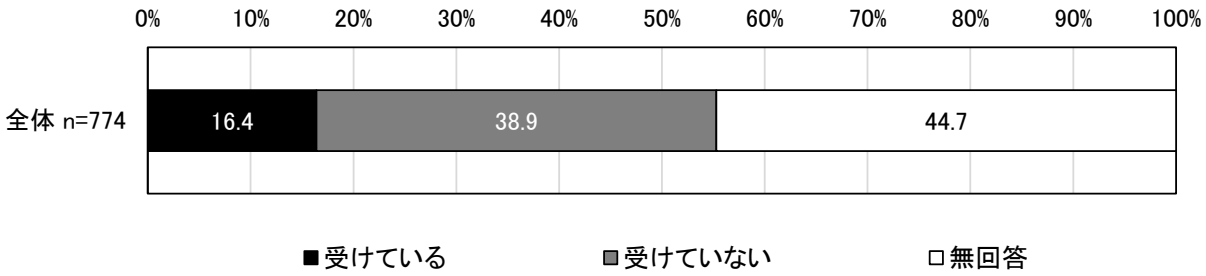
③精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳については、「持っていない」と「無回答」を除くと、「２級」が 13.2%で最も多くなっています。



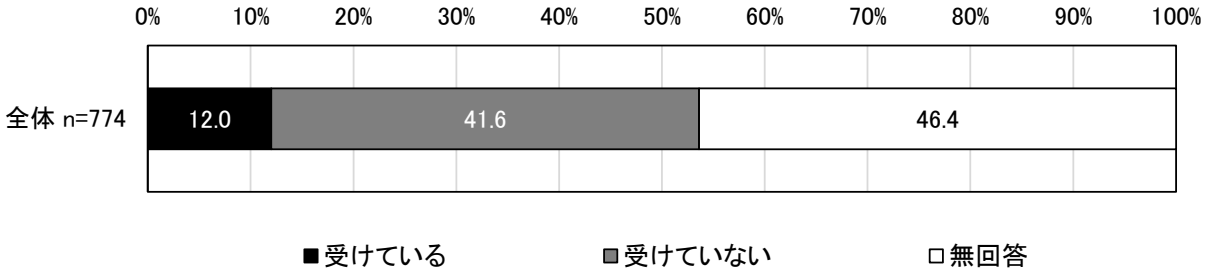
④自立支援医療の受給

自立支援医療の受給状況については、「受けている」が 16.4%、「受けていない」が 38.9%となっています。



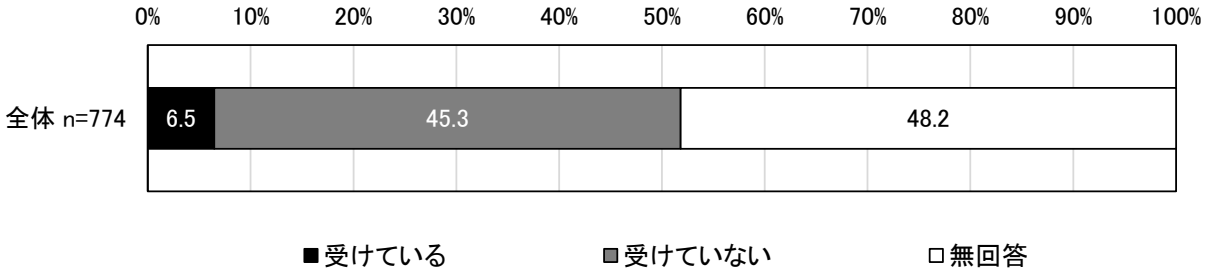
⑤重度心身障害者医療費助成

重度心身障害者医療費助成の状況については、「受けている」が 12.0%、「受けていない」が 41.6%となっています。



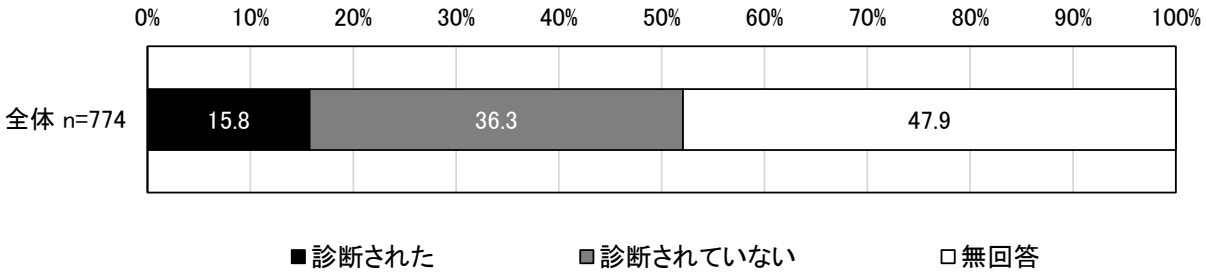
⑥難病（特定疾患）認定

難病（特定疾患）認定の状況については、「受けている」が 6.5%、「受けていない」が 45.3%となっています。



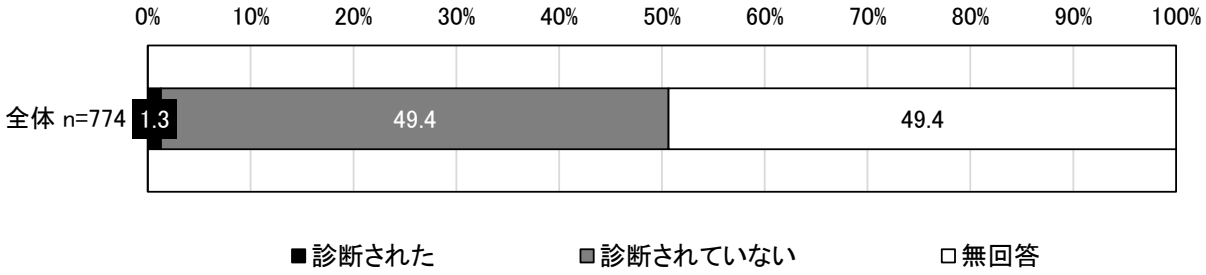
⑦発達障害と診断

発達障害の診断状況については、「診断された」が 15.8%、「診断されていない」が 36.3%となっています。



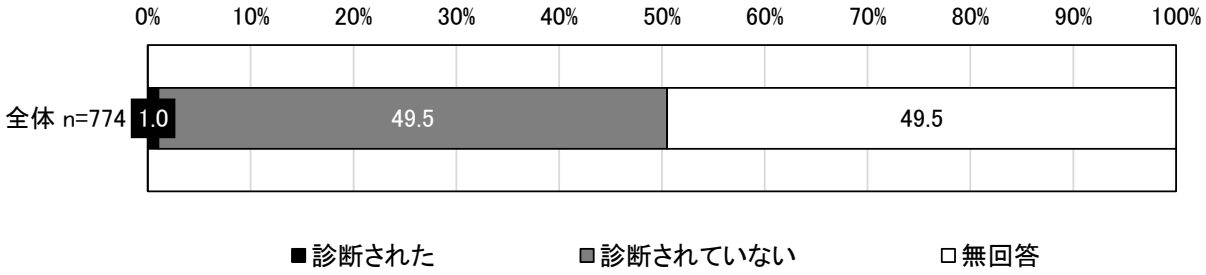
⑧高次脳機能障害と診断

高次脳機能障害の診断状況については、「診断された」が 1.3%、「診断されていない」が 49.4%となっています。



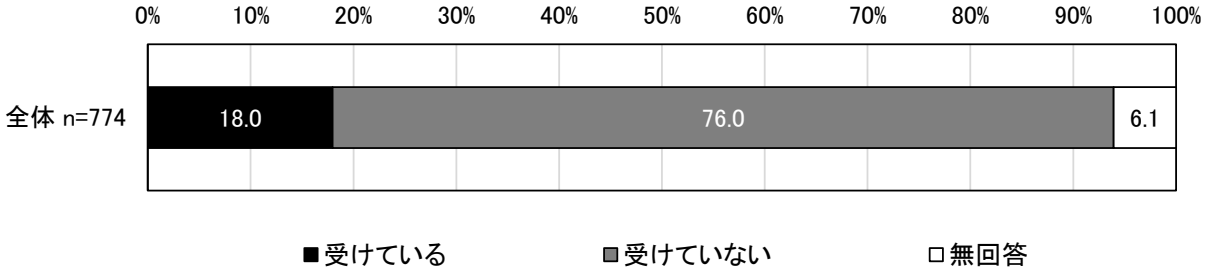
⑨失語症と診断

失語症の診断状況については、全体では「診断された」が 1.0%、「診断されていない」が 49.5%となっています。



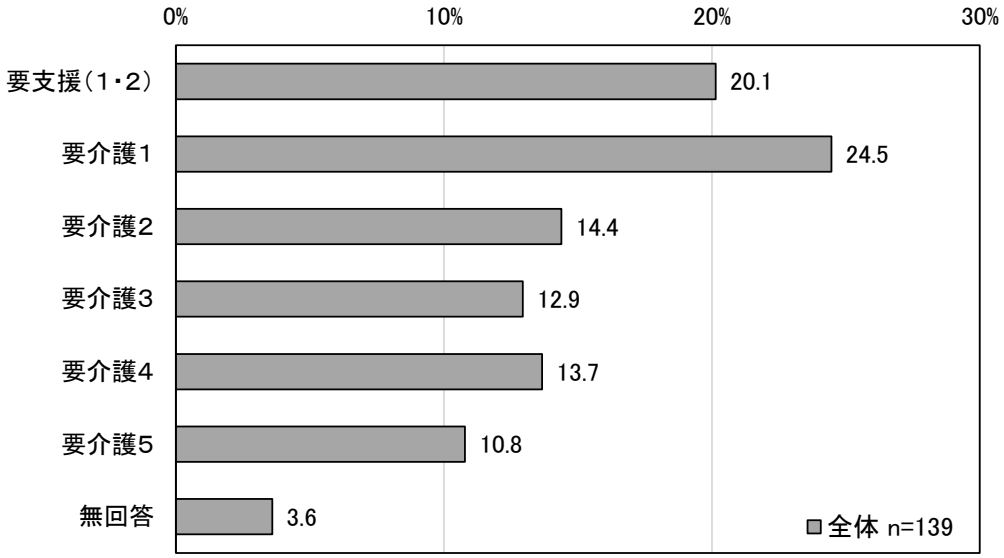
問５　あなたは、介護保険法の要介護認定を受けていますか。（○は１つだけ）

要介護認定については、「受けている」が 18.0%、「受けていない」が 76.0%となっています。



問５で「１．受けている」と回答した方にお聞きします。
問５－１　あなたの要介護度はいくつですか。（○は１つだけ）

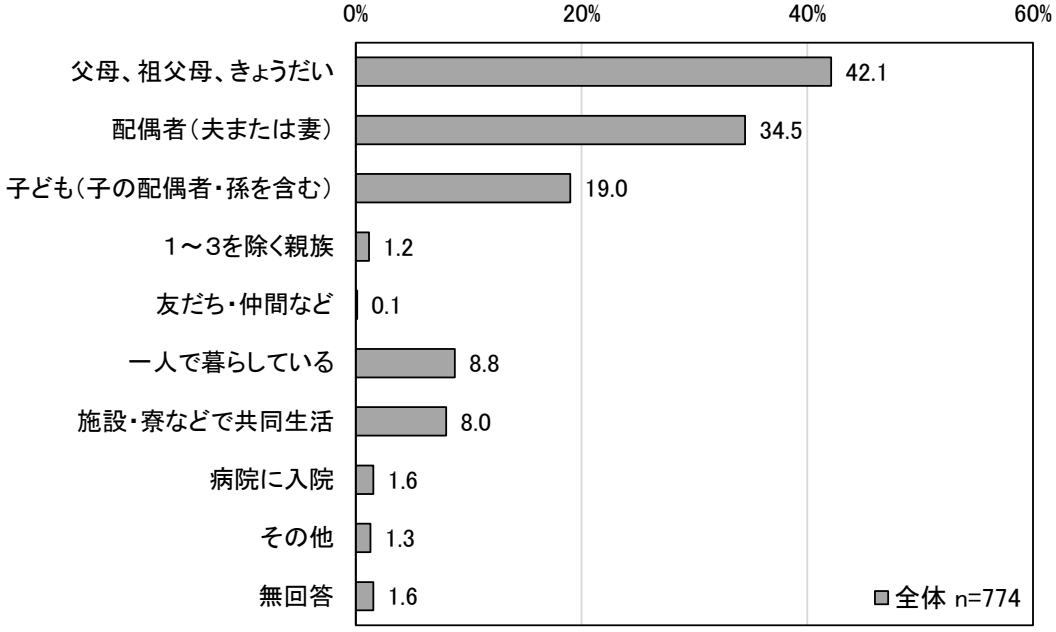
要介護認定を受けていると回答した人に要介護度について聞いたところ、「要介護１」が 24.5%で最も高く、次いで「要支援（１・２）」が 20.1%となっています。



2. 生活の状況

問6　あなたと一緒に暮らしている人は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）

同居している家族等については、「父母、祖父母、きょうだい」が 42.1％で最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」が 34.5％となっています。



■障害種別

【身体】と【高次】では「配偶者（夫または妻）」、【知的】と【精神】と【発達】では「父母、祖父母、きょうだい」、【難病】では「父母、祖父母、きょうだい」、「配偶者（夫または妻）」が全体より多くなっています。

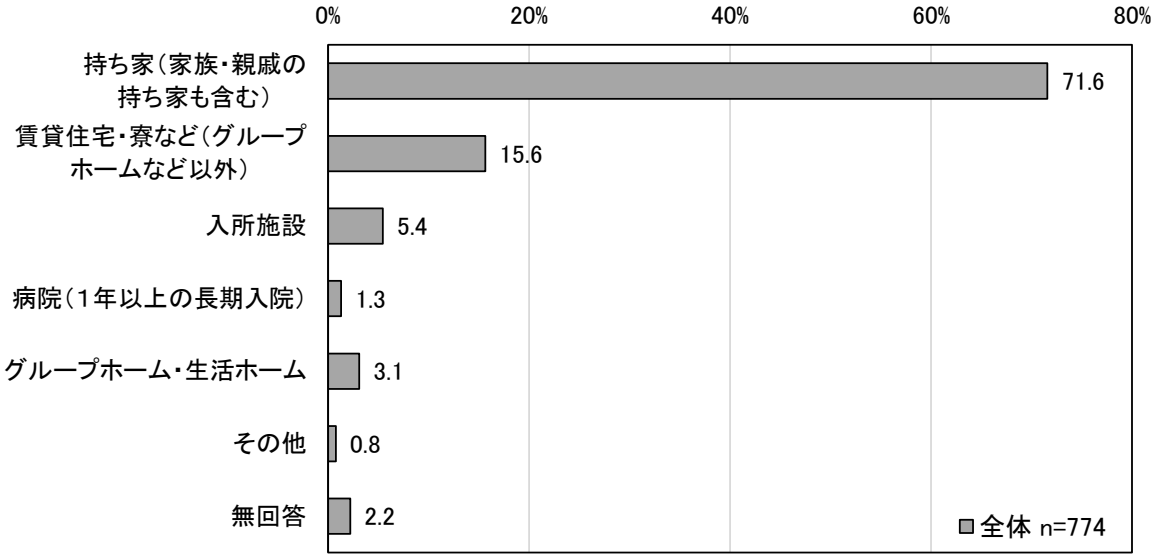
	父母、祖父母、きょうだい	配偶者（夫または妻）	子ども（子の配偶者・孫を含む）	1～3を除く親族	友だち・仲間など
全体 n=774	42.1	34.5	19.0	1.2	0.1
身体障害者 n=400	20.5	50.5	26.5	1.8	0.0
知的障害者 n=210	77.6	6.2	5.7	1.0	0.0
精神障害者 n=148	36.5	26.4	14.9	3.4	0.7
難病患者 n=50	46.0	44.0	18.0	0.0	0.0
発達障害 n=122	77.0	10.7	9.8	3.3	0.0
高次脳機能障害 n=10	40.0	50.0	20.0	0.0	0.0

	一人で暮らしている	施設・寮などで共同生活	病院に入院	その他	無回答
全体 n=774	8.8	8.0	1.6	1.3	1.6
身体障害者 n=400	11.5	7.0	2.3	1.3	1.8
知的障害者 n=210	1.0	11.9	1.4	1.4	0.5
精神障害者 n=148	18.2	8.8	4.1	2.0	1.4
難病患者 n=50	6.0	2.0	0.0	4.0	0.0
発達障害 n=122	2.5	4.9	1.6	0.8	0.0
高次脳機能障害 n=10	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0

（単位：％）

問7　あなたは、どこで暮らしていますか。（○は１つだけ）

住んでいる場所については、「持ち家（家族・親戚の持ち家も含む）」が 71.6%で最も多くなっています。



■障害種別

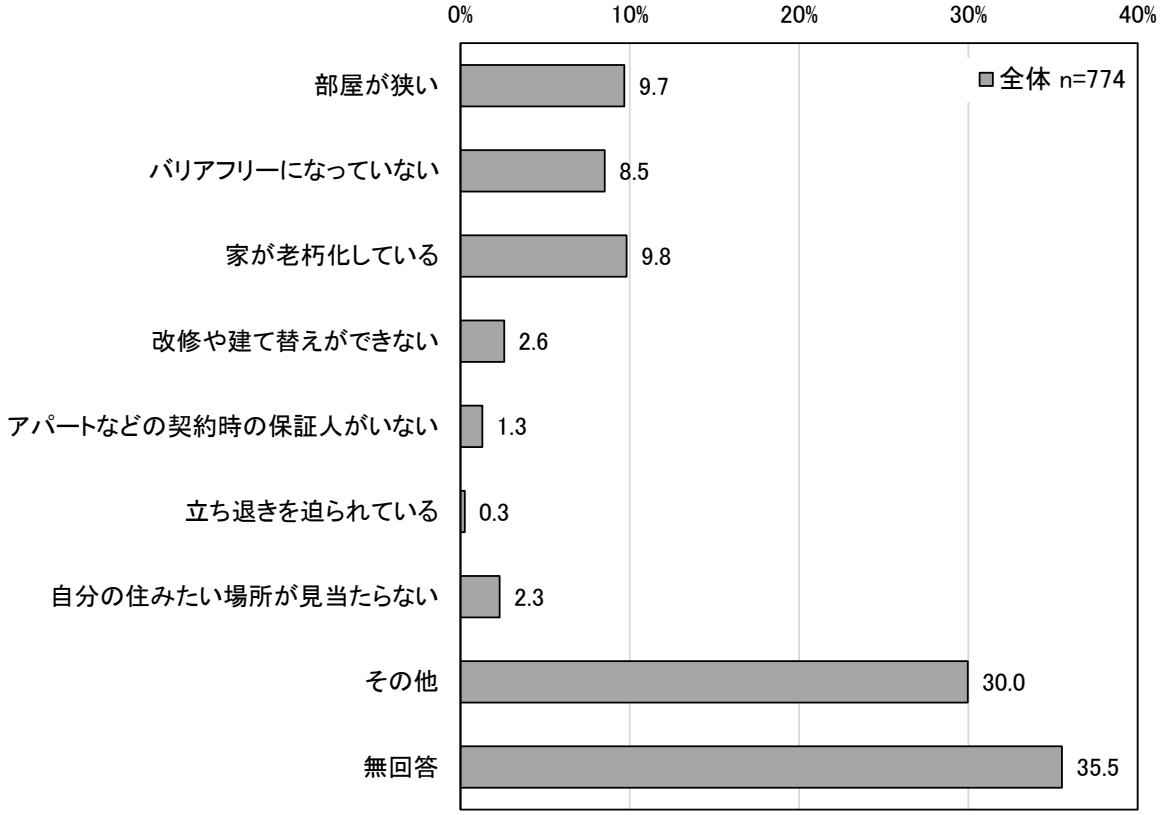
【精神】では「賃貸住宅・寮など（グループホームなど以外）」が全体より多くなっています。

	持ち家（家族・親戚の持ち家も含む）	賃貸住宅・寮など（グループホームなど以外）	入所施設	病院（1年以上の長期入院）	グループホーム・生活ホーム	その他	無回答
全体 n=774	71.6	15.6	5.4	1.3	3.1	0.8	2.2
身体障害者 n=400	76.5	11.5	6.3	1.5	1.3	0.8	2.3
知的障害者 n=210	69.0	13.8	7.1	1.4	6.2	1.4	1.0
精神障害者 n=148	54.7	27.7	3.4	4.7	6.8	0.7	2.0
難病患者 n=50	82.0	14.0	0.0	0.0	2.0	2.0	0.0
発達障害 n=122	68.0	23.8	4.9	1.6	0.0	0.0	1.6
高次脳機能障害 n=10	80.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

問８　あなたは、住宅で困っていることがありますか。（○は１つだけ）

住宅で困っていることについては、「その他」、「無回答」を除くと、「家が老朽化している」が 9.8%で最も多く、次いで「部屋が狭い」が 9.7%となっています。



■障害種別

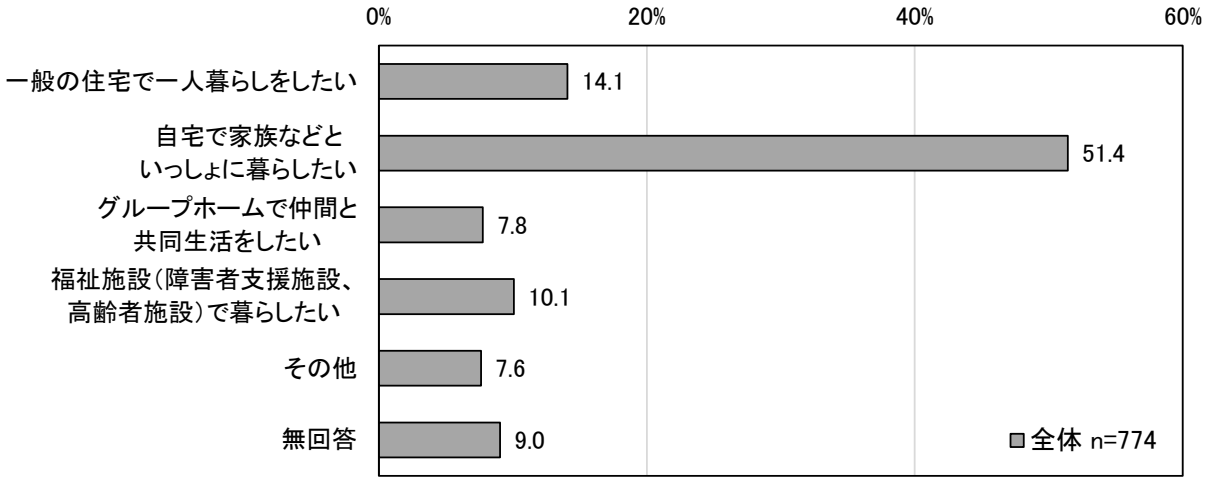
【身体】・【難病】・【高次】では、「バリアフリーになっていない」が最も多くなっていますが、【知的】・【精神】・【発達】では「部屋が狭い」が最も多くなっています。

	部屋が狭い	バリアフリーになっていない	家が老朽化している	改修や建て替えができない	アパートなどの契約時の保証人がいない	立ち退きを迫られている	自分の住みたい場所が見当たらない	その他	無回答
全体 n=774	9.7	8.5	9.8	2.6	1.3	0.3	2.3	30.0	35.5
身体障害者 n=400	6.3	12.0	12.3	3.3	0.5	0.5	1.5	28.3	35.5
知的障害者 n=210	14.3	8.1	4.8	1.9	0.0	0.5	2.9	31.0	36.7
精神障害者 n=148	9.5	5.4	13.5	2.7	5.4	0.0	5.4	29.7	28.4
難病患者 n=50	8.0	16.0	6.0	2.0	0.0	0.0	2.0	36.0	30.0
発達障害 n=122	15.6	4.1	5.7	1.6	2.5	0.8	3.3	32.8	33.6
高次脳機能障害 n=10	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0

（単位：%）

問９　あなたは、将来、どのように暮らしたいですか。（○は１つだけ）

将来、どのように暮らしたいかについては、「自宅で家族などといっしょに暮らしたい」が 51.4%で最も多く、次いで「一般の住宅で一人暮らしをしたい」が 14.1%となっています。



■障害種別

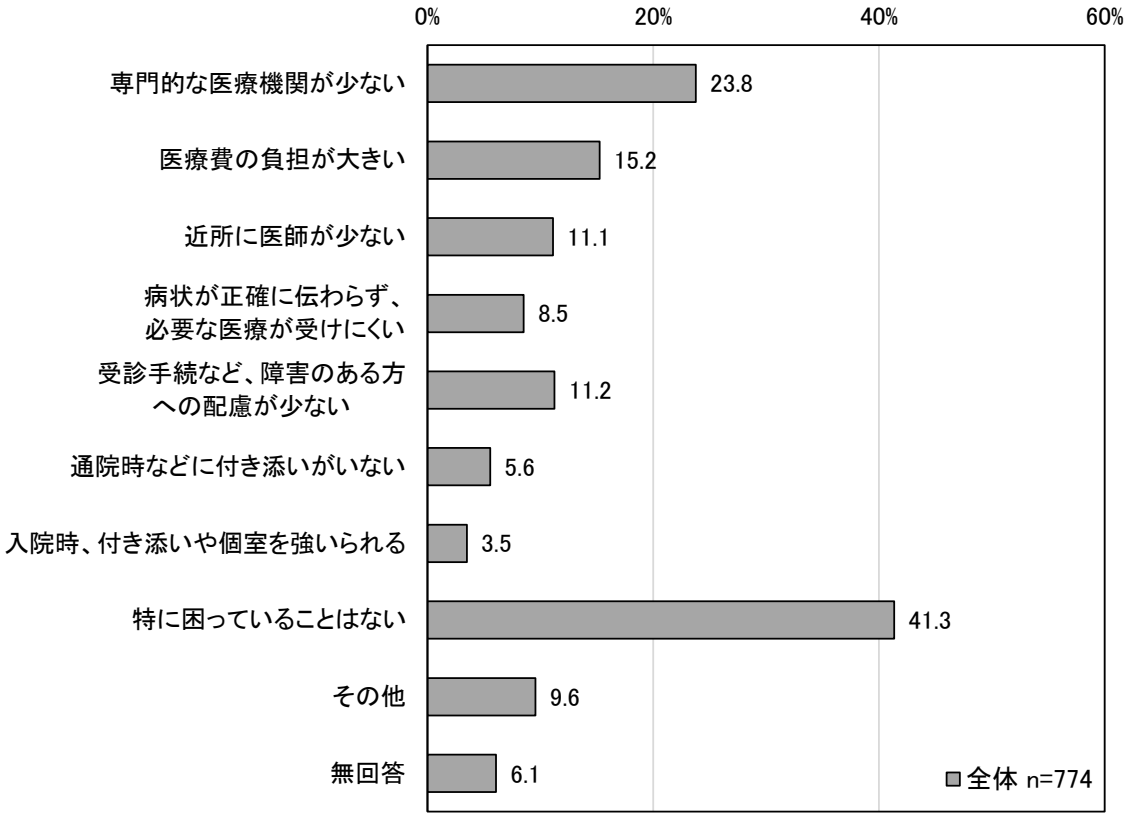
すべての種別で「自宅で家族などといっしょに暮らしたい」が最も多くなっていますが、【知的】では「グループホームで仲間と共同生活をしたい」、「福祉施設（障害者支援施設、高齢者施設）で暮らしたい」、【精神】では「一般の住宅で一人暮らしをしたい」も多くなっています。

	一般の住宅で一人暮らしをしたい	自宅で家族などといっしょに暮らしたい	グループホームで仲間と共同生活をしたい	福祉施設（障害者支援施設、高齢者施設）で暮らしたい	その他	無回答
全体 n=774	14.1	51.4	7.8	10.1	7.6	9.0
身体障害者 n=400	14.3	57.8	4.0	11.5	4.8	7.8
知的障害者 n=210	7.6	37.1	21.9	16.7	11.0	5.7
精神障害者 n=148	26.4	48.0	3.4	6.8	6.8	8.8
難病患者 n=50	14.0	54.0	10.0	4.0	10.0	8.0
発達障害 n=122	13.1	44.3	9.8	10.7	13.1	9.0
高次脳機能障害 n=10	10.0	80.0	0.0	10.0	0.0	0.0

（単位：%）

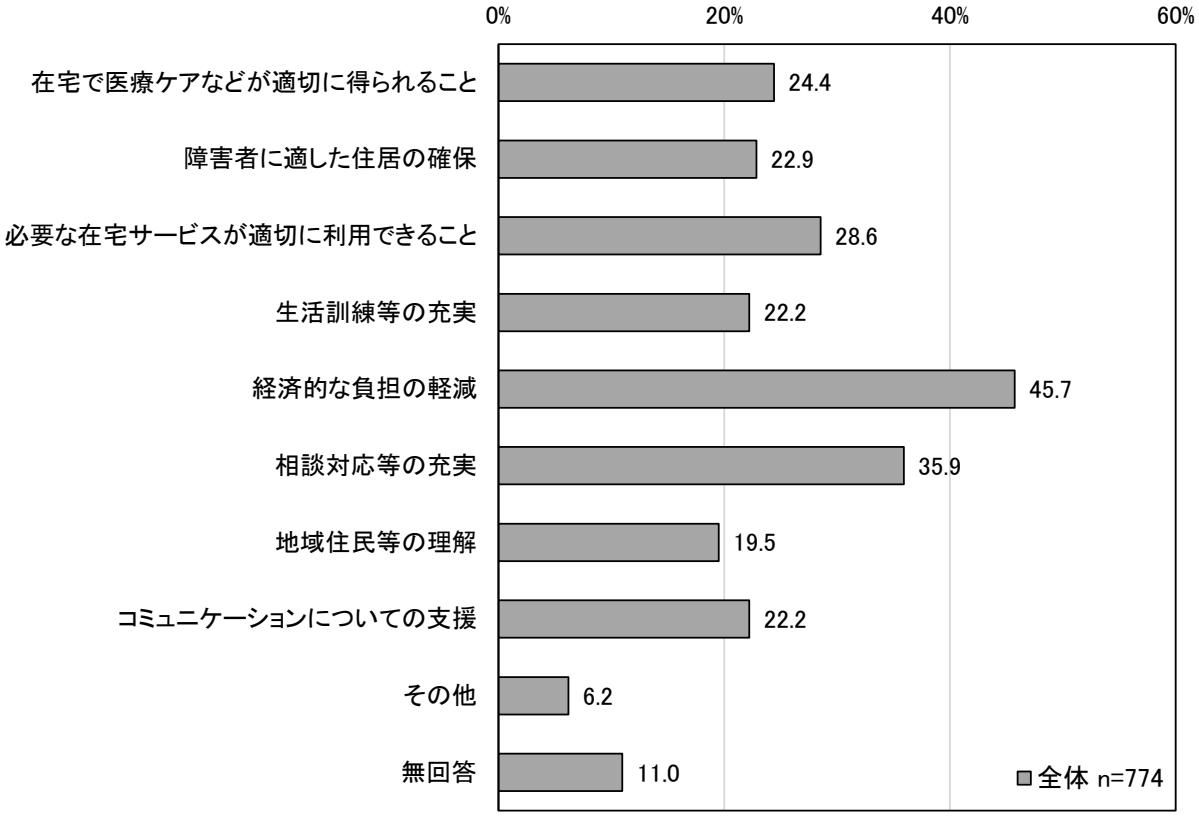
問１０　あなたは、健康管理や医療について困ったことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

健康管理や医療について困ったことについては、「特に困っていることはない」を除くと、「専門的な医療機関が少ない」が 23.8%で最も多く、次いで「医療費の負担が大きい」が 15.2%となっています。



問１１　地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

地域で生活するために必要な支援については、「経済的な負担の軽減」が 45.7%で最も多く、次いで「相談対応等の充実」が 35.9%となっています。



■障害種別

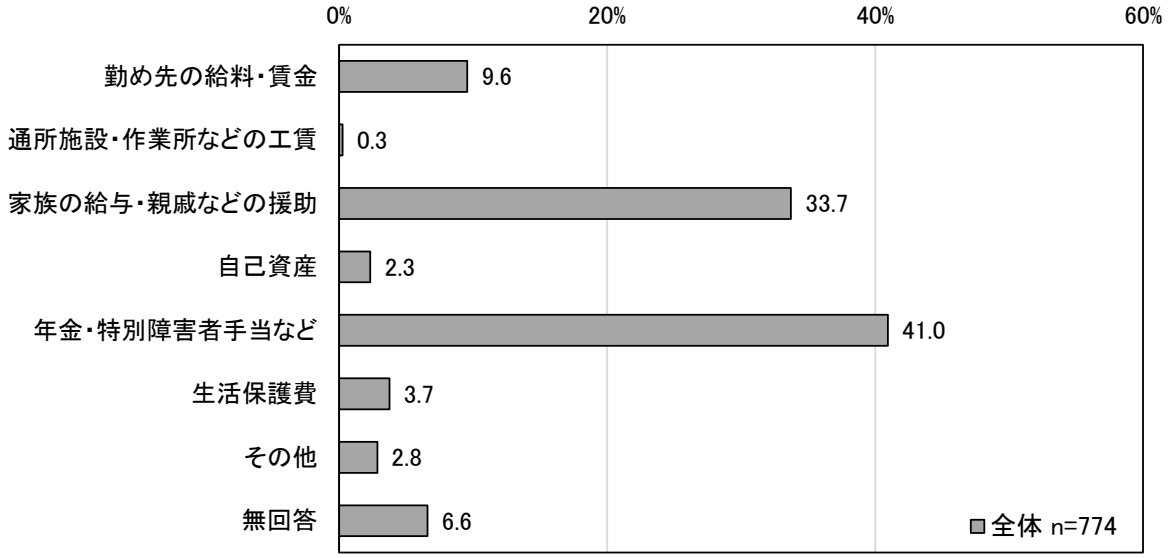
すべての種別で「経済的な負担の軽減」が最も多くなっています。

	在宅で医療ケアなどが適切に得られること	障害者に適した住居の確保	必要な在宅サービスが適切に利用できること	生活訓練等の充実	経済的な負担の軽減	相談対応等の充実	地域住民等の理解	コミュニケーションについての支援	その他	無回答
全体 n=774	24.4	22.9	28.6	22.2	45.7	35.9	19.5	22.2	6.2	11.0
身体障害者 n=400	32.3	17.5	32.3	15.5	38.3	25.3	9.8	12.0	6.8	13.3
知的障害者 n=210	20.0	37.1	35.2	33.8	50.0	43.3	34.8	37.6	5.2	6.2
精神障害者 n=148	20.3	28.4	23.6	16.9	63.5	43.2	23.0	19.6	7.4	7.4
難病患者 n=50	34.0	28.0	42.0	20.0	48.0	32.0	20.0	16.0	4.0	4.0
発達障害 n=122	18.9	32.8	28.7	45.1	57.4	51.6	35.2	43.4	7.4	1.6
高次脳機能障害 n=10	40.0	20.0	50.0	20.0	50.0	40.0	20.0	10.0	0.0	10.0

（単位：%）

問１２　あなたの生活を支えている主な収入は何ですか。（○は１つだけ）

主な収入については、「年金・特別障害者手当など」が 41.0%で最も多く、次いで「家族の給与・親戚などの援助」が 33.7%となっています。



■障害種別

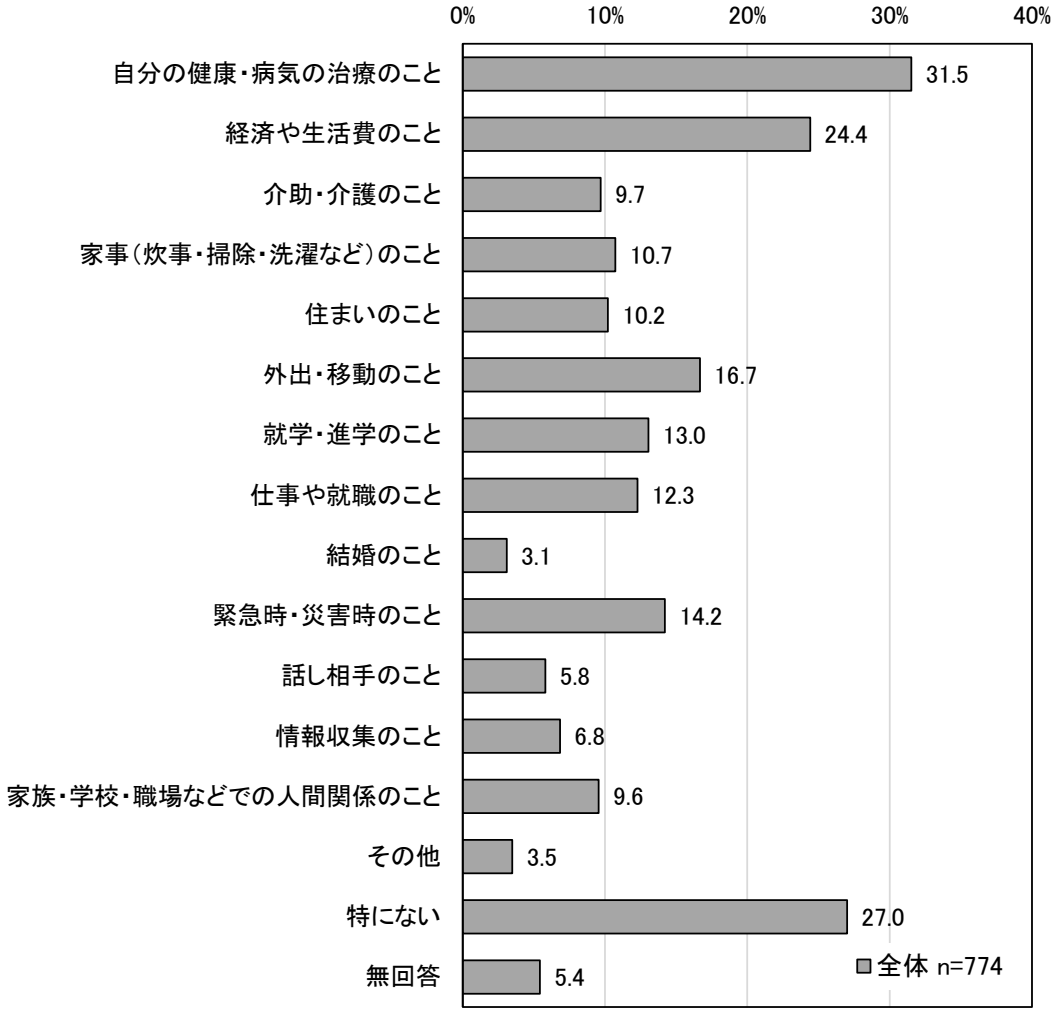
【身体】・【精神】・【高次】では、「年金・特別障害者手当など」が最も多くなっていますが、【知的】・【発達】では「家族の給与・親戚などの援助」が最も多く、【難病】では「家族の給与・親戚などの援助」、「年金・特別障害者手当など」がそれぞれ最も多くなっています。

	勤め先の給料・賃金	通所施設・作業所などの工賃	家族の給与・親戚などの援助	自己資産	年金・特別障害者手当など	生活保護費	その他	無回答
全体 n=774	9.6	0.3	33.7	2.3	41.0	3.7	2.8	6.6
身体障害者 n=400	6.5	0.0	16.0	4.0	61.0	3.3	3.0	6.3
知的障害者 n=210	8.1	1.0	57.6	0.5	23.3	2.4	1.4	5.7
精神障害者 n=148	18.2	0.0	21.6	2.7	37.2	8.1	4.1	8.1
難病患者 n=50	6.0	0.0	40.0	2.0	40.0	4.0	4.0	4.0
発達障害 n=122	9.8	0.8	66.4	0.0	11.5	4.9	1.6	4.9
高次脳機能障害 n=10	0.0	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

問１３　現在、あなたは、悩んでいることや、誰かに相談したいことがありますか。
（あてはまるものすべてに○）

悩みや相談したいことについては、「特にない」を除くと、「自分の健康・病気の治療のこと」が 31.5%で最も多く、次いで「経済や生活費のこと」が 24.4%、「外出・移動のこと」が 16.7%となっています。



■障害種別

【身体】・【知的】・【難病】では、「自分の健康・病気の治療のこと」が最も多く、【精神】では、「経済や生活費のこと」が最も多く、【発達】では「就学・進学のこと」が最も多く、【高次】では「自分の健康・病気の治療のこと」、「介助・介護のこと」がそれぞれ最も多くなっています。

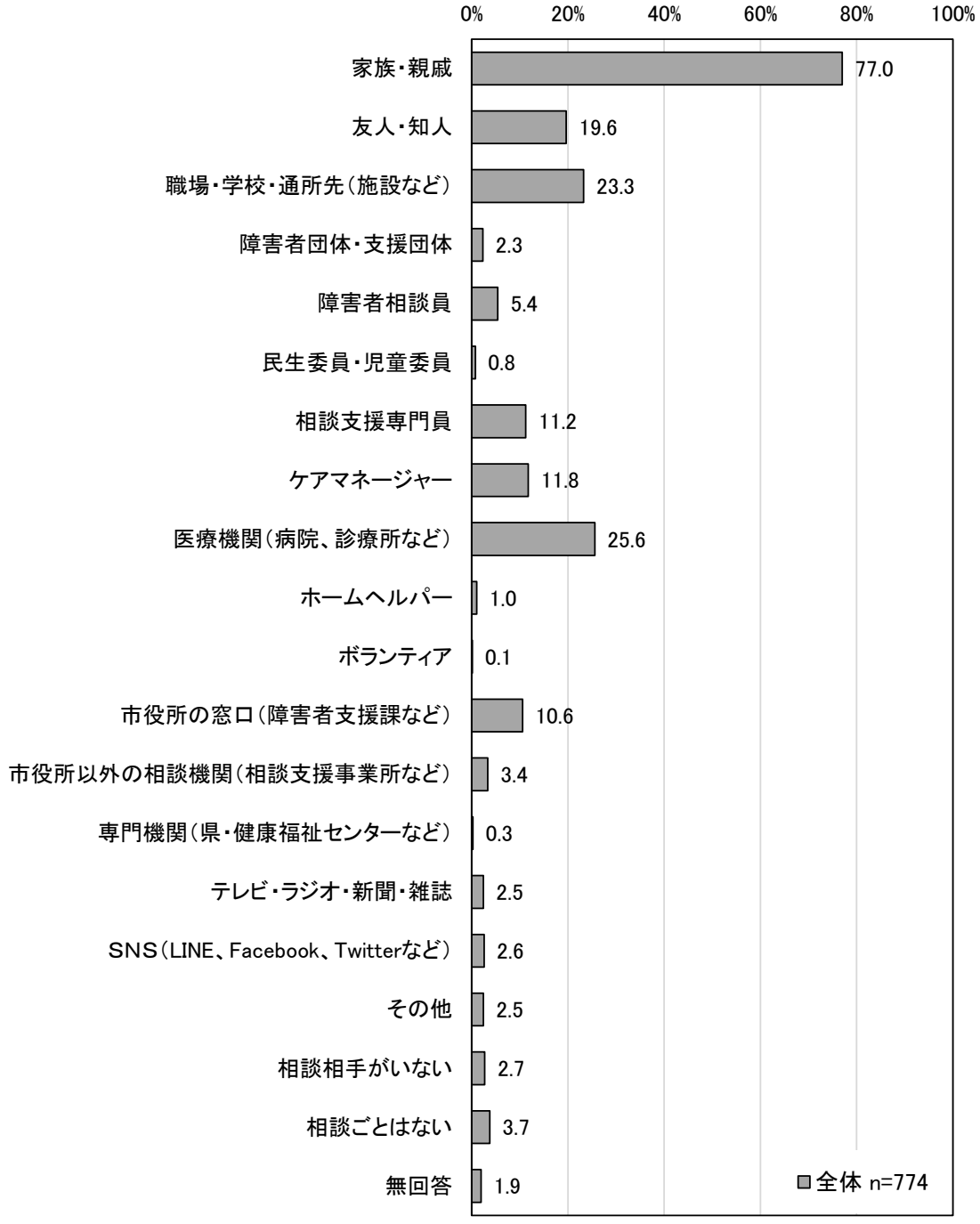
	自分の健康・病気の治療のこと	経済や生活費のこと	介助・介護のこと	家事（炊事・掃除・洗濯など）のこと	住まいのこと	外出・移動のこと	就学・進学のこと	仕事や就職のこと
全体 n=774	31.5	24.4	9.7	10.7	10.2	16.7	13.0	12.3
身体障害者 n=400	35.8	20.8	12.8	10.8	9.0	20.5	4.0	6.3
知的障害者 n=210	26.2	19.5	11.9	9.0	8.6	21.4	21.0	15.2
精神障害者 n=148	51.4	52.0	8.1	21.6	24.3	16.2	6.8	31.1
難病患者 n=50	46.0	22.0	16.0	12.0	8.0	26.0	14.0	10.0
発達障害 n=122	24.6	26.2	9.0	11.5	11.5	18.0	34.4	23.8
高次脳機能障害 n=10	40.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	10.0	10.0

	結婚のこと	緊急時・災害時のこと	話し相手のこと	情報収集のこと	家族・学校・職場などでの人間関係のこと	その他	特にない	無回答
全体 n=774	3.1	14.2	5.8	6.8	9.6	3.5	27.0	5.4
身体障害者 n=400	1.8	16.5	5.3	4.0	4.8	2.5	29.0	5.8
知的障害者 n=210	2.9	16.7	5.2	10.5	11.9	4.8	24.3	4.3
精神障害者 n=148	11.5	12.8	12.2	12.2	20.9	4.7	8.1	4.7
難病患者 n=50	4.0	20.0	6.0	4.0	8.0	10.0	18.0	2.0
発達障害 n=122	3.3	18.9	7.4	10.7	18.9	4.9	20.5	2.5
高次脳機能障害 n=10	10.0	20.0	10.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0

（単位：%）

問１４　あなたが相談する人は、どなたですか。（あてはまるものすべてに○）

相談相手・相談先については、「家族・親戚」が 77.0%で特に多くなっています。それ以外では、「医療機関（病院・診療所など）」が 25.6%、「職場・学校・通所先（施設など）」が 23.3%と、それぞれ２割を超えています。



■障害種別

すべての種別で「家族・親戚」が最も多くなっていますが、全体２位の「医療機関（病院、診療所など）」は【身体】・【精神】・【難病】で、全体３位の「職場・学校・通所先（施設など）」は【知的】と【発達】・【高次】で多くなっています。

その他、種別ごとで全体より多くなっているものは以下の通りとなります。相談相手・相談先が異なっていることがわかります。

【難病】と【高次】…「ケアマネージャー」

【知的】と【発達】…「相談支援専門員」

【精神】…「友人・知人」

	家族・親戚	友人・知人	職場・学校・通所先（施設など）	障害者団体・支援団体	障害者相談員	民生委員・児童委員	相談支援専門員	ケアマネージャー	医療機関（病院、診療所など）	ホームヘルパー
全体 n=774	77.0	19.6	23.3	2.3	5.4	0.8	11.2	11.8	25.6	1.0
身体障害者 n=400	76.8	22.3	10.0	0.5	4.3	1.3	4.8	19.0	27.3	1.8
知的障害者 n=210	74.3	13.3	45.2	4.8	12.9	0.5	22.9	4.8	21.0	1.4
精神障害者 n=148	66.2	26.4	17.6	3.4	4.1	0.7	11.5	8.8	46.6	0.0
難病患者 n=50	80.0	22.0	28.0	4.0	12.0	0.0	14.0	24.0	42.0	0.0
発達障害 n=122	82.8	19.7	50.8	4.1	10.7	0.0	19.7	2.5	26.2	0.0
高次脳機能障害 n=10	100.0	10.0	40.0	0.0	20.0	0.0	10.0	40.0	30.0	10.0

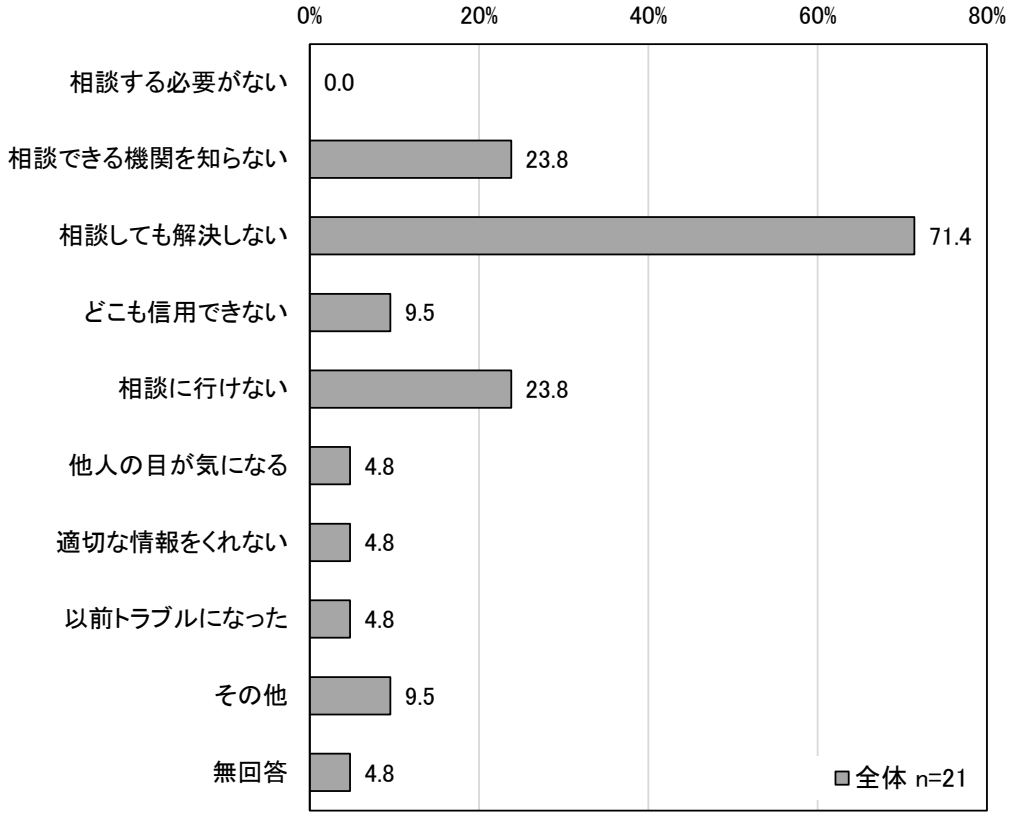
	ボランティア	市役所の窓口（障害者支援課など）	市役所以外の相談機関（相談支援事業所など）	専門機関（県・健康福祉センターなど）	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	SNS（LINE、Facebook、Twitterなど）	その他	相談相手がいない	相談ごとはない	無回答
全体 n=774	0.1	10.6	3.4	0.3	2.5	2.6	2.5	2.7	3.7	1.9
身体障害者 n=400	0.3	11.5	1.0	0.0	3.0	2.0	2.3	2.5	3.8	1.5
知的障害者 n=210	0.0	9.5	6.2	0.0	2.9	3.3	3.8	2.4	3.3	2.4
精神障害者 n=148	0.0	14.9	3.4	0.7	3.4	6.1	4.1	7.4	3.4	0.7
難病患者 n=50	0.0	10.0	2.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	4.0	0.0
発達障害 n=122	0.0	10.7	8.2	0.8	0.8	4.1	4.1	1.6	2.5	2.5
高次脳機能障害 n=10	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

問１４で「１８．相談相手がいない」と回答した方にお聞きします。

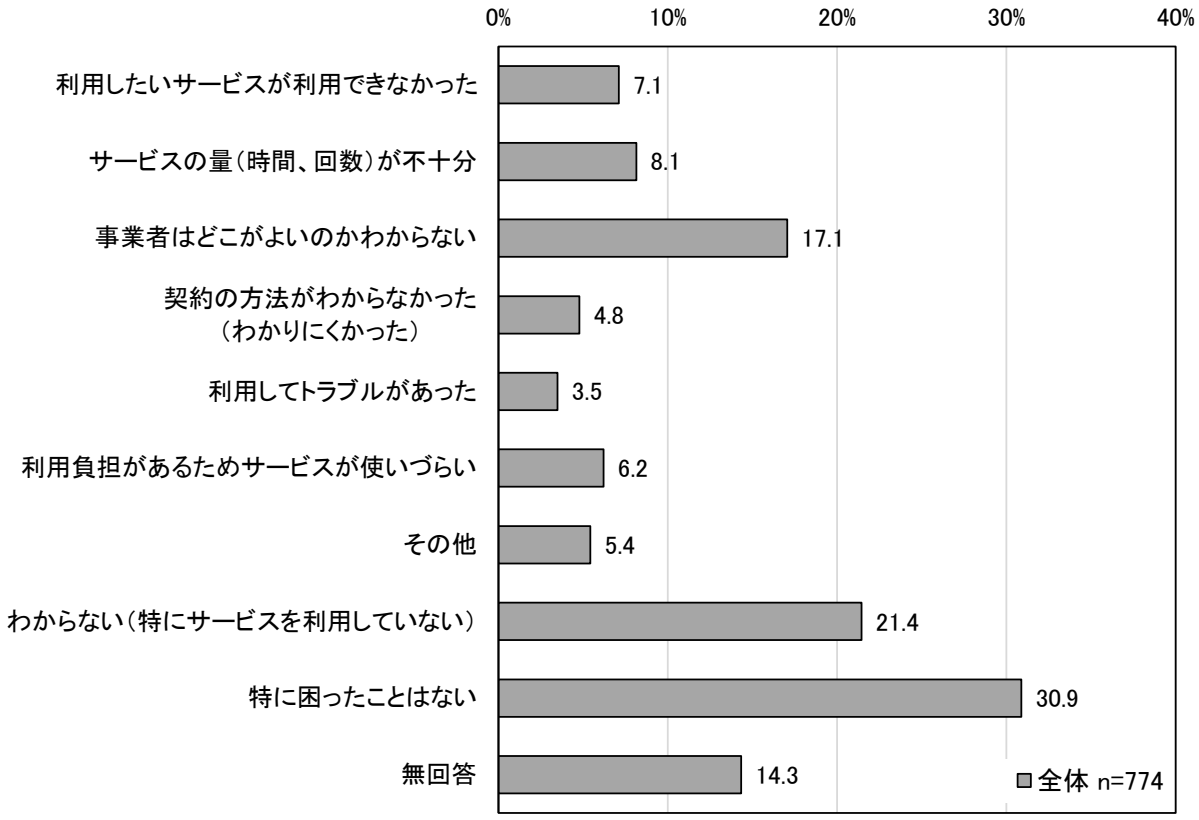
問１４－１　あなたが相談できるところがないのは、なぜですか。（あてはまるものすべてに○）

相談先がないことについては、「相談しても解決しない」が 71.4％で最も多く、次いで「相談できる機関を知らない」、「相談に行けない」がそれぞれ 23.8％となっています。



問１５　福祉サービスを利用して、何か不便なことや困ったことはありましたか。（○は３つまで）

福祉サービスの利用における困りごとについては、「わからない（特にサービスを利用していない）」、「特に困ったことはない」、「無回答」を除くと、「事業所はどこがよいのかわからない」が 17.1％で最も多くなっています。



問１６　あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。①から㉞のそれぞれについて、「現在の利用状況」、「今後の利用意向」の両方にお答え（番号に○）ください。

現在のサービスの利用状況について、「利用している」では「計画相談支援」が 22.0%で最も多く、次いで「放課後等デイサービス」が 13.6%となっています。

■現在の利用状況

	利用している	利用していない	無回答
① 居宅介護（ホームヘルプサービス）	5.6	75.7	18.7
② 重度訪問介護	0.6	78.7	20.7
③ 重度障害者等包括支援	0.9	77.9	21.2
④ 同行援護	1.7	77.5	20.8
⑤ 行動援護	0.9	77.8	21.3
⑥ 生活介護	7.0	73.0	20.0
⑦ 自立訓練（機能訓練）	6.6	73.4	20.0
⑧ 自立訓練（生活訓練）	2.7	75.8	21.4
⑨ 就労移行支援	1.3	76.9	21.8
⑩ 就労継続支援（A型）	0.9	76.6	22.5
⑪ 就労継続支援（B型）	3.6	74.4	22.0
⑫ 療養介護	0.6	77.9	21.4
⑬ 短期入所（ショートステイ）	5.6	73.5	20.9
⑭ 施設入所支援	5.0	74.0	20.9
⑮ 共同生活援助（グループホーム）	4.3	74.3	21.4
⑯ 計画相談支援	22.0	59.6	18.5
⑰ 地域移行支援	0.5	77.9	21.6
⑱ 地域定着支援	0.5	77.6	21.8
⑲ 児童発達支援	12.1	55.4	32.4
⑳ 医療型児童発達支援	0.6	66.7	32.7
㉑ 放課後等デイサービス	13.6	54.9	31.5
㉒ 保育所等訪問支援	2.5	64.7	32.8
㉓ 居宅訪問型児童発達支援	0.3	67.2	32.6
㉔ 障害児相談支援	7.2	60.3	32.4
㉕ 相談支援事業	10.6	66.1	23.3
㉖ 意思疎通支援事業	0.4	75.1	24.5
㉗ 日常生活用具給付事業	5.0	71.1	23.9
㉘ 移動支援事業	3.5	73.4	23.1
㉙ 地域活動支援センター事業	2.7	73.1	24.2
㉚ 日中一時支援事業	6.5	70.3	23.3
㉛ 訪問入浴サービス事業	1.0	75.6	23.4
㉜ 知的障害者職親委託制度	0.3	75.6	24.2
㉝ 自動車運転免許取得・改造費助成事業	0.3	75.8	23.9
㉞ 点字・声の広報等提供事業	0.1	75.8	24.0

（単位：%）

今後のサービスの利用意向について、「将来利用したい」では「居宅介護（ホームヘルプサービス）」が28.4%で最も多く、次いで「生活介護」が26.6%となっています。

■今後の利用意向

	すぐ利用したい	将来利用したい	利用しない	無回答
① 居宅介護(ホームヘルプサービス)	1.8	28.4	41.1	28.7
② 重度訪問介護	0.8	16.9	50.6	31.7
③ 重度障害者等包括支援	0.4	19.3	49.0	31.4
④ 同行援護	1.4	24.0	44.8	29.7
⑤ 行動援護	0.8	23.8	45.2	30.2
⑥ 生活介護	2.1	26.6	38.9	32.4
⑦ 自立訓練(機能訓練)	2.7	20.7	44.6	32.0
⑧ 自立訓練(生活訓練)	1.8	22.4	44.1	31.8
⑨ 就労移行支援	0.8	19.8	45.7	33.7
⑩ 就労継続支援(A型)	0.9	18.0	47.8	33.3
⑪ 就労継続支援(B型)	1.4	17.3	46.5	34.8
⑫ 療養介護	0.3	19.8	47.5	32.4
⑬ 短期入所(ショートステイ)	3.4	23.8	41.1	31.8
⑭ 施設入所支援	1.8	24.5	42.1	31.5
⑮ 共同生活援助(グループホーム)	1.9	21.7	44.6	31.8
⑯ 計画相談支援	9.3	22.9	31.3	36.6
⑰ 地域移行支援	0.9	19.5	43.7	35.9
⑱ 地域定着支援	0.9	20.8	42.8	35.5
⑲ 児童発達支援	7.2	3.0	46.5	43.3
⑳ 医療型児童発達支援	0.8	3.6	53.4	42.2
㉑ 放課後等デイサービス	8.0	9.2	39.7	43.2
㉒ 保育所等訪問支援	2.7	3.6	51.7	42.0
㉓ 居宅訪問型児童発達支援	0.6	3.2	54.7	41.5
㉔ 障害児相談支援	5.6	8.4	44.2	41.9
㉕ 相談支援事業	5.0	23.8	33.5	37.7
㉖ 意思疎通支援事業	0.9	12.1	50.1	36.8
㉗ 日常生活用具給付事業	3.2	15.5	45.5	35.8
㉘ 移動支援事業	2.7	21.2	42.1	34.0
㉙ 地域活動支援センター事業	1.7	17.6	44.3	36.4
㉚ 日中一時支援事業	4.0	17.4	42.4	36.2
㉛ 訪問入浴サービス事業	0.9	14.7	50.4	34.0
㉜ 知的障害者職親委託制度	0.1	8.9	54.8	36.2
㉝ 自動車運転免許取得・改造費助成事業	0.6	9.9	54.5	34.9
㉞ 点字・声の広報等提供事業	0.0	3.6	61.1	35.3

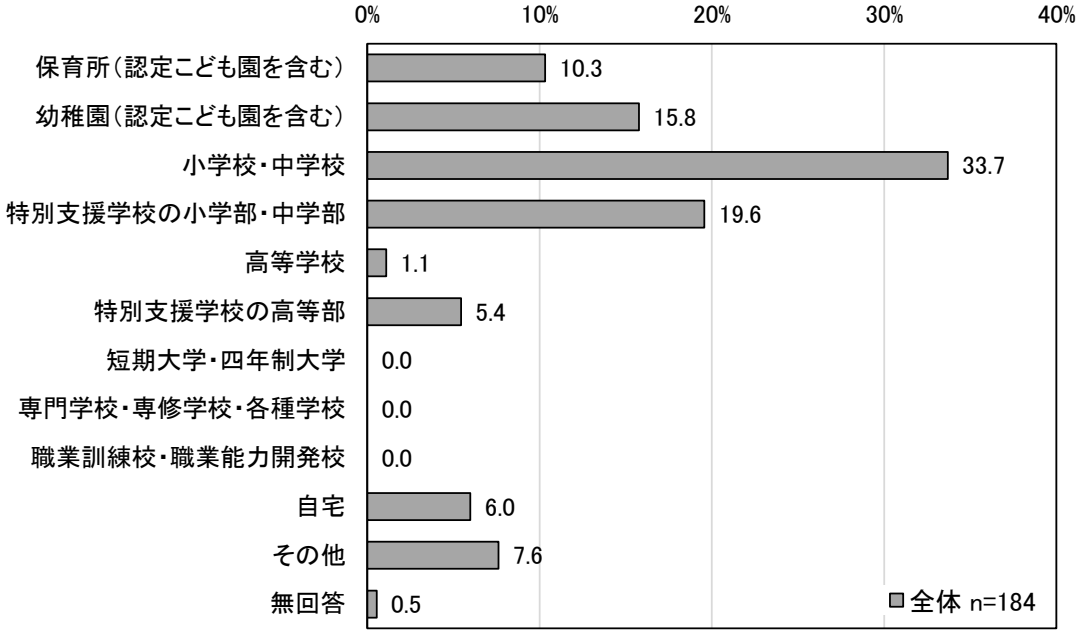
（単位：%）

3. お子さんの生活状況

問１７～問２３は、問２で「１～４」とお答えのお子さんの保護者の方にお聞きします。

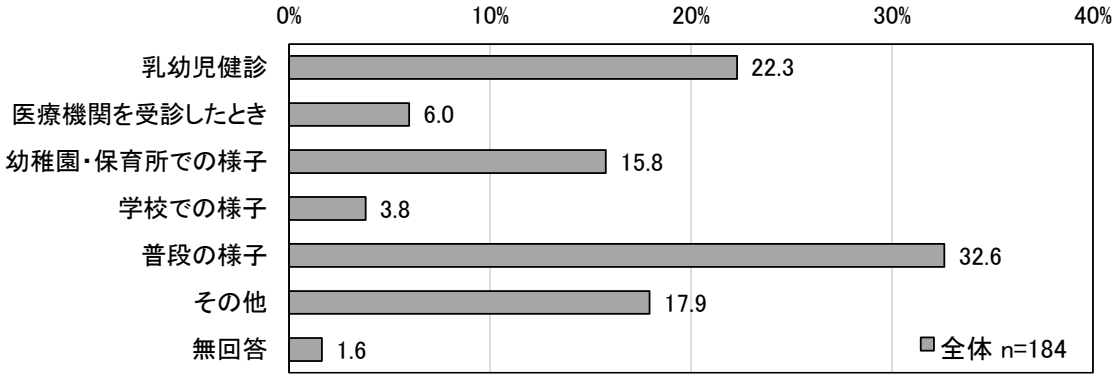
問１７　お子さんが日中過ごしている場所はどこですか。（○は１つだけ）

日中過ごしている場所については、「小学校・中学校」が 33.7%で最も多く、次いで「特別支援学校の小学部・中学部」が 19.6%となっています。



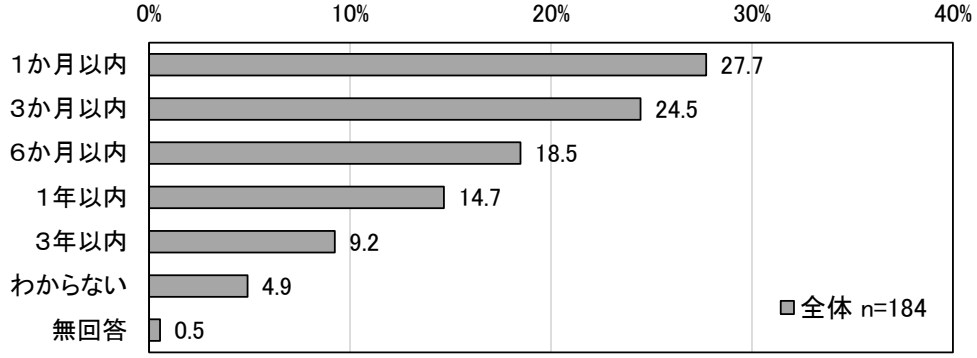
問１８　障害や発達の不安に気づいたきっかけは何ですか。（○は１つだけ）

障害や発達の不安に気づいたきっかけについては、「普段の様子」が 32.6%で最も多く、次いで「乳幼児健診」が 22.3%となっています。なお、「その他」で回答があったうち、最も多かったのは「出生時（出産時）」でした。



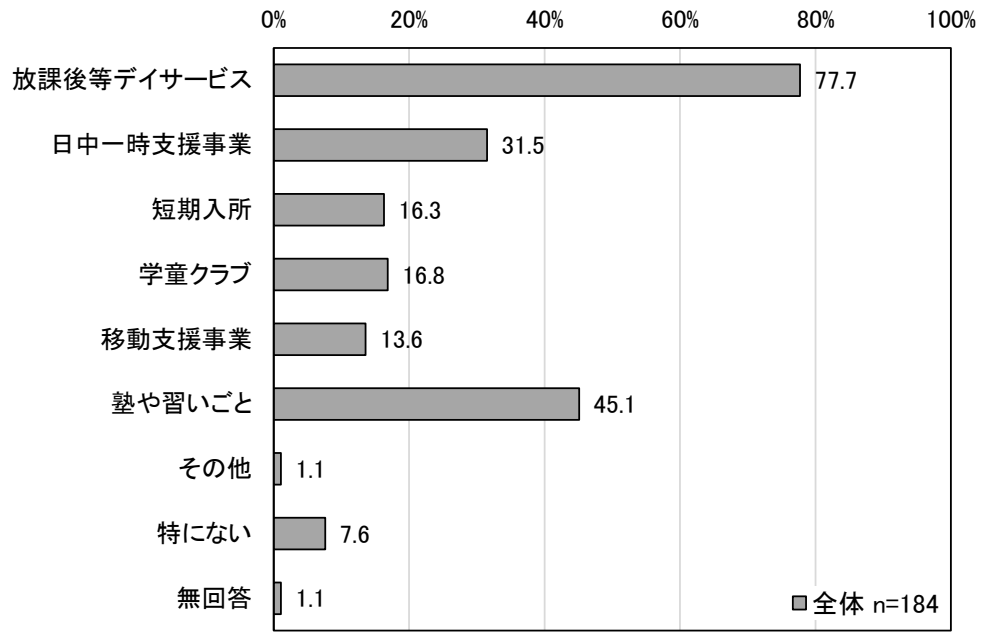
問１９　障害や発達の不安に気づいてから医療機関や専門相談機関に受診・相談するまでどの程度の期間がかかりましたか。（○は１つだけ）

受診・相談するまでにかかった期間については、「１か月以内」が 27.7%で最も多く、次いで「３か月以内」が 24.5%となっています。



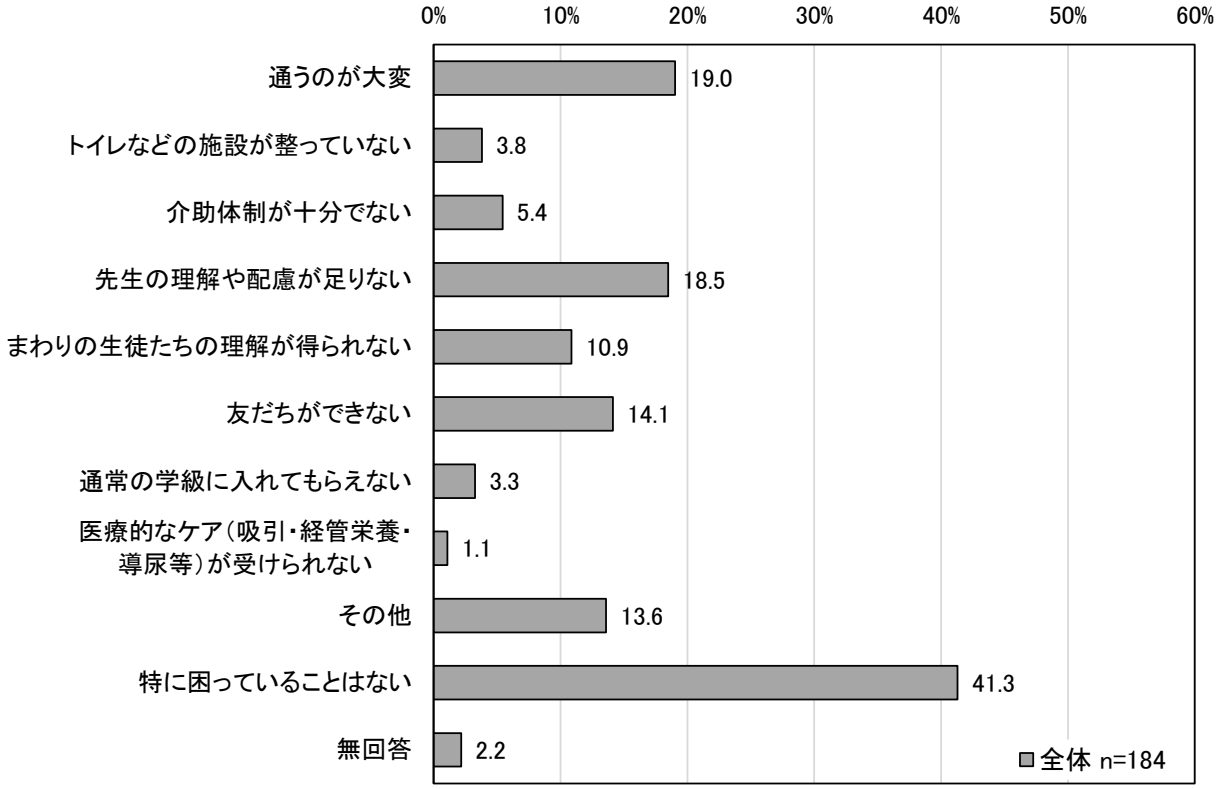
問２０　お子さんが放課後や休みの日に利用したいものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

放課後等の過ごし方の希望については、「放課後等デイサービス」が 77.7%で最も多く、次いで「塾や習いごと」が 45.1%となっています。



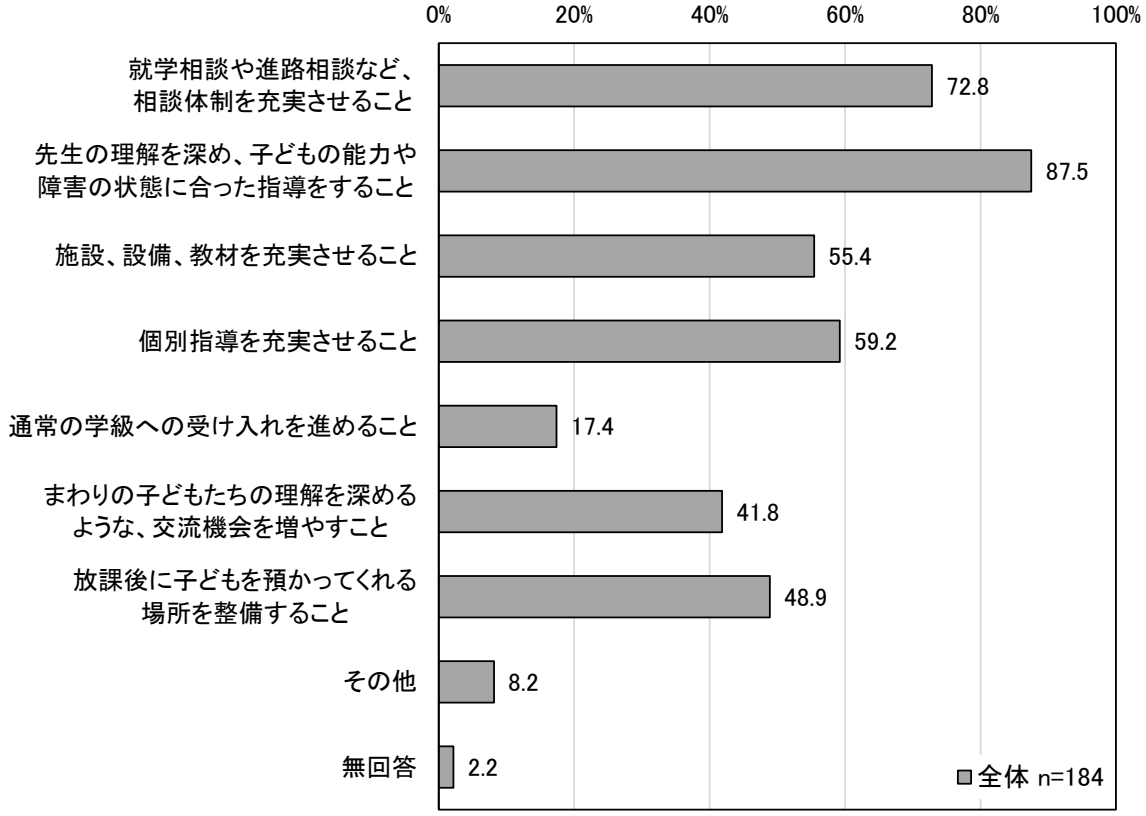
問２１　保育所・学校などに通っていて困ることはありましたか。（あてはまるものすべてに○）

保育所・学校などに通っていて困ることについては、「特に困っていることはない」を除くと、「通うのが大変」が 19.0%で最も多く、次いで「先生の理解や配慮が足りない」が 18.5%となっています。



問２２　障害のある子どもが学ぶための環境について、どのようなことが望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

学ぶための環境について望むことについては、「先生の理解を深め、子どもの能力や障害の状態に合った指導をすること」が 87.5%で最も多く、次いで「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させること」が 72.8%となっています。



■年齢別（18 歳未満）

未就学では「先生の理解を深め、子どもの能力や障害の状態に合った指導をすること」と「放課後に子どもを預かってくれる場所を整備すること」、小学生では「就学相談や進路相談など、相談体制を充実させること」と「個別指導を充実させること」、中学生では「個別指導を充実させること」と「まわりの子どもたちの理解を深めるような、交流機会を増やすこと」高校生では「先生の理解を深め、子どもの能力や障害の状態に合った指導をすること」と「施設、設備、教材を充実させること」が全体より多くなっています。

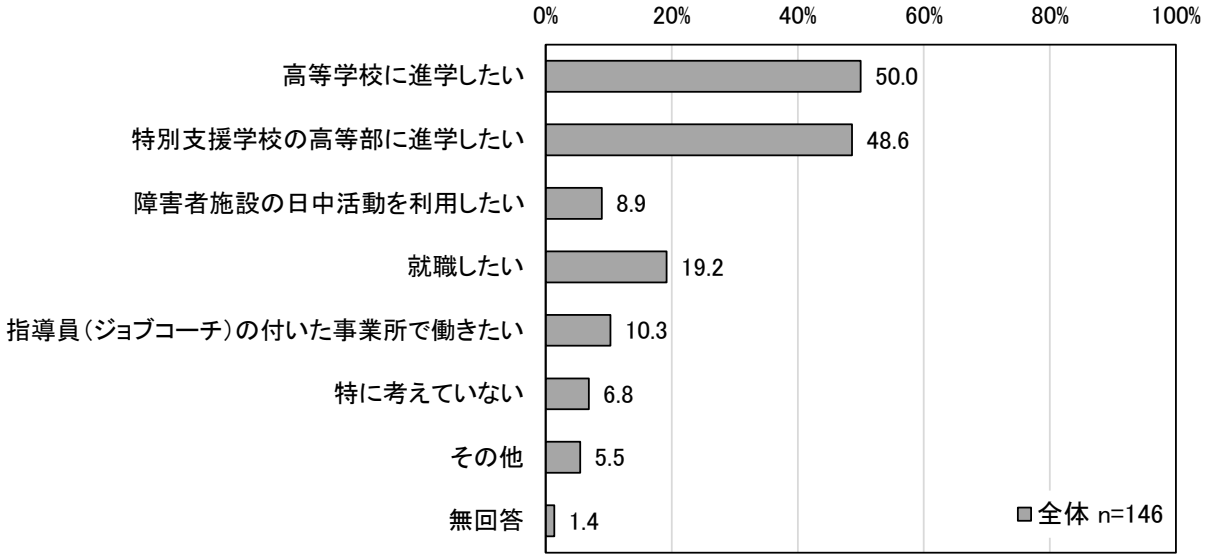
	就学相談や進路相談など、相談体制を充実させること	先生の理解を深め、子どもの能力や障害の状態に合った指導をすること	施設、設備、教材を充実させること	個別指導を充実させること	通常の学級への受け入れを進めること	まわりの子どもたちの理解を深めるような、交流機会を増やすこと	放課後に子どもを預かってくれる場所を整備すること	その他	無回答
全体 n=184	72.8	87.5	55.4	59.2	17.4	41.8	48.9	8.2	2.2
未就学 n=72	73.6	93.1	55.6	50.0	18.1	37.5	56.9	9.7	0.0
小学生 n=74	74.3	82.4	55.4	67.6	18.9	45.9	43.2	10.8	2.7
中学生 n=25	68.0	84.0	52.0	64.0	16.0	44.0	44.0	0.0	4.0
高校生 n=13	69.2	92.3	61.5	53.8	7.7	38.5	46.2	0.0	7.7

（単位：%）

問１７で「１～４」と回答した方にお聞きします。

問２３－１　今後の進路について、希望を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

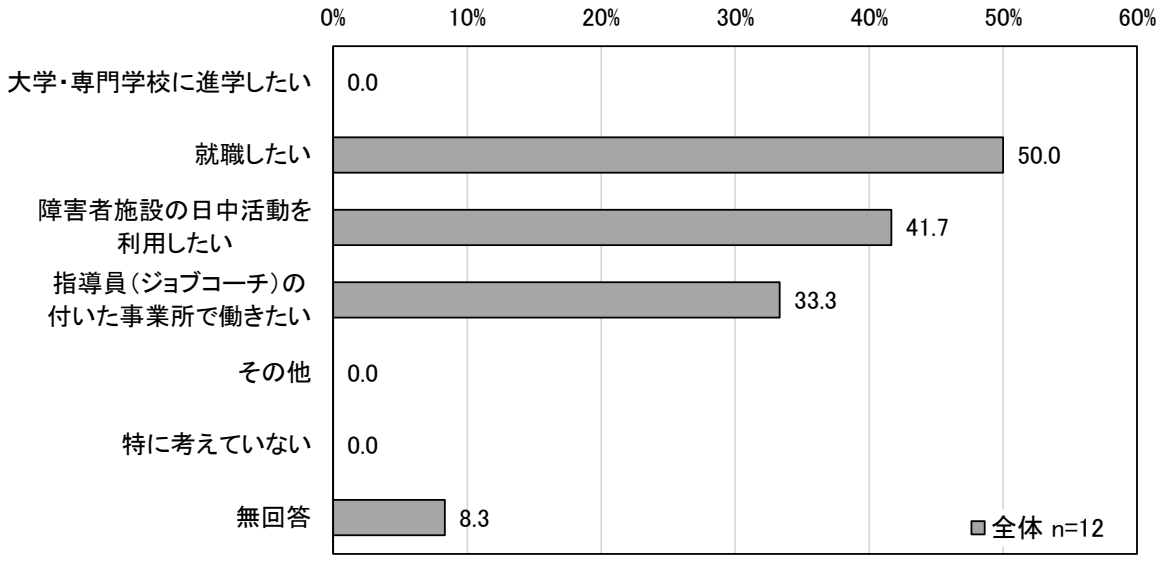
今後の進路の希望については、「高等学校に進学したい」が50.0%で最も多く、次いで「特別支援学校の高等部に進学したい」が48.6%となっています。



問１７で「５または６」と回答した方にお聞きします。

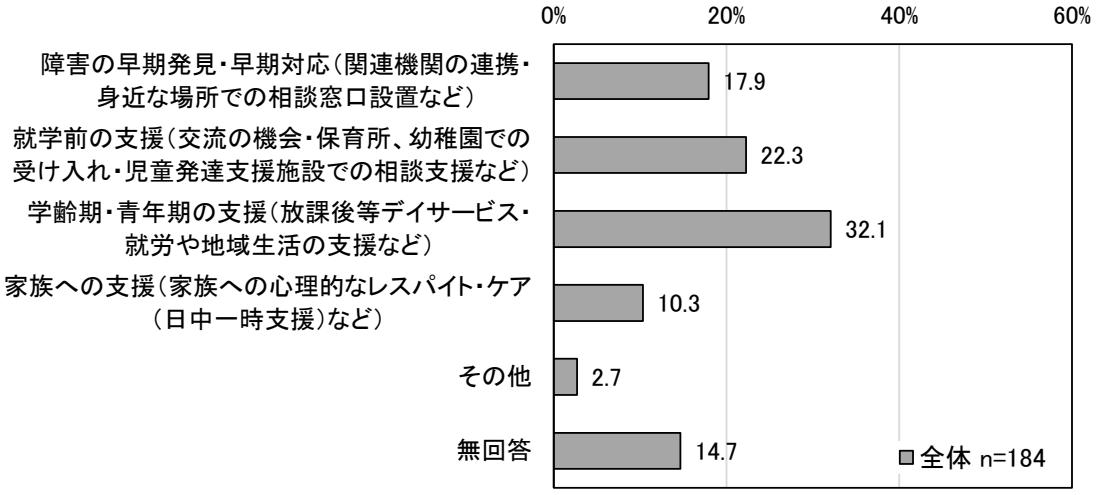
問２３－２　今後の進路について、希望を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

今後の進路の希望については、「就職したい」が50.0%で最も多く、次いで「障害者施設の日中活動を利用したい」が41.7%となっています。



問２４　お子さんの支援を進めるにあたって、どのようなことを充実させていけばよいと思いますか。（○は１つだけ）

充実してほしい子どもの支援については、「学齢期・青年期の支援（放課後等デイサービス・就労や地域生活の支援など）」が32.1%で最も多く、次いで「就学前の支援（交流の機会・保育所、幼稚園での受け入れ・児童発達支援施設での相談支援など）」が22.3%となっています。



■年齢別（18 歳未満）

未就学では「就学前の支援（交流の機会・保育所、幼稚園での受け入れ・児童発達支援施設での相談支援など）」が、小学生と中学生では「学齢期・青年期の支援（放課後等デイサービス・就労や地域生活の支援など）」が、高校生では「障害の早期発見・早期対応（関連機関の連携・身近な場所での相談窓口設置など）」が全体より多くなっています。

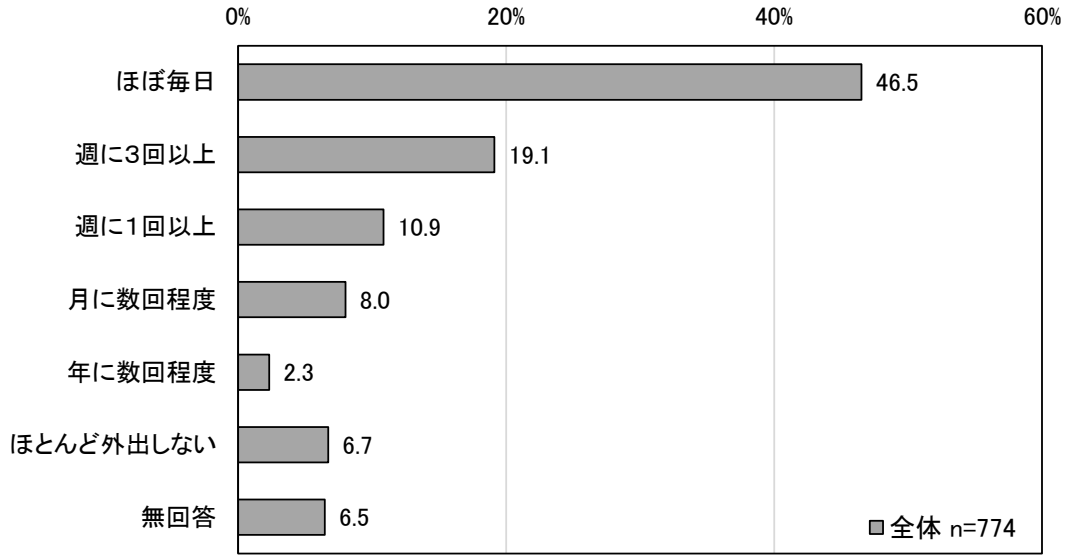
	障害の早期発見・早期対応（関連機関の連携・身近な場所での相談窓口設置など）	就学前の支援（交流の機会・保育所、幼稚園での受け入れ・児童発達支援施設での相談支援など）	学齢期・青年期の支援（放課後等デイサービス・就労や地域生活の支援など）	家族への支援（家族への心理的なレスパイト・ケア（日中一時支援）など）	その他	無回答
全体 n=184	17.9	22.3	32.1	10.3	2.7	14.7
未就学 n=72	13.9	41.7	11.1	12.5	4.2	16.7
小学生 n=74	17.6	10.8	43.2	12.2	2.7	13.5
中学生 n=25	24.0	8.0	56.0	4.0	0.0	8.0
高校生 n=13	30.8	7.7	38.5	0.0	0.0	23.1

（単位：%）

4. 外出・移動支援について

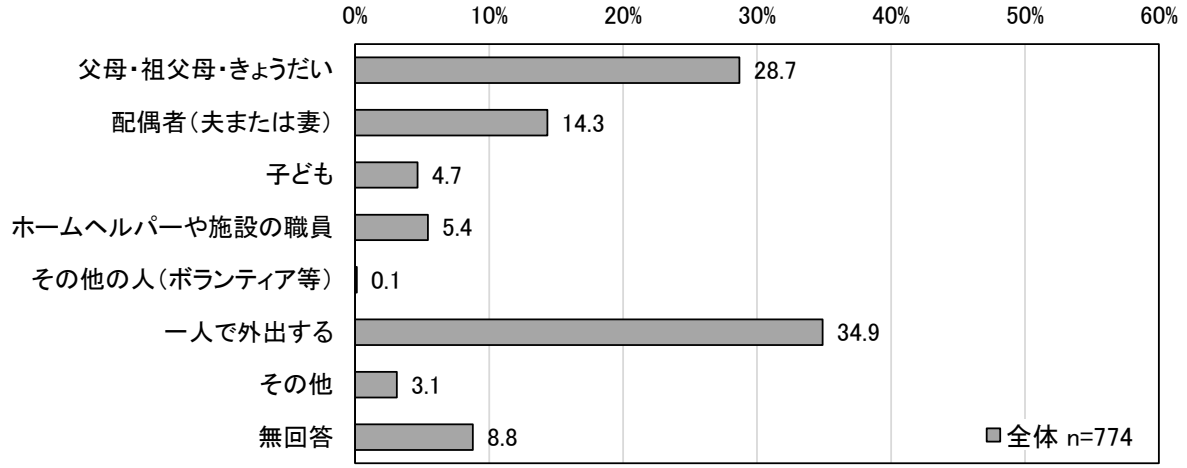
問２５　あなたは、どのくらいの頻度で外出しますか。（○は１つだけ）

外出の頻度については、「ほぼ毎日」が 46.5%で最も多くなっています。



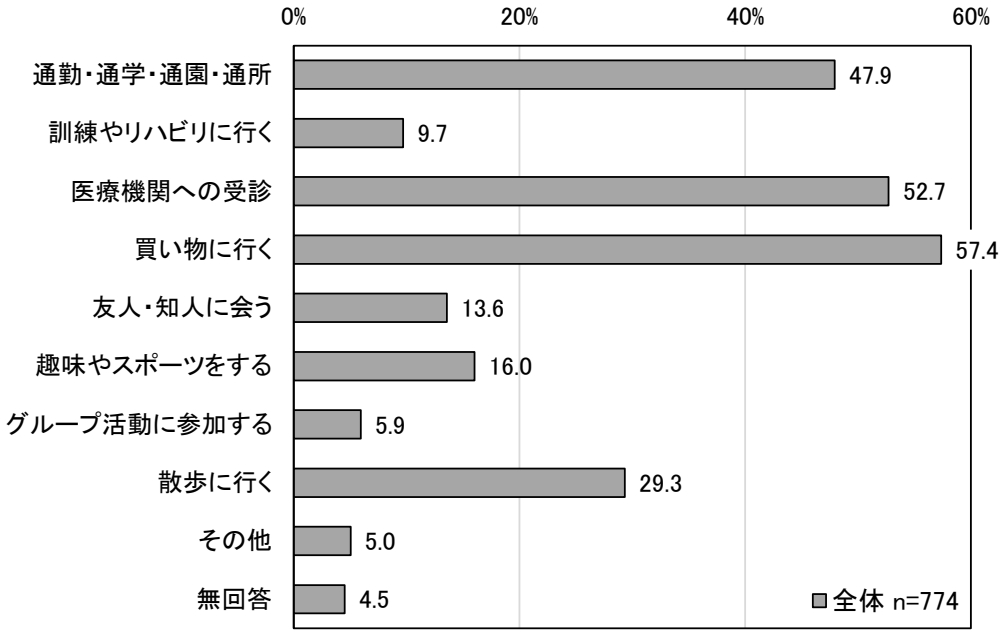
問２６　あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。（○は１つだけ）

外出する際の主な同伴者については、「一人で外出する」が 34.9%で最も多く、次いで「父母・祖父母・きょうだい」が 28.7%となっています。



問２７　あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。（あてはまるものすべてに○）

どのような目的で外出することが多いかについては、「買い物に行く」が57.4%で最も多く、次いで「医療機関への受診」が52.7%となっています。



■障害種別

種別ごとで全体より多くなっているものは以下の通りとなります。また、すべての種別で「買い物に行く」が多くなっています。

【身体】…「医療機関への受診」

【知的】…「通勤・通学・通園・通所」

【精神】・【難病】…「医療機関への受診」、「買い物に行く」

【発達】…「通勤・通学・通園・通所」

【高次】…「医療機関への受診」、「買い物に行く」

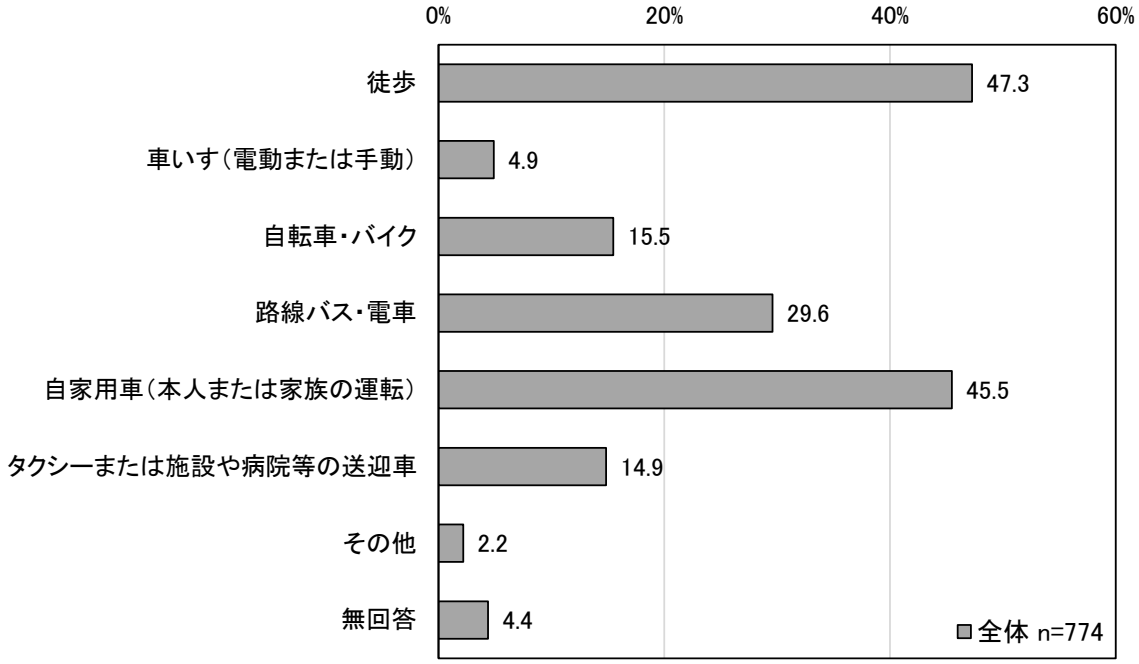
	通勤・通学・通園・通所	訓練やリハビリに行く	医療機関への受診	買い物に行く	友人・知人に会う
全体 n=774	47.9	9.7	52.7	57.4	13.6
身体障害者 n=400	23.3	11.5	62.3	55.8	14.5
知的障害者 n=210	79.5	8.1	43.8	54.3	11.9
精神障害者 n=148	43.2	7.4	64.2	64.9	15.5
難病患者 n=50	46.0	16.0	66.0	62.0	16.0
発達障害 n=122	85.2	9.8	43.4	58.2	15.6
高次脳機能障害 n=10	60.0	10.0	70.0	70.0	0.0

	趣味やスポーツをする	グループ活動に参加する	散歩に行く	その他	無回答
全体 n=774	16.0	5.9	29.3	5.0	4.5
身体障害者 n=400	15.5	7.3	27.0	5.3	7.3
知的障害者 n=210	12.4	6.7	31.0	2.9	2.4
精神障害者 n=148	20.9	2.7	22.3	6.8	5.4
難病患者 n=50	10.0	6.0	28.0	10.0	2.0
発達障害 n=122	17.2	5.7	30.3	2.5	2.5
高次脳機能障害 n=10	10.0	10.0	30.0	10.0	0.0

（単位：%）

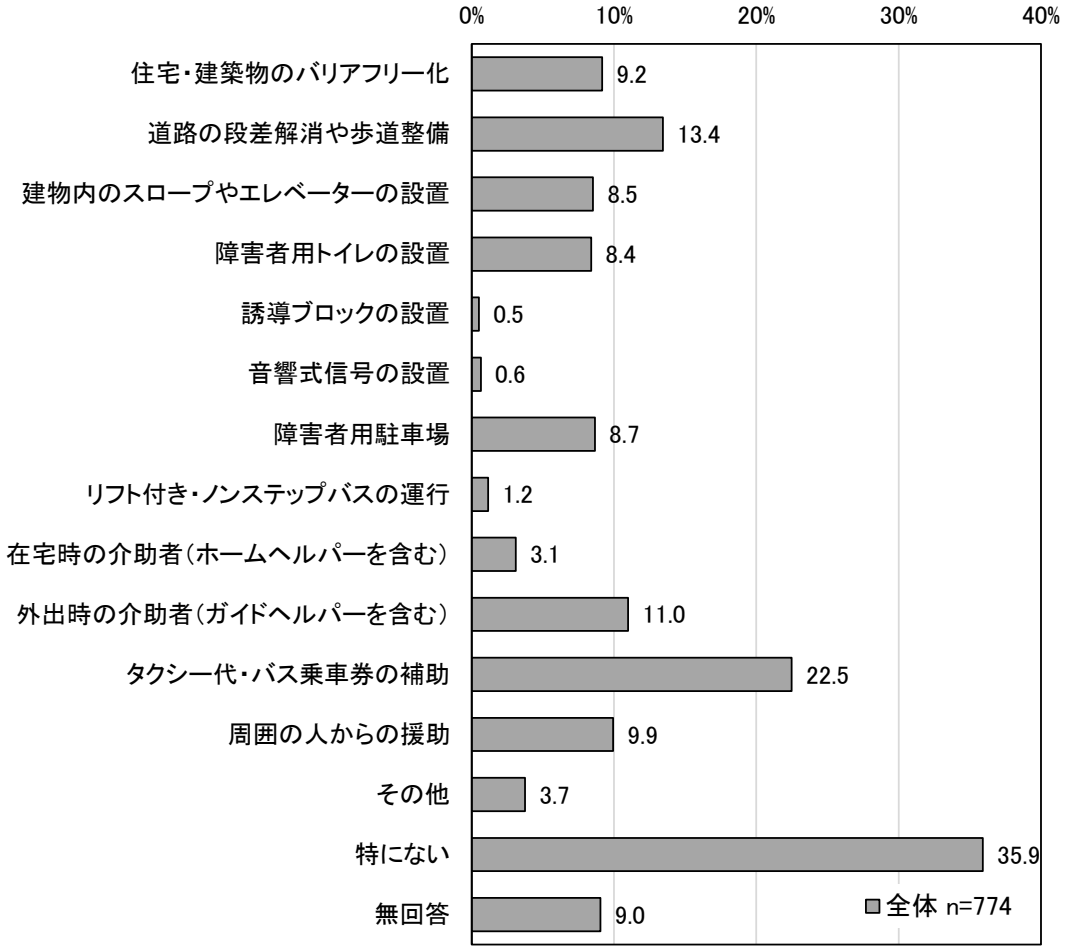
問２８　あなたが外出するときの主な交通手段は、何ですか。（○は２つまで）

主な交通手段については、「徒歩」が 47.3%で最も多く、次いで「自家用車（本人または家族の運転）」が 45.5%となっています。



問２９　あなたが外出するために、整備または援助を必要とするものは、何ですか。（○は３つまで）

外出のために整備または援助が必要なものについては、「特にない」を除くと、「タクシー代・バス乗車券の補助」が 22.5%で最も多く、次いで「道路の段差解消や歩道整備」が 13.4%となっています。



■障害種別

種別ごとで全体より多くなっているものは以下の通りとなります。整備または援助するものへのニーズの違いがうかがえます。

【身体】…「タクシー代・バス乗車券の補助」

【知的】…「外出時の介助者（ガイドヘルパーを含む）」

【難病】…「道路の段差解消や歩道整備」、「建物内のスロープやエレベーターの設置」、「障害者用駐車場」、「外出時の介助者（ガイドヘルパーを含む）」

【発達】…「外出時の介助者（ガイドヘルパーを含む）」

【高次】…「在宅時の介助者（ホームヘルパーを含む）」、「外出時の介助者（ガイドヘルパーを含む）」、「タクシー代・バス乗車券の補助」

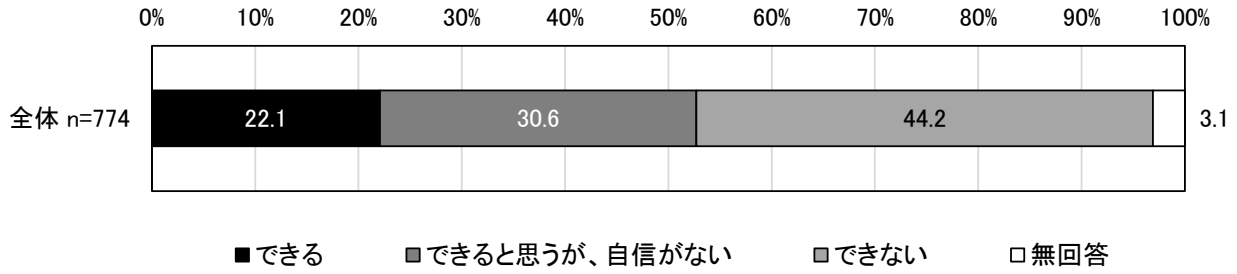
	住宅・建築物のバリアフリー化	道路の段差解消や歩道整備	建物内のスロープやエレベーターの設置	障害者用トイレの設置	誘導ブロックの設置	音響式信号の設置	障害者用駐車場	リフト付き・ノンステップバスの運行
全体 n=774	9.2	13.4	8.5	8.4	0.5	0.6	8.7	1.2
身体障害者 n=400	14.5	18.0	12.0	10.8	0.3	0.8	12.8	1.8
知的障害者 n=210	9.0	14.3	8.6	13.3	1.0	0.5	6.7	1.0
精神障害者 n=148	4.1	4.7	4.1	4.1	0.0	0.0	0.7	1.4
難病患者 n=50	14.0	20.0	20.0	12.0	2.0	0.0	16.0	2.0
発達障害 n=122	7.4	14.8	9.0	8.2	1.6	0.0	4.9	0.0
高次脳機能障害 n=10	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0

	在宅時の介助者（ホームヘルパーを含む）	外出時の介助者（ガイドヘルパーを含む）	タクシー代・バス乗車券の補助	周囲の人からの援助	その他	特にない	無回答
全体 n=774	3.1	11.0	22.5	9.9	3.7	35.9	9.0
身体障害者 n=400	3.5	8.8	26.5	5.3	2.8	28.3	10.3
知的障害者 n=210	4.8	21.9	19.5	17.6	3.8	30.5	7.1
精神障害者 n=148	1.4	6.1	23.0	10.1	6.1	50.0	9.5
難病患者 n=50	6.0	20.0	18.0	10.0	6.0	30.0	2.0
発達障害 n=122	1.6	16.4	19.7	16.4	4.9	32.8	7.4
高次脳機能障害 n=10	30.0	30.0	40.0	20.0	10.0	0.0	0.0

（単位：%）

問３０　あなたは、災害時に一人で避難できますか。（○は１つだけ）

災害時における一人での避難については、「できない」が 44.2%、「できると思うが、自信がない」が 30.6%、「できる」が 22.1%となっています。



■障害種別

【精神】を除くすべての種別で「できない」が最も多く、特に【知的】・【発達】では６割を超えて多くなっています。

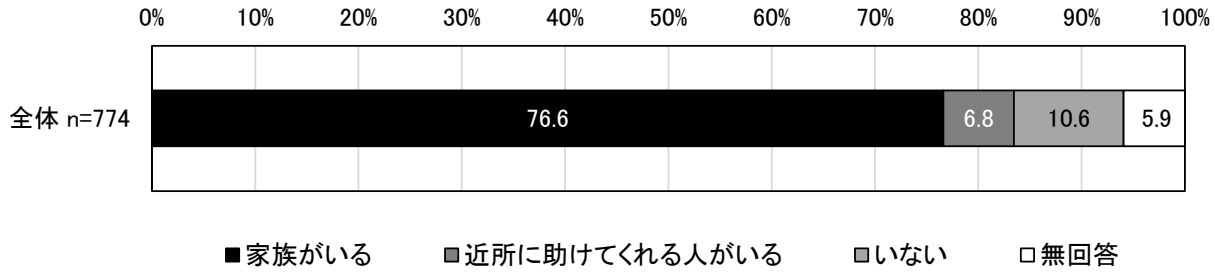
【精神】では「できると思うが、自信がない」が最も多くなっています。

	できる	できると思うが、自信がない	できない	無回答
全体 n=774	22.1	30.6	44.2	3.1
身体障害者 n=400	26.5	33.5	35.5	4.5
知的障害者 n=210	5.7	20.0	72.9	1.4
精神障害者 n=148	30.4	48.0	18.2	3.4
難病患者 n=50	18.0	26.0	56.0	0.0
発達障害 n=122	9.8	24.6	62.3	3.3
高次脳機能障害 n=10	10.0	40.0	50.0	0.0

（単位：%）

問３１　あなたは、災害時に助けてくれる人がいますか。（○は１つだけ）

災害時に助けてくれる人の有無については、「家族がいる」が 76.6%で最も多く、次いで「いない」が 10.6%、「近所に助けてくれる人がいる」が 6.8%となっています。



■障害種別

すべての種別で「家族がいる」が最も多く、特に【知的】・【発達】では８割を超えて多くなっています。

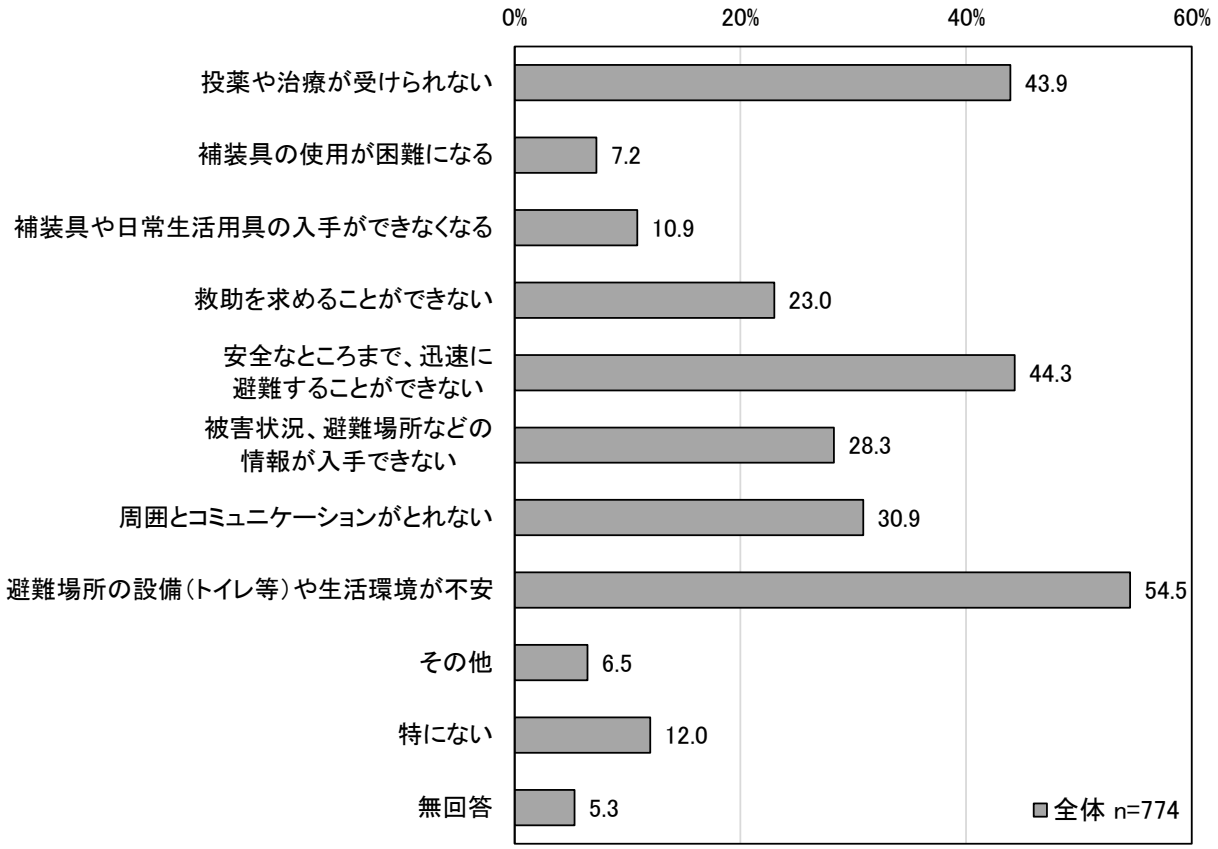
【精神】では「いない」が２割を超えて多くなっています。

	家族がいる	近所に助けてくれる人がいる	いない	無回答
全体 n=774	76.6	6.8	10.6	5.9
身体障害者 n=400	73.0	8.5	10.5	8.0
知的障害者 n=210	82.4	6.2	6.2	5.2
精神障害者 n=148	61.5	8.1	24.3	6.1
難病患者 n=50	76.0	10.0	10.0	4.0
発達障害 n=122	87.7	1.6	6.6	4.1
高次脳機能障害 n=10	70.0	10.0	10.0	10.0

（単位：%）

問３２　火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

火事や地震等の災害時に困ることについては、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」が54.5%で最も多く、次いで「安全なところまで、迅速に避難することができない」が44.3%で多くなっています。



■障害種別

【身体】・【発達】は「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」、【知的】では「周囲とコミュニケーションがとれない」、【精神】では「投薬や治療が受けられない」、【難病】・【高次】では「安全なところまで、迅速に避難することができない」が最も多くなっています。

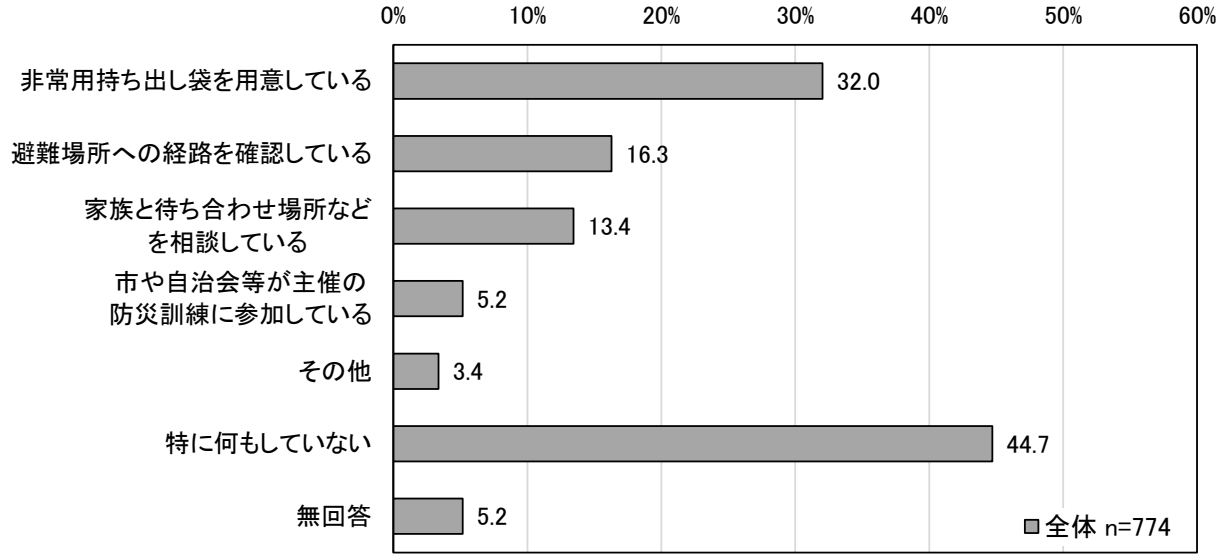
	投薬や治療が受けられない	補装具の使用が困難になる	補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	救助を求めることができない	安全なところまで、迅速に避難することができない	被害状況、避難場所などの情報が入手できない
全体 n=774	43.9	7.2	10.9	23.0	44.3	28.3
身体障害者 n=400	52.3	11.8	15.0	15.0	45.5	20.8
知的障害者 n=210	31.0	3.3	10.5	47.6	60.5	47.6
精神障害者 n=148	64.2	3.4	9.5	12.2	25.7	25.7
難病患者 n=50	54.0	12.0	22.0	26.0	64.0	34.0
発達障害 n=122	31.1	2.5	11.5	40.2	51.6	42.6
高次脳機能障害 n=10	60.0	0.0	30.0	30.0	90.0	40.0

	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	その他	特にない	無回答
全体 n=774	30.9	54.5	6.5	12.0	5.3
身体障害者 n=400	19.8	52.8	5.8	11.3	7.3
知的障害者 n=210	61.9	60.5	9.0	7.1	2.9
精神障害者 n=148	26.4	54.7	9.5	9.5	6.1
難病患者 n=50	32.0	60.0	14.0	14.0	0.0
発達障害 n=122	57.4	60.7	9.0	8.2	2.5
高次脳機能障害 n=10	60.0	60.0	20.0	0.0	0.0

（単位：%）

問３３　あなたは、災害による被害をできるだけ小さくするために、日頃の備えをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

災害による被害を小さくするための備えについては、「特に何もしていない」を除くと、「非常用持ち出し袋を用意している」が 32.0%で最も多く、次いで「避難場所への経路を確認している」が 16.3%で多くなっています。



■障害種別

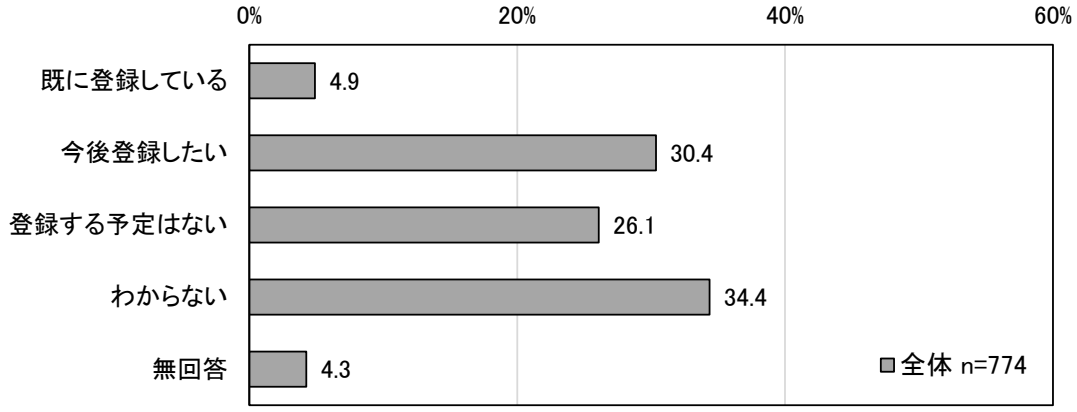
すべての種別で「非常用持ち出し袋を用意している」が多くなっています。

	非常用持ち出し袋を用意している	避難場所への経路を確認している	家族と待ち合わせ場所などを相談している	市や自治会等が主催の防災訓練に参加している	その他	特に何もしていない	無回答
全体 n=774	32.0	16.3	13.4	5.2	3.4	44.7	5.2
身体障害者 n=400	31.3	17.3	12.0	7.3	3.8	44.8	5.8
知的障害者 n=210	33.3	12.9	11.4	2.9	4.8	43.8	4.8
精神障害者 n=148	27.7	14.2	12.2	3.4	4.1	53.4	3.4
難病患者 n=50	38.0	20.0	18.0	6.0	2.0	46.0	0.0
発達障害 n=122	34.4	10.7	17.2	1.6	2.5	43.4	4.9
高次脳機能障害 n=10	50.0	10.0	20.0	0.0	10.0	40.0	0.0

（単位：%）

問３４　流山市では、災害時の避難に手助けが必要な方をあらかじめ避難行動要支援者名簿に登録して、地域で助け合う取り組み（地域支え合い活動）を行っています。あなたは、避難行動要支援者名簿に登録していますか。登録していない方は、今後登録したいと思いますか。（○は１つだけ）

外出のために整備または援助が必要なものについては、「わからない」が 34.4%で最も多く、次いで「今後登録したい」が 30.4%となっています。



■障害種別

【身体】・【精神】・【高次】では、「わからない」が最も多くなっていますが、【知的】・【難病】・【発達】では「今後登録したい」が最も多くなっています。

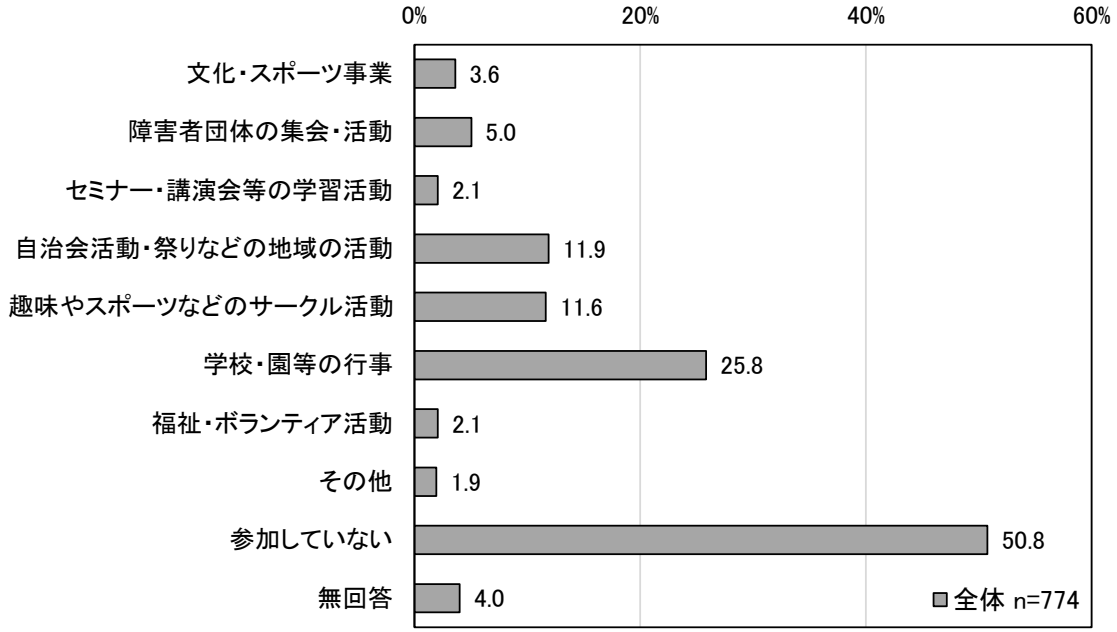
	既に登録している	今後登録したい	登録する予定はない	わからない	無回答
全体 n=774	4.9	30.4	26.1	34.4	4.3
身体障害者 n=400	6.0	30.3	24.8	33.3	5.8
知的障害者 n=210	7.6	38.6	18.6	33.3	1.9
精神障害者 n=148	1.4	22.3	29.1	43.2	4.1
難病患者 n=50	14.0	34.0	22.0	28.0	2.0
発達障害 n=122	5.7	36.9	23.8	32.0	1.6
高次脳機能障害 n=10	30.0	20.0	20.0	30.0	0.0

（単位：%）

5. 社会参加・地域参加

問３５　最近１年間、あなたは、地域の行事や活動に参加しましたか。（あてはまるものすべてに○）

参加した地域の行事や活動については、「参加していない」を除くと、「学校・園等の行事」が25.8%で最も多く、次いで「自治会活動・祭りなどの地域の活動」が11.9%となっています。



■障害種別

「学校・園等の行事」は【知的】・【難病】・【発達】で多く、「自治会活動・祭りなどの地域の活動」は【高次】で多くなっています。

【精神】では「参加していない」が全体より多くなっています。

	文化・スポーツ事業	障害者団体の集会・活動	セミナー・講演会等の学習活動	自治会活動・祭りなどの地域の活動	趣味やスポーツなどのサークル活動	学校・園等の行事	福祉・ボランティア活動	その他	参加していない	無回答
全体 n=774	3.6	5.0	2.1	11.9	11.6	25.8	2.1	1.9	50.8	4.0
身体障害者 n=400	2.8	4.0	2.8	11.5	14.5	7.5	2.3	2.3	61.5	5.8
知的障害者 n=210	4.8	7.6	0.5	9.5	7.1	49.5	2.4	2.4	37.6	1.4
精神障害者 n=148	3.4	2.0	1.4	5.4	8.1	6.1	1.4	1.4	75.0	3.4
難病患者 n=50	2.0	4.0	2.0	12.0	12.0	32.0	0.0	0.0	46.0	8.0
発達障害 n=122	2.5	3.3	0.0	10.7	8.2	60.7	2.5	0.0	31.1	1.6
高次脳機能障害 n=10	0.0	10.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	70.0	0.0

（単位：%）

■地域別

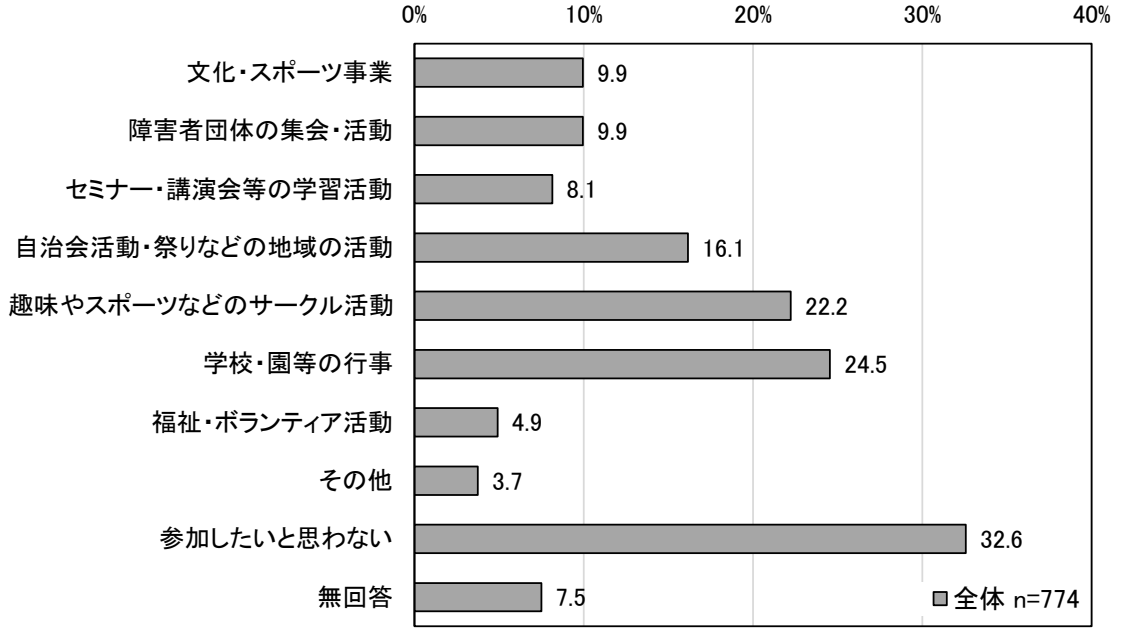
中部で「学校・園等の行事」が全体より多くなっています。

	文化・スポーツ事業	障害者団体の集会・活動	セミナー・講演会等の学習活動	自治会活動・祭りなどの地域の活動	趣味やスポーツなどのサークル活動	学校・園等の行事	福祉・ボランティア活動	その他	参加していない	無回答
全体 n=774	3.6	5.0	2.1	11.9	11.6	25.8	2.1	1.9	50.8	4.0
北部 n=155	1.3	5.2	3.2	7.7	11.0	14.2	4.5	3.9	54.2	4.5
中部 n=221	2.7	3.6	0.9	14.5	14.9	34.8	1.4	0.9	46.6	1.8
南部 n=225	4.4	4.9	1.8	10.7	12.0	27.6	1.8	2.2	49.8	4.0
東部 n=159	6.3	6.9	2.5	13.8	8.2	22.6	1.3	0.6	55.3	5.7

（単位：%）

問３６　今後、あなたは、どのような行事や活動に参加したいですか。（○は３つまで）

参加したい地域の行事や活動については、「参加したいと思わない」を除くと、「学校・園等の行事」が24.5%で最も多く、次いで「趣味やスポーツなどのサークル活動」が22.2%となっています。



■障害種別

【知的】と【発達】は地域の行事や活動への参加意向が強く、「学校・園等の行事」が全体より多くなっています。また、【高次】では「趣味やスポーツなどのサークル活動」も多くなっています。

	文化・スポーツ事業	障害者団体の集会・活動	セミナー・講演会等の学習活動	自治会活動・祭りなどの地域の活動	趣味やスポーツなどのサークル活動	学校・園等の行事	福祉・ボランティア活動	その他	参加したいと思わない	無回答
全体 n=774	9.9	9.9	8.1	16.1	22.2	24.5	4.9	3.7	32.6	7.5
身体障害者 n=400	9.5	8.0	10.5	12.8	21.8	8.5	4.8	5.0	40.3	9.8
知的障害者 n=210	7.1	19.0	2.9	20.5	22.4	45.7	5.7	1.9	22.4	4.3
精神障害者 n=148	13.5	7.4	10.1	9.5	20.9	6.8	4.1	4.1	48.0	6.8
難病患者 n=50	10.0	16.0	4.0	14.0	24.0	26.0	0.0	4.0	32.0	8.0
発達障害 n=122	8.2	15.6	3.3	20.5	24.6	54.9	6.6	2.5	17.2	4.9
高次脳機能障害 n=10	0.0	20.0	10.0	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0	40.0	0.0

（単位：%）

■地域別

北部で「障害者団体の集会・活動」、中部で「自治会活動・祭りなどの地域の活動」、「学校・園等の行事」、南部で「趣味やスポーツなどのサークル活動」、「参加したいと思わない」、東部で「文化・スポーツ事業」が全体より多くなっています。

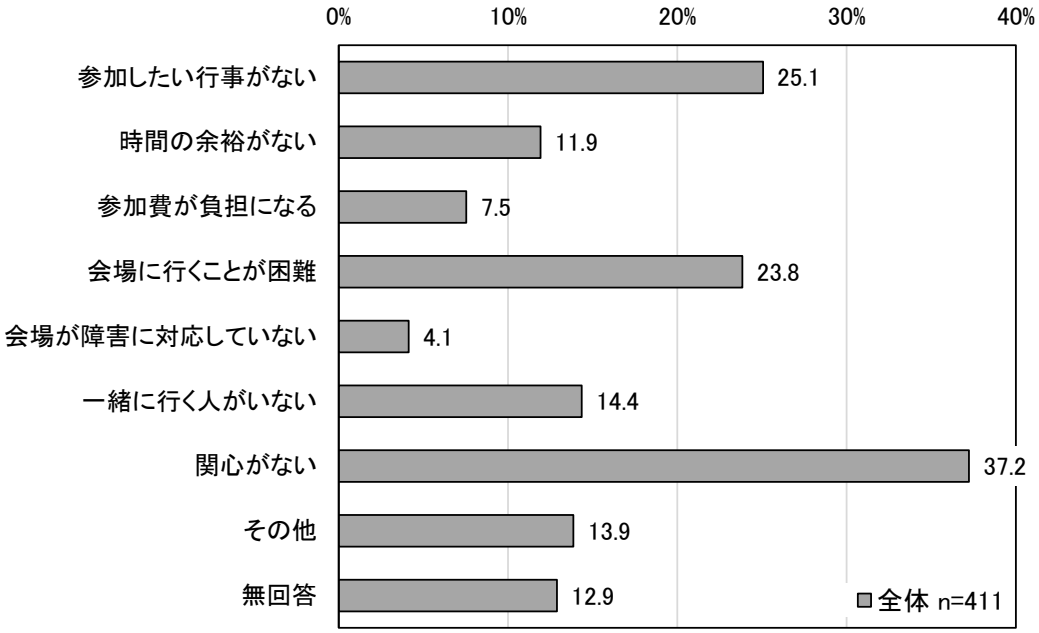
	文化・スポーツ事業	障害者団体の集会・活動	セミナー・講演会等の学習活動	自治会活動・祭りなどの地域の活動	趣味やスポーツなどのサークル活動	学校・園等の行事	福祉・ボランティア活動	その他	参加したいと思わない	無回答
全体 n=774	9.9	9.9	8.1	16.1	22.2	24.5	4.9	3.7	32.6	7.5
北部 n=155	7.7	14.2	7.7	10.3	22.6	14.2	8.4	3.9	35.5	9.0
中部 n=221	9.0	7.7	5.4	22.2	22.2	31.7	3.6	5.4	27.1	5.0
南部 n=225	11.6	7.6	9.8	12.0	24.9	26.7	4.4	1.3	35.1	7.6
東部 n=159	11.9	11.9	10.1	19.5	18.2	22.0	3.8	4.4	35.2	8.8

（単位：%）

問３５で「９．参加していない」もしくは問３６で「９．参加したいと思わない」と回答した方にお聞きします。

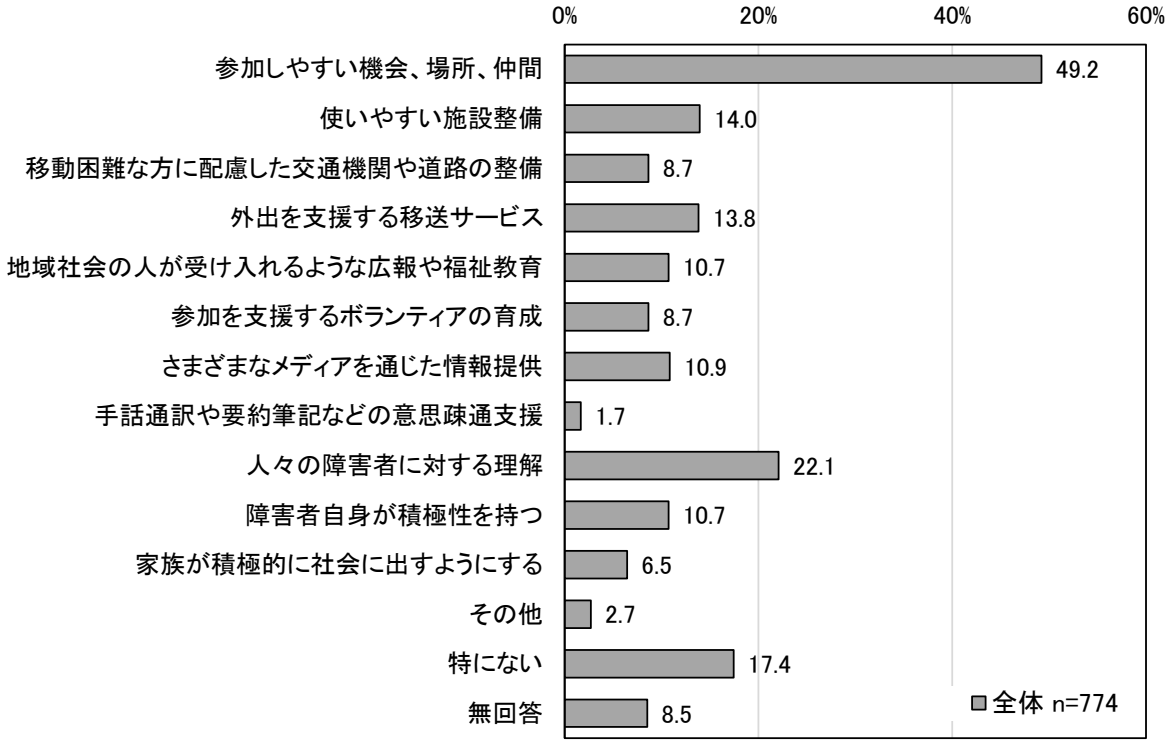
問３６－１　参加していない、参加したいと思わない理由は何ですか。（○は３つまで）

参加したいと思わない理由については、「関心がない」を除くと、「参加したい行事がない」が 25.1%で最も多く、次いで「会場に行くことが困難」が 23.8%となっています。



問３７　あなたが、地域や社会に積極的に参加できるようにするため、特に大切なことは何ですか。（○は３つまで）

地域や社会に積極的に参加するために大切なことについては、「参加しやすい機会、場所、仲間」が 49.2%で最も多く、次いで「人々の障害者に対する理解」が 22.1%となっています



■障害種別

全体１位の「参加しやすい機会、場所、仲間」はどの種別でも最も多くなっていますが、【知的】では６割を超え、【発達】では７割を超えています。

その他、種別ごとの２位及び３位の回答は以下の通りとなります。

【身体】…２位：「外出を支援する移送サービス」、３位：「使いやすい施設整備」

【知的】…２位：「人々の障害者に対する理解」、３位：「参加を支援するボランティアの育成」

【精神】…２位：「人々の障害者に対する理解」、３位：「さまざまなメディアを通じた情報提供」

【難病】…２位：「使いやすい施設整備」、３位：「人々の障害者に対する理解」

【発達】…２位：「人々の障害者に対する理解」、３位：「地域社会の人が受け入れるような広報や福祉教育」

【高次】…１位（同率）：「使いやすい施設整備」・「移動困難な方に配慮した交通機関や道路の整備」・「外出を支援する移送サービス」・「人々の障害者に対する理解」

	参加しやすい機会、場所、仲間	使いやすい施設整備	移動困難な方に配慮した交通機関や道路の整備	外出を支援する移送サービス	地域社会の人が受け入れるような広報や福祉教育	参加を支援するボランティアの育成	さまざまなメディアを通じた情報提供
全体 n=774	49.2	14.0	8.7	13.8	10.7	8.7	10.9
身体障害者 n=400	35.3	14.5	13.0	18.0	7.0	5.3	9.3
知的障害者 n=210	61.9	12.9	7.1	14.3	16.7	18.6	7.6
精神障害者 n=148	49.3	13.5	4.7	10.1	12.2	4.1	17.6
難病患者 n=50	50.0	28.0	16.0	14.0	12.0	10.0	12.0
発達障害 n=122	70.5	18.9	5.7	9.8	23.0	17.2	9.0
高次脳機能障害 n=10	20.0	20.0	20.0	20.0	10.0	0.0	10.0

	手話通訳や要約筆記などの意思疎通支援	人々の障害者に対する理解	障害者自身が積極性を持つ	家族が積極的に社会に出すようにする	その他	特にない	無回答
全体 n=774	1.7	22.1	10.7	6.5	2.7	17.4	8.5
身体障害者 n=400	2.5	11.3	11.5	3.3	3.3	22.5	12.0
知的障害者 n=210	1.4	37.6	7.1	10.5	0.5	12.4	4.8
精神障害者 n=148	0.0	25.0	16.2	2.0	6.1	18.2	7.4
難病患者 n=50	2.0	18.0	12.0	8.0	4.0	16.0	6.0
発達障害 n=122	1.6	40.2	9.8	12.3	1.6	6.6	4.9
高次脳機能障害 n=10	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0

（単位：%）

■地域別

すべての地域で「参加しやすい機会、場所、仲間」が最も多くなっています。

	参加しやすい機会、場所、仲間	使いやすい施設整備	移動困難な方に配慮した交通機関や道路の整備	外出を支援する移送サービス	地域社会の人が受け入れるような広報や福祉教育	参加を支援するボランティアの育成	さまざまなメディアを通じた情報提供
全体 n=774	49.2	14.0	8.7	13.8	10.7	8.7	10.9
北部 n=155	48.4	12.9	7.1	15.5	9.0	8.4	11.6
中部 n=221	56.1	14.5	5.9	17.2	13.1	8.6	11.8
南部 n=225	45.8	14.2	10.2	12.4	9.3	6.7	9.3
東部 n=159	44.7	13.8	11.9	10.1	11.9	11.9	11.3

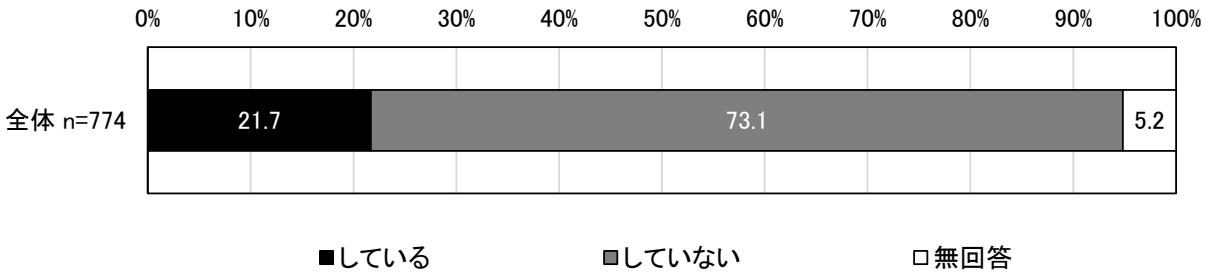
	手話通訳や要約筆記などの意思疎通支援	人々の障害者に対する理解	障害者自身が積極性を持つ	家族が積極的に社会に出すようにする	その他	特にない	無回答
全体 n=774	1.7	22.1	10.7	6.5	2.7	17.4	8.5
北部 n=155	2.6	16.8	14.8	5.2	4.5	20.0	7.1
中部 n=221	1.4	22.6	8.1	5.9	3.6	14.5	7.7
南部 n=225	1.8	23.6	10.7	8.0	0.9	17.3	10.2
東部 n=159	1.3	23.3	10.1	6.3	2.5	18.9	8.2

（単位：%）

6. 雇用・就労

問３８　あなたは仕事をしていますか。（福祉施設・作業所などでの就労も含む）（○は１つだけ）

就労状況については、「していない」が 73.1%、「している」が 21.7%となっています。



■障害種別

すべての種別で「していない」の方が多くなっています。

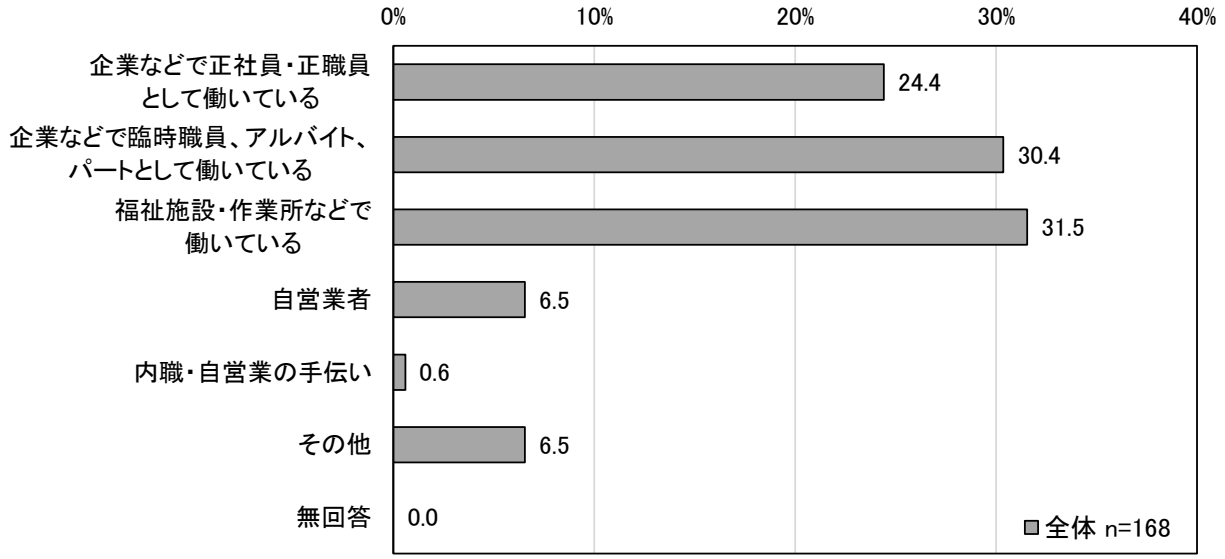
	している	していない	無回答
全体 n=774	21.7	73.1	5.2
身体障害者 n=400	17.3	76.3	6.5
知的障害者 n=210	25.2	71.4	3.3
精神障害者 n=148	37.8	57.4	4.7
難病患者 n=50	20.0	78.0	2.0
発達障害 n=122	23.0	73.8	3.3
高次脳機能障害 n=10	30.0	60.0	10.0

（単位：%）

問３８で「１．している」と回答した方にお聞きします。

問３８－１　どこで働いていますか。（○は１つだけ）

「仕事をしている」と回答した人に仕事の形態について聞いたところ、「福祉施設・作業所などで働いている」が31.5%と最も多く、次いで「企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている」が30.4%となっています。



■障害種別

【身体】・【精神】・【難病】は「企業などで正社員・正職員として働いている」、【知的】、【発達】では「福祉施設・作業所などで働いている」、【高次】では「企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている」が最も多くなっています。

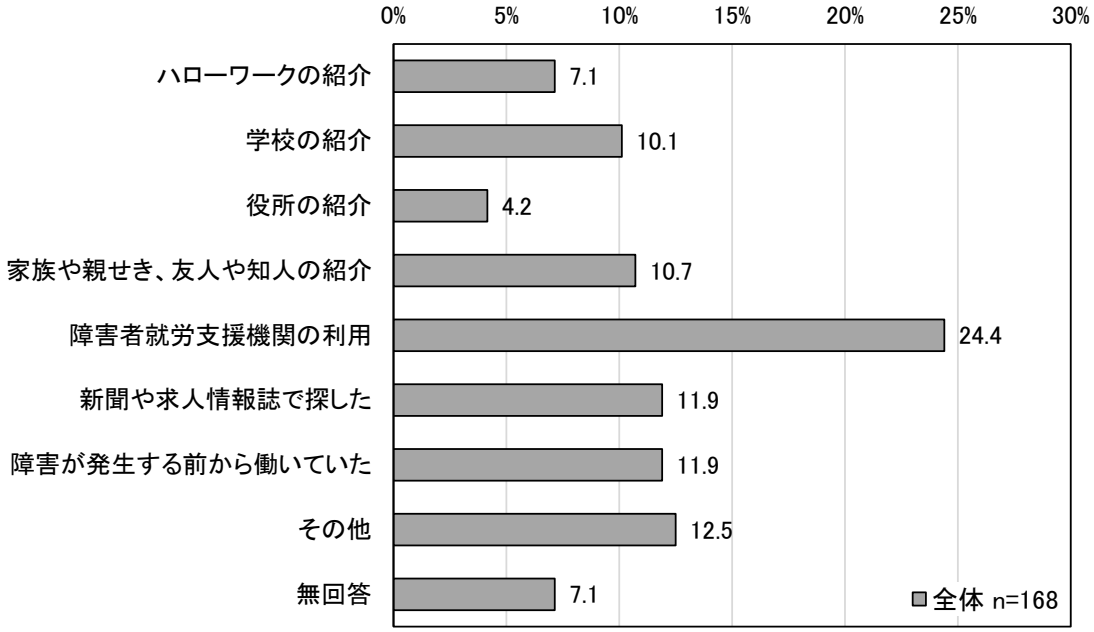
	企業などで正社員・正職員として働いている	企業などで臨時職員、アルバイト、パートとして働いている	福祉施設・作業所などで働いている	自営業者	内職・自営業の手伝い	その他	無回答
全体 n=168	24.4	30.4	31.5	6.5	0.6	6.5	0.0
身体障害者 n=69	27.5	29.0	21.7	11.6	1.4	8.7	0.0
知的障害者 n=53	13.2	26.4	54.7	0.0	0.0	5.7	0.0
精神障害者 n=56	25.0	33.9	32.1	1.8	0.0	7.1	0.0
難病患者 n=10	30.0	50.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
発達障害 n=28	25.0	28.6	42.9	0.0	0.0	3.6	0.0
高次脳機能障害 n=3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

（単位：%）

問３８で「１．している」と回答した方にお聞きします。

問３８－２　あなたは、現在の仕事をどのような方法で見つけましたか。（○は１つだけ）

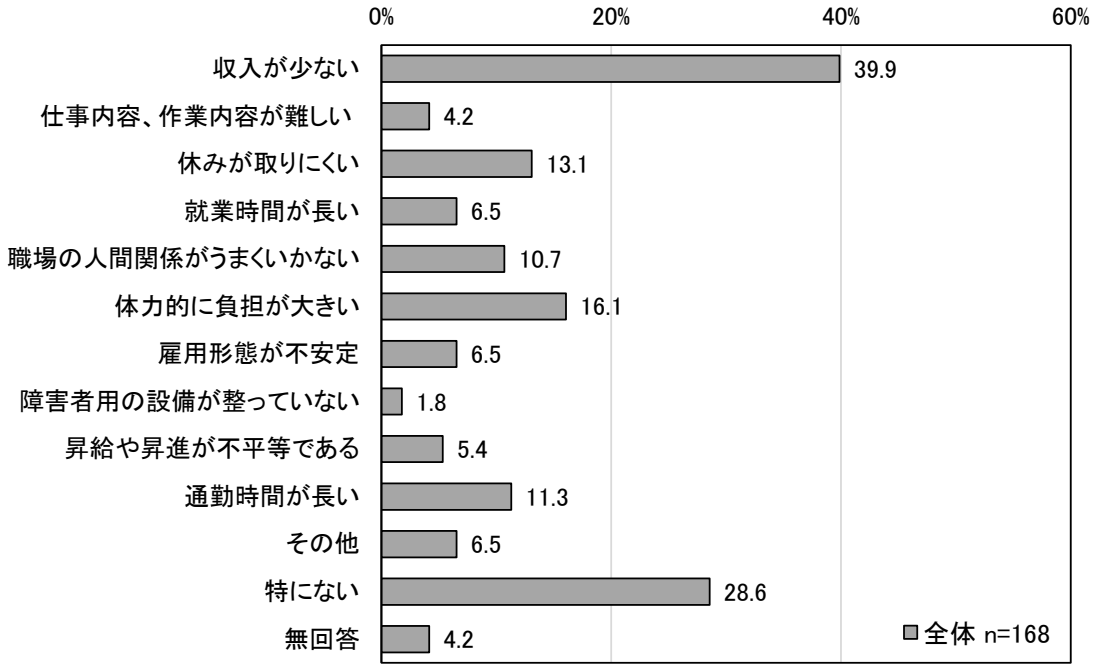
現在の仕事を見つけた方法については、「その他」を除くと、「障害者就労支援機関の利用」が 24.4%で最も多く、次いで「新聞や求人情報誌で探した」、「障害が発生する前から働いていた」がそれぞれ 11.9%となっています。



問３８で「１．している」と回答した方にお聞きします。

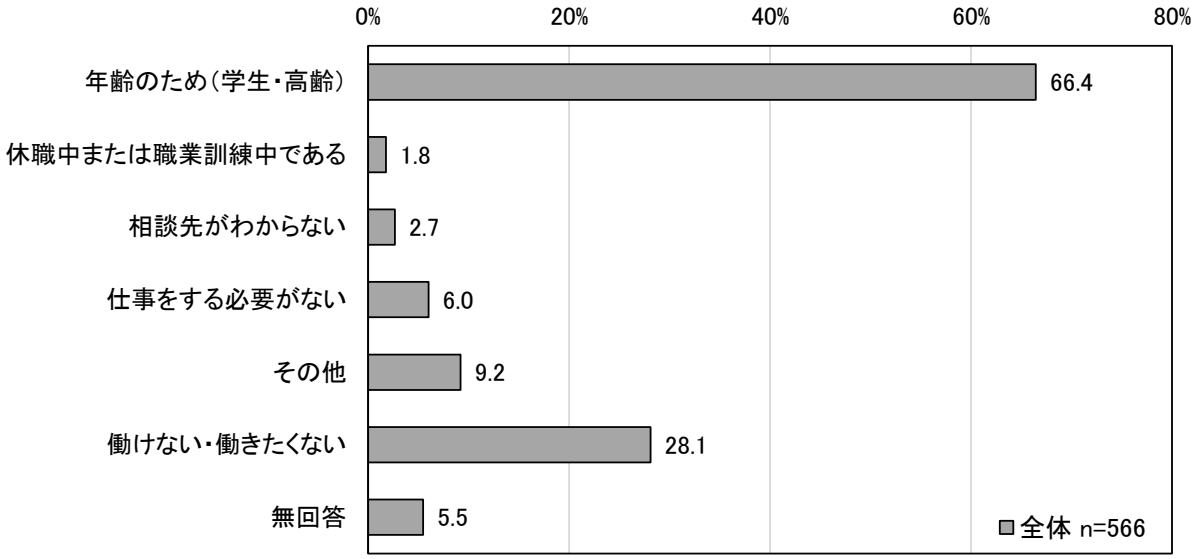
問３８－３　あなたは、現在の仕事に関してどのような不安や不満がありますか。
（あてはまるものすべてに○）

現在の仕事に関しての不安や不満については、「特にない」を除くと、「収入が少ない」が 39.9%で最も多く、次いで「体力的に負担が大きい」が 16.1%で多くなっています。



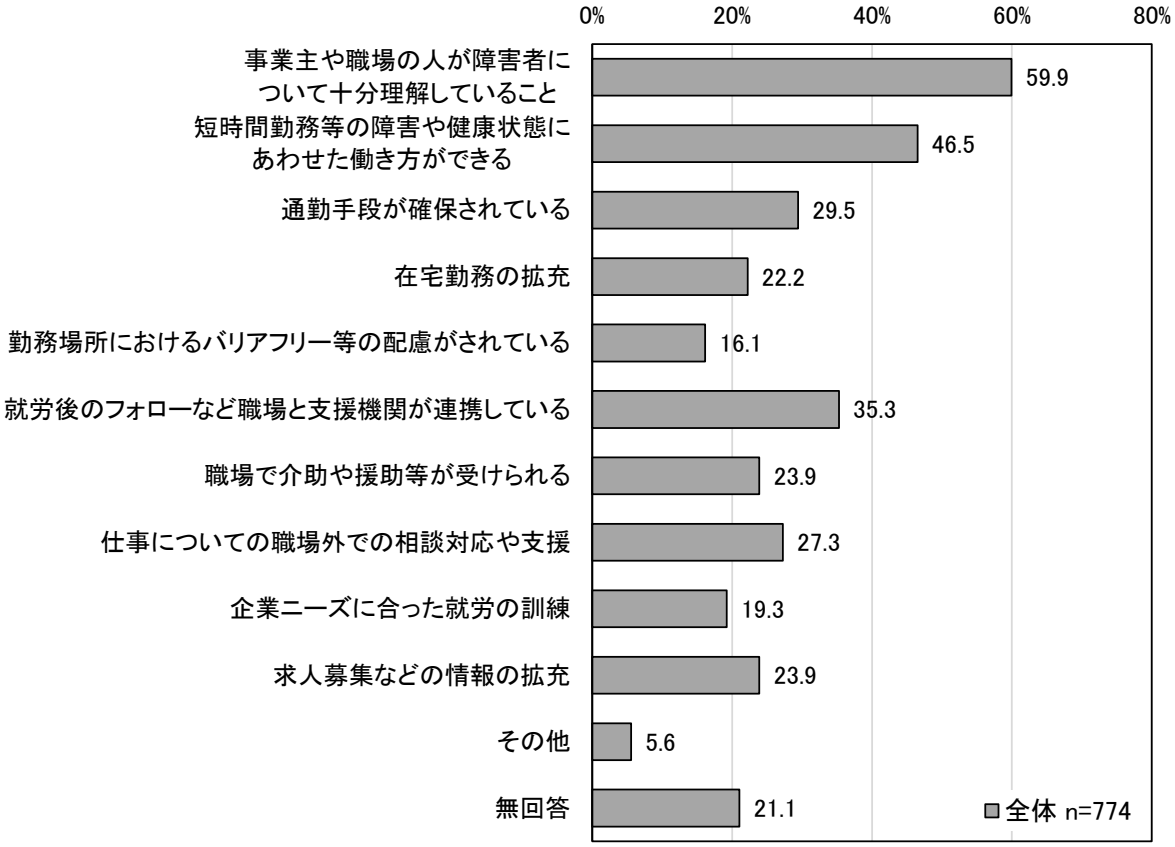
問３８で「２．していない」と回答した方にお聞きします。
問３８－４　主にどのような理由になりますか。（あてはまるものすべてに○）

就労していない理由については、「年齢のため（学生・高齢）」が 66.4％で最も多く、次いで「働けない・働きたくない」が 28.1％となっています。



問３９　あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

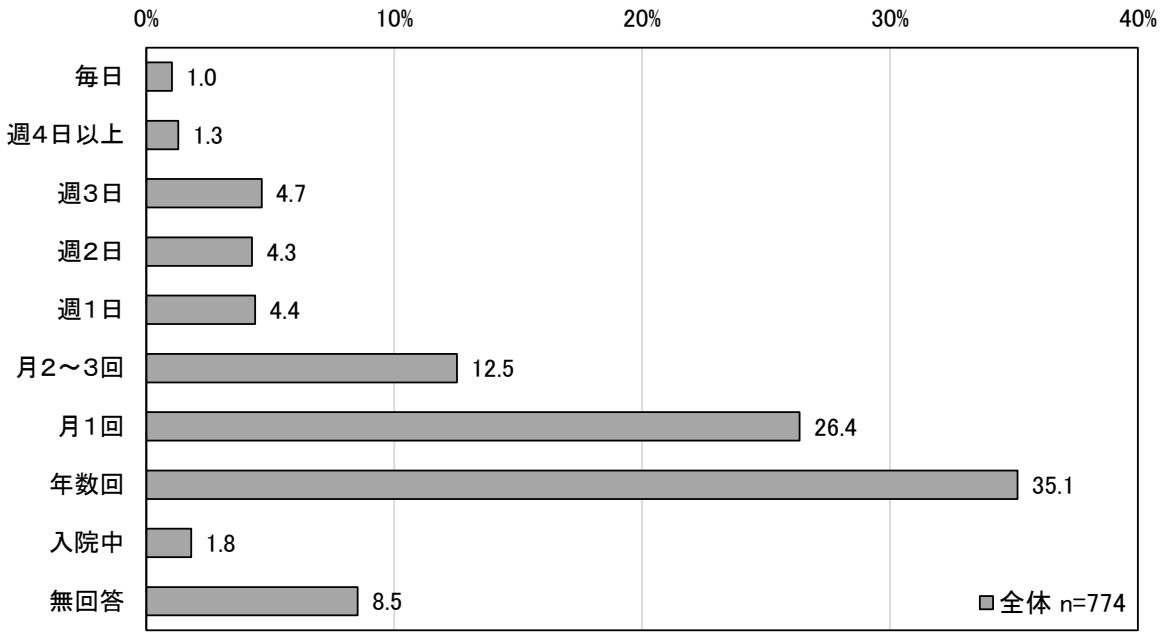
障害者の就労支援に必要なことについては、「事業主や職場の人が障害者について十分理解していること」が 59.9%で最も多く、次いで「短時間勤務等の障害や健康状態にあわせた働き方ができる」が 46.5%、「就労後のフォローなど職場と支援機関が連携している」が 35.3%で多くなっています。



7. 保健・医療

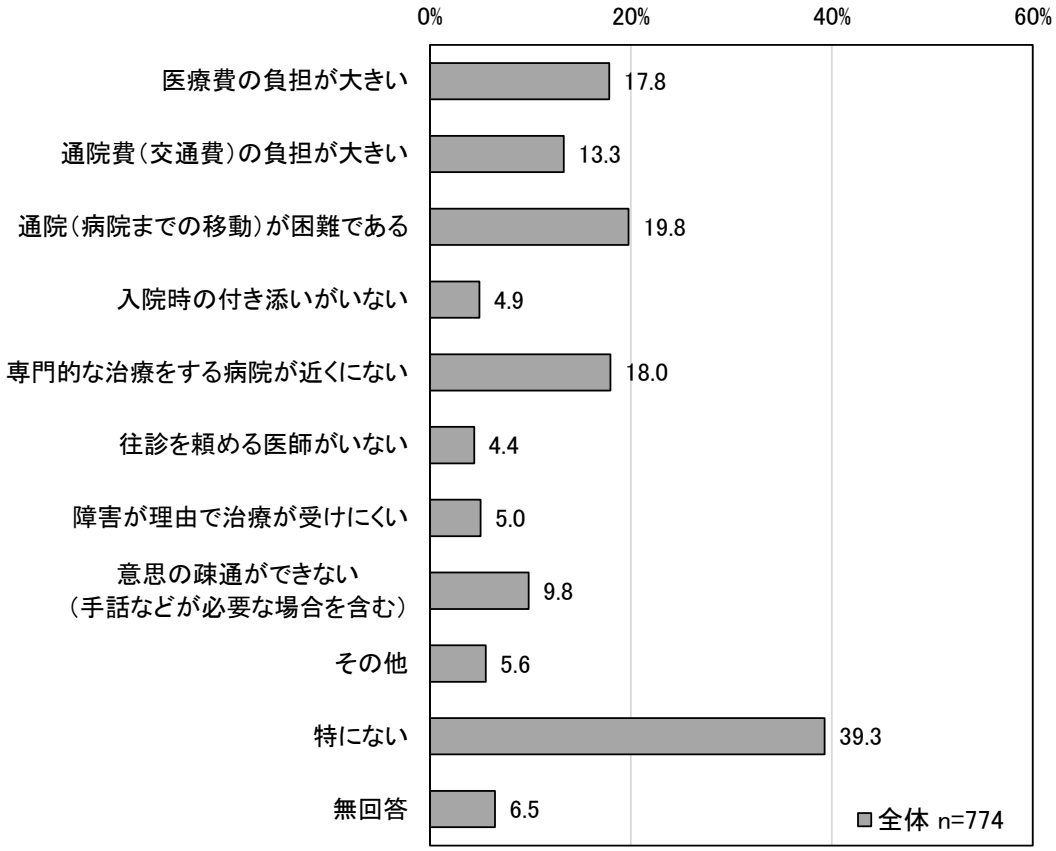
問４０　あなたの現在の通院状況（リハビリを含む）は、次のどれですか。（○は１つだけ）

通院状況については、「年数回」が 35.1％で最も多く、次いで「月１回」が 26.4％となっています。



問４１　医療を受けるうえで困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

医療における困りごとについては、「特にない」を除くと、「通院（病院までの移動）が困難である」が19.8%で最も多く、次いで「専門的な治療をする病院が近くにない」が 18.0%となっています。



■障害種別

種別ごとで全体より多くなっているものは以下の通りとなります。

【身体】…「医療費の負担が大きい」、「通院（病院までの移動）が困難である」

【知的】…「専門的な治療をする病院が近くにない」、「意思の疎通ができない（手話などが必要な場合を含む）」

【精神】…「医療費の負担が大きい」、「通院費（交通費）の負担が大きい」

【難病】…「医療費の負担が大きい」、「専門的な治療をする病院が近くにない」

【発達】…「専門的な治療をする病院が近くにない」、「意思の疎通ができない（手話などが必要な場合を含む）」

【高次】…「通院（病院までの移動）が困難である」、「意思の疎通ができない（手話などが必要な場合を含む）」

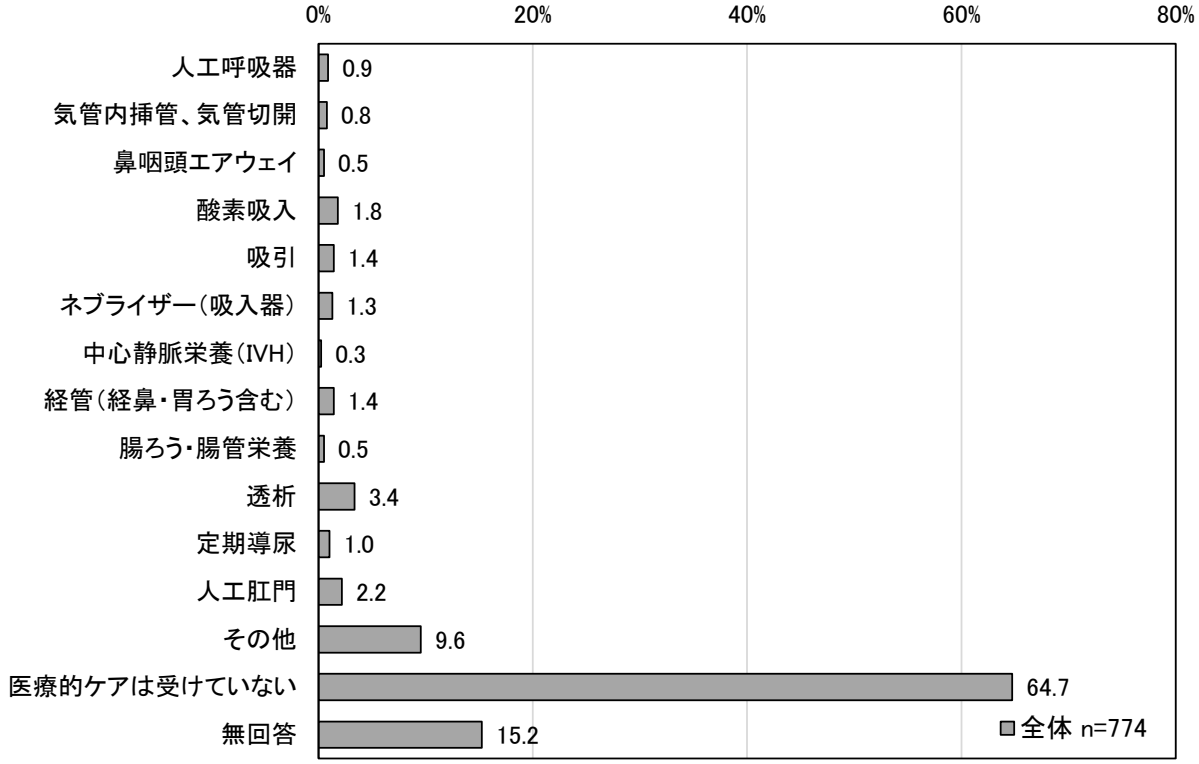
	医療費の負担が大きい	通院費（交通費）の負担が大きい	通院（病院までの移動）が困難である	入院時の付き添いがいない	専門的な治療をする病院が近くにない	往診を頼める医師がいない
全体 n=774	17.8	13.3	19.8	4.9	18.0	4.4
身体障害者 n=400	22.5	15.0	23.8	5.5	16.0	5.8
知的障害者 n=210	11.4	10.0	21.4	6.7	25.2	5.7
精神障害者 n=148	26.4	19.6	19.6	6.1	12.8	3.4
難病患者 n=50	32.0	22.0	28.0	6.0	32.0	2.0
発達障害 n=122	8.2	13.9	16.4	4.1	30.3	3.3
高次脳機能障害 n=10	10.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0

	障害が理由で治療が受けにくい	意思の疎通ができない（手話などが必要な場合を含む）	その他	特にない	無回答
全体 n=774	5.0	9.8	5.6	39.3	6.5
身体障害者 n=400	4.0	7.3	5.0	36.0	7.3
知的障害者 n=210	10.5	24.8	6.7	34.3	4.3
精神障害者 n=148	2.0	2.0	6.8	36.5	8.8
難病患者 n=50	6.0	14.0	6.0	28.0	8.0
発達障害 n=122	11.5	18.9	6.6	36.9	4.9
高次脳機能障害 n=10	20.0	30.0	10.0	30.0	10.0

（単位：%）

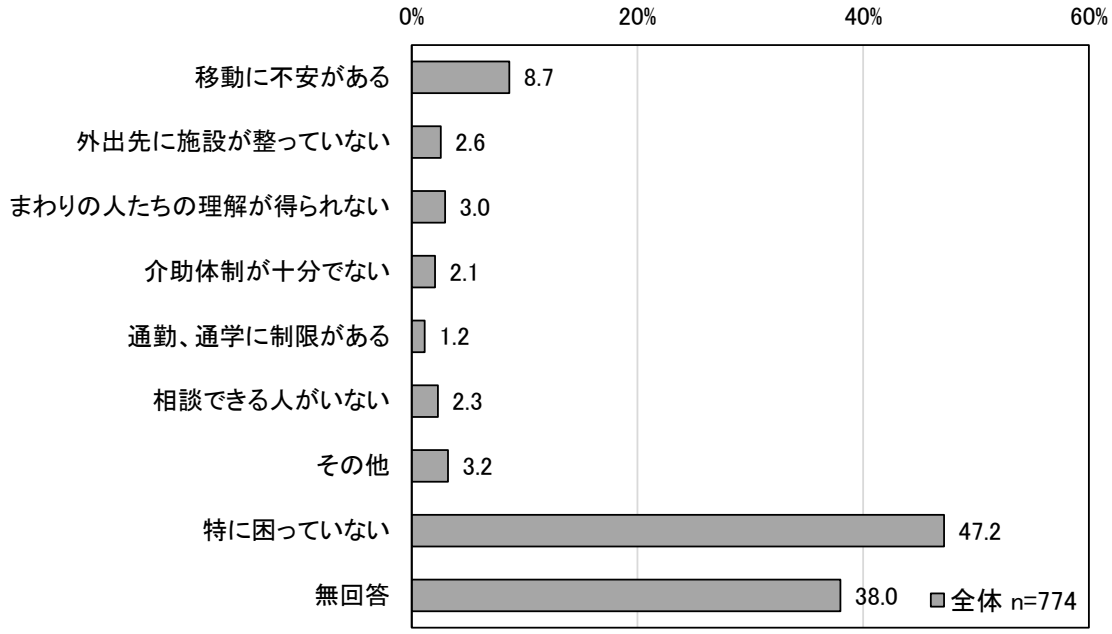
問４２　あなたはどのような「医療的ケア」を受けていますか。（あてはまるものすべてに○）

受けている医療的ケアについては、「医療的ケアは受けていない」を除くと、「その他」が 9.6%で最も多くなっています。なお、「その他」で回答があったうち、最も多かったのは「ペースメーカー」でした。



問４３　医療的ケアを受けるうえで困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

医療的ケアを受けるうえで困っていることについては、「その他」、「特に困っていない」を除くと、「移動に不安がある」が 8.7%で最も多くなっています。なお、「その他」で回答があったうち、最も多かったのは「外出時の不安（長時間待つこと等）」でした。

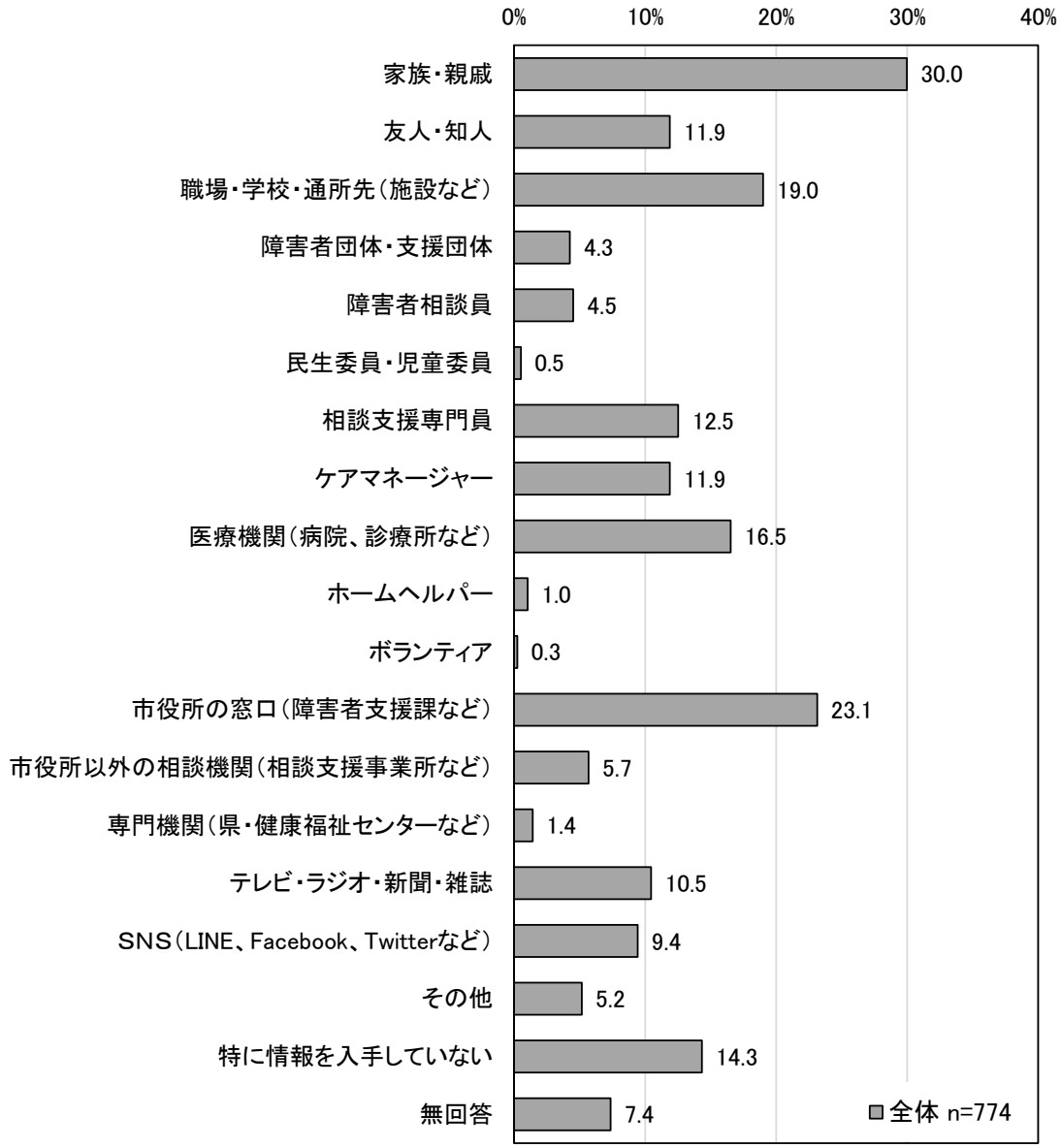


8. 情報・コミュニケーション

問４４　あなたは、福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。
（あてはまるものすべてに○）

情報の入手先については、「家族・親戚」が 30.0%で最も多く、次いで「市役所の窓口（障害者支援課など）」が 23.1%となっています。

また、「特に情報を入手していない」は 14.3%となっています。



■障害種別

全体１位の「家族・親戚」は、【知的】と【発達】では４割程度、【高次】では６割を占め、多くなっています。同様に、全体２位の「市役所の窓口（障害者支援課など）」も、すべての種別で多くなっています。

その他、種別ごとで全体より多く、特徴がみられるものは以下の通りとなります。相談相手・相談先と、共通点が一部見られます。

【身体】…「ケアマネージャー」

【知的】…「職場・学校・通所先（施設など）」、「相談支援専門員」

【精神】…「医療機関（病院、診療所など）」

【難病】…「家族・親戚」、「ケアマネージャー」、「医療機関（病院、診療所など）」

【発達】…「家族・親戚」、「職場・学校・通所先（施設など）」、「相談支援専門員」

【高次】…「家族・親戚」、「職場・学校・通所先（施設など）」、「ケアマネージャー」、「医療機関（病院、診療所など）」

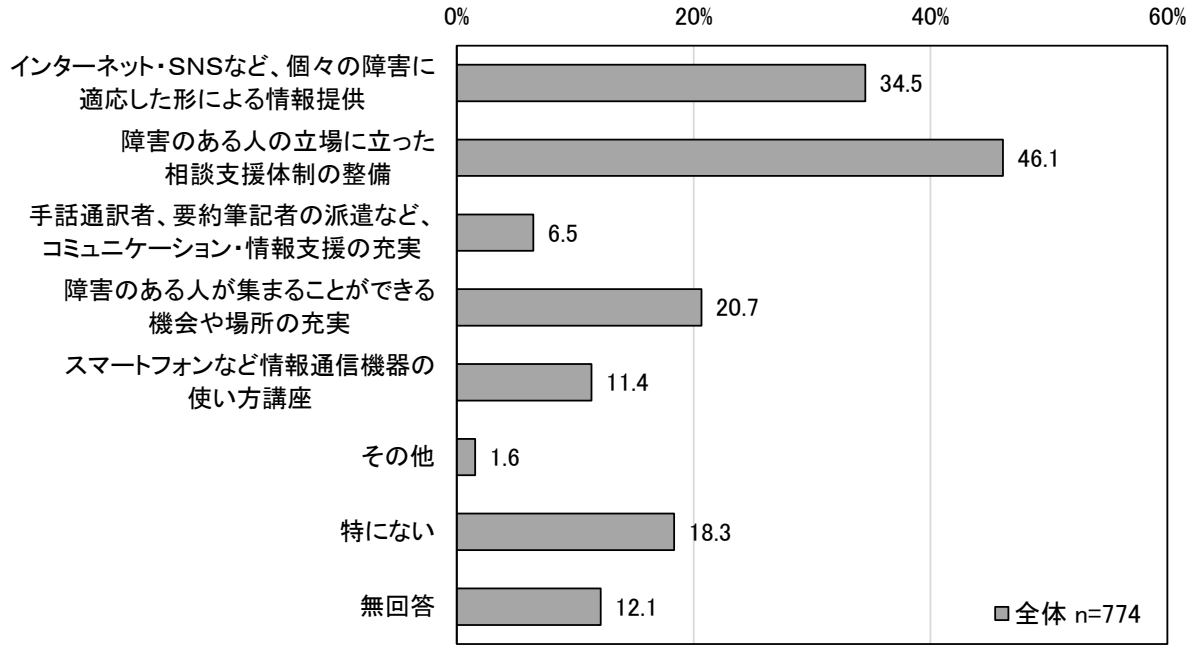
	家族・親戚	友人・知人	職場・学校・通所先（施設など）	障害者団体・支援団体	障害者相談員	民生委員・児童委員	相談支援専門員	ケアマネージャー	医療機関（病院、診療所など）	ホームヘルパー
全体 n=774	30.0	11.9	19.0	4.3	4.5	0.5	12.5	11.9	16.5	1.0
身体障害者 n=400	26.3	9.3	7.5	4.0	3.8	0.8	6.8	19.8	19.5	1.8
知的障害者 n=210	40.0	17.6	36.7	6.2	11.9	0.0	24.8	3.3	6.7	0.5
精神障害者 n=148	20.3	10.8	13.5	2.0	2.0	0.0	9.5	6.8	27.0	0.0
難病患者 n=50	46.0	18.0	22.0	4.0	8.0	0.0	18.0	24.0	28.0	4.0
発達障害 n=122	39.3	16.4	39.3	4.1	9.8	0.0	19.7	2.5	13.1	0.0
高次脳機能障害 n=10	60.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	30.0	10.0

	ボランティア	市役所の窓口（障害者支援課など）	市役所以外の相談機関（相談支援事業所など）	専門機関（県・健康福祉センターなど）	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	SNS（LINE、Facebook、Twitterなど）	その他	特に情報を入手していない	無回答
全体 n=774	0.3	23.1	5.7	1.4	10.5	9.4	5.2	14.3	7.4
身体障害者 n=400	0.5	25.5	3.0	2.0	13.8	4.5	4.3	15.3	10.3
知的障害者 n=210	0.5	22.9	11.4	1.0	4.3	12.4	2.9	11.4	4.8
精神障害者 n=148	0.7	23.0	5.4	0.7	8.8	9.5	10.1	16.9	5.4
難病患者 n=50	0.0	26.0	0.0	4.0	10.0	10.0	4.0	8.0	0.0
発達障害 n=122	0.0	22.1	7.4	0.8	4.1	18.0	6.6	10.7	4.1
高次脳機能障害 n=10	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0

（単位：%）

問４５　あなたは、障害のある人の情報収集・コミュニケーションに関し、どのようなことが必要だと思いますか。（○は３つまで）

情報収集・コミュニケーションに必要なことについては、「障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備」が 46.1%で最も多く、次いで「インターネット・ＳＮＳなど、個々の障害に適応した形による情報提供」が 34.5%となっています。



■障害種別

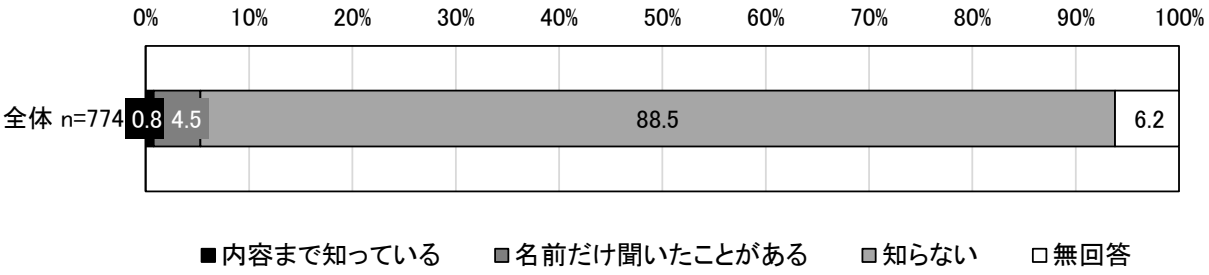
すべての種別で「障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備」が最も多くなっています。

	インターネット・SNSなど、個々の障害に適応した形による情報提供	障害のある人の立場に立った相談支援体制の整備	手話通訳者、要約筆記者の派遣など、コミュニケーション・情報支援の充実	障害のある人が集まることができる機会や場所の充実	スマートフォンなど情報通信機器の使い方講座	その他	特にない	無回答
全体 n=774	34.5	46.1	6.5	20.7	11.4	1.6	18.3	12.1
身体障害者 n=400	27.3	36.3	7.5	15.0	12.8	2.0	22.5	16.0
知的障害者 n=210	30.5	58.6	5.7	30.5	10.0	0.0	15.2	9.0
精神障害者 n=148	38.5	48.6	3.4	25.7	8.8	4.1	20.9	7.4
難病患者 n=50	38.0	54.0	8.0	24.0	16.0	4.0	18.0	6.0
発達障害 n=122	42.6	56.6	9.8	38.5	9.0	0.8	13.9	4.9
高次脳機能障害 n=10	10.0	40.0	10.0	30.0	10.0	10.0	40.0	0.0

（単位：%）

問４６　あなたは、障害者情報アクセシビリティコミュニケーション施策推進法※を知っていますか。
（○は１つだけ）

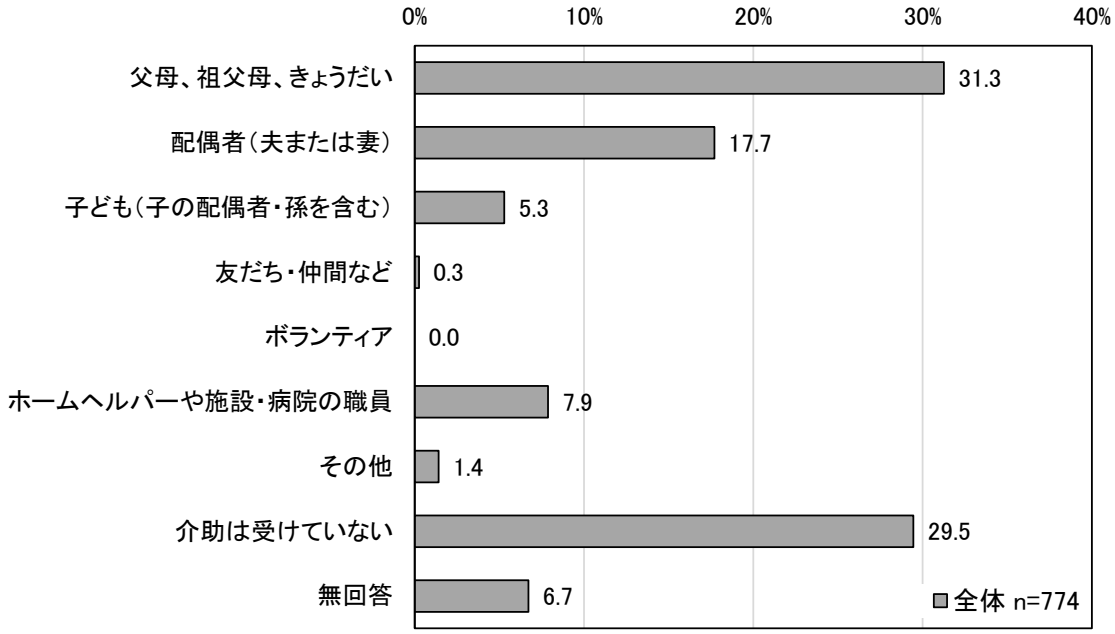
障害者情報アクセシビリティコミュニケーション施策推進法の認知度については、「知らない」が88.5%で最も多く、次いで「名前だけ聞いたことがある」が 4.5%、「内容まで知っている」が 0.8%となっています。



9. 介助者の状況

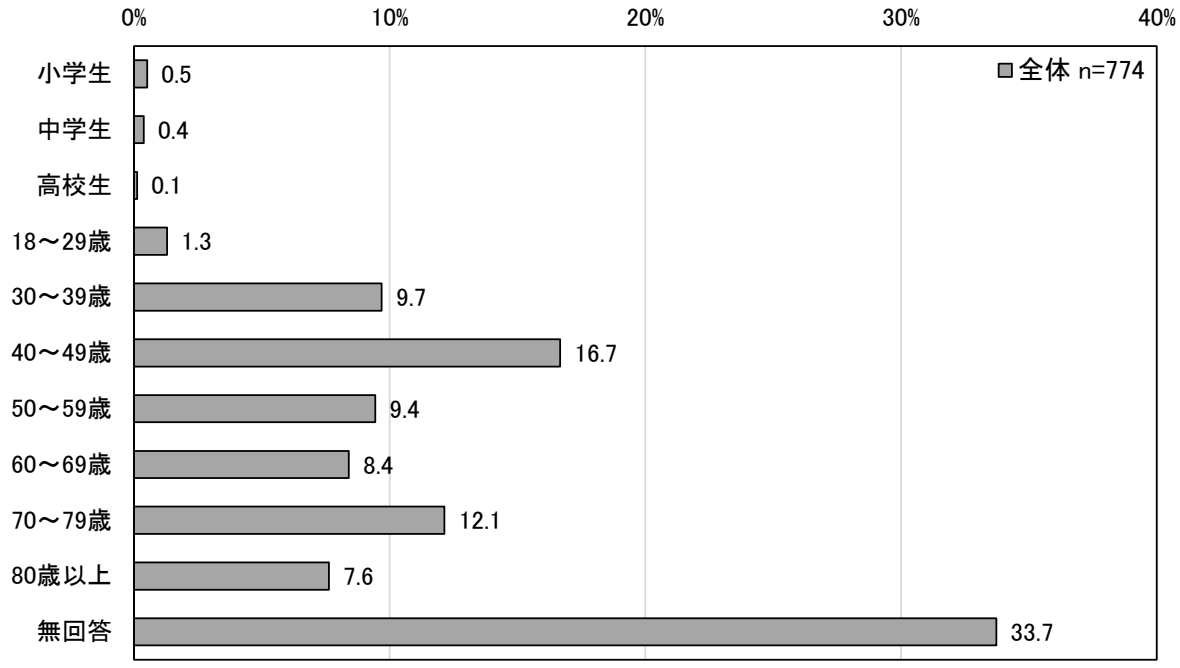
問４７　普段、あなたを介助しているのは、どなたですか。（○は１つだけ）

学校卒業後の進路の希望については、父母、祖父母、きょうだい」が 31.3%で最も多く、次いで「介助は受けていない」が 29.5%となっています。



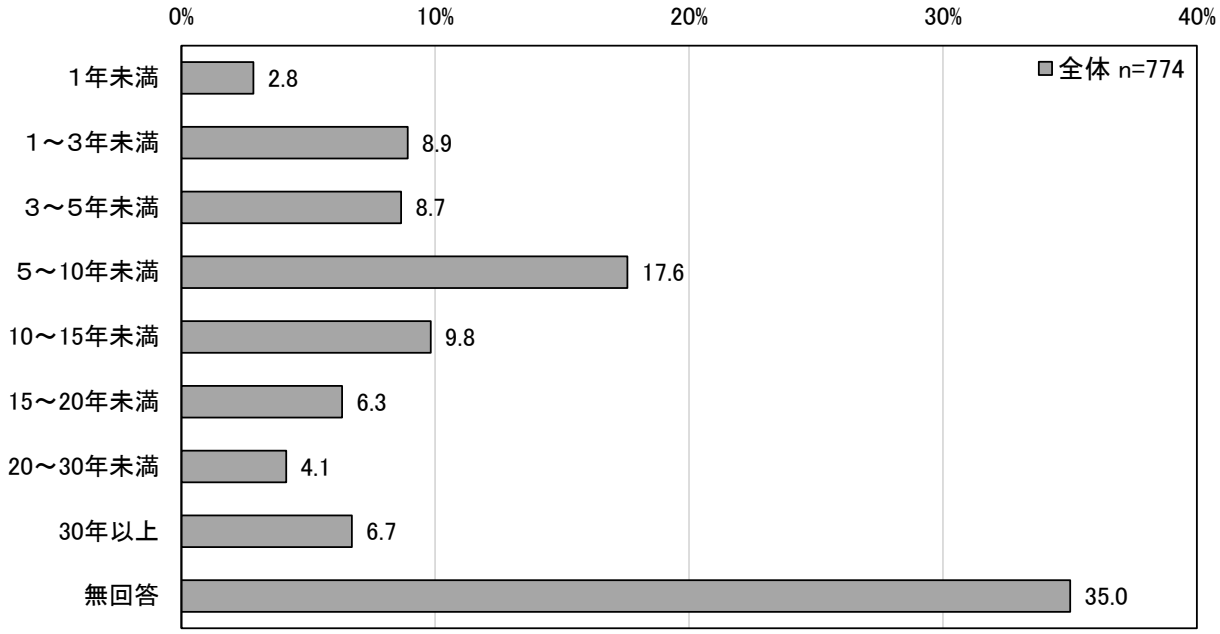
問４８　あなたの主な介助者の年齢は、何歳ですか。（令和４年１２月１日現在）（○は１つだけ）

介助者の年齢については、「無回答」を除くと、「40～49 歳」が 16.7%で最も多く、次いで「70～79 歳」が 12.1%となっています。



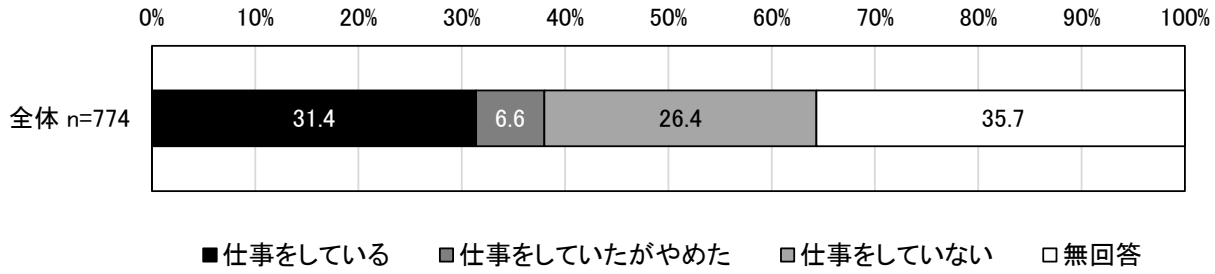
問４９　あなたの介助者は、あなたの介助を始めてどれくらいですか。（○は１つだけ）

介助している年数については、「無回答」を除くと、「５～10 年未満」が 17.6%で最も多く、次いで「10～15 年未満」が 9.8%となっています。



問５０　あなたの介助者は、現在仕事をしていますか。（○は１つだけ）

あなたの介助者の就労状況については、「無回答」を除くと、「仕事をしている」が 31.4%で最も多く、次いで「仕事をしていない」が 26.4%となっています。



■障害種別

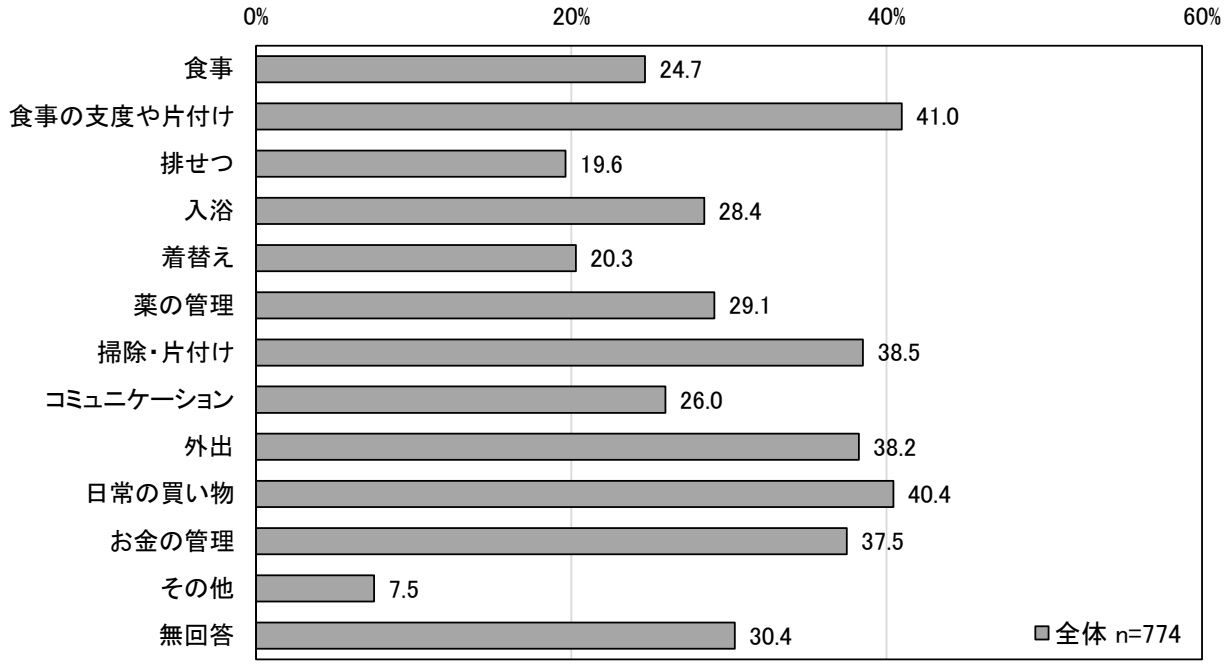
【知的】・【発達】では「仕事をしている」、【身体】と【難病】では「仕事をしていない」、【高次】では「仕事をしている」、「仕事をしていない」がそれぞれ全体より多くなっています。

	仕事をしている	仕事をしていたがやめた	仕事をしていない	無回答
全体 n=774	31.4	6.6	26.4	35.7
身体障害者 n=400	24.8	5.8	32.0	37.5
知的障害者 n=210	45.7	8.1	22.9	23.3
精神障害者 n=148	29.7	4.7	18.9	46.6
難病患者 n=50	30.0	8.0	42.0	20.0
発達障害 n=122	41.0	9.0	24.6	25.4
高次脳機能障害 n=10	40.0	10.0	40.0	10.0

（単位：%）

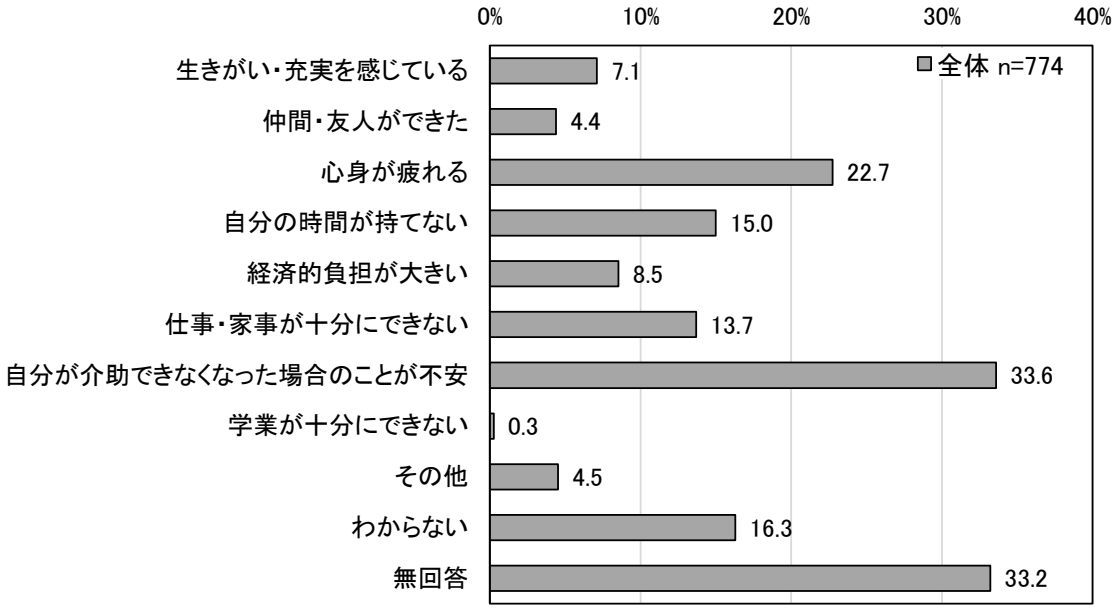
問５１　日常生活で介助を必要とすることは具体的にどのようなことですか。
（あてはまるものすべてに○）

日常生活で介助を必要とする具体的なことについては、「食事の支度や片付け」が 41.0%で最も多く、次いで「日常の買い物」が 40.4%となっています。



問５２　あなたの介助者は、介助についてどのように感じていますか。（あてはまるものすべてに○）

介助者が感じていることについては、「無回答」を除くと、「自分が介助できなくなった場合のことが不安」が 33.6%で最も多く、次いで「心身が疲れる」が 22.7%となっています。



■障害種別

【身体】・【知的】・【難病】・【発達】・【高次】では、「自分が介助できなくなった場合のことが不安」が最も多くなっていますが、【精神】では「わからない」がそれぞれ最も多くなっています。

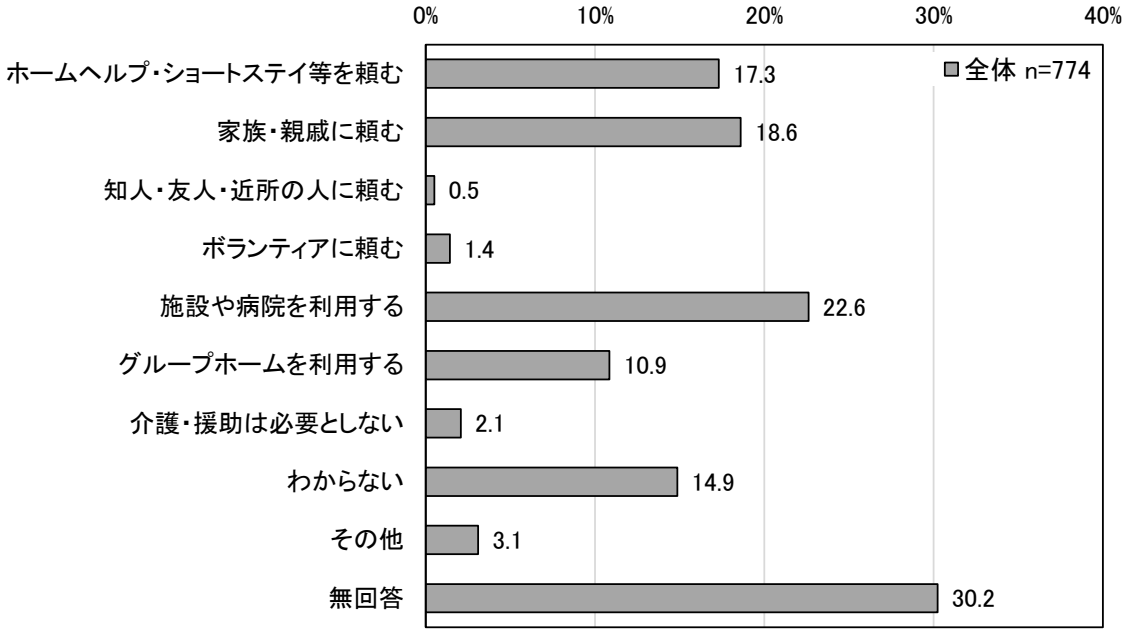
	生きがい・充実を感じている	仲間・友人ができた	心身が疲れる	自分の時間が持てない	経済的負担が大きい	仕事・家事が十分にできない
全体 n=774	7.1	4.4	22.7	15.0	8.5	13.7
身体障害者 n=400	4.5	1.0	21.8	13.5	9.0	9.3
知的障害者 n=210	11.4	13.3	33.8	23.8	11.9	25.2
精神障害者 n=148	4.1	0.0	13.5	6.1	6.1	5.4
難病患者 n=50	8.0	6.0	32.0	20.0	16.0	20.0
発達障害 n=122	10.7	9.0	36.9	26.2	13.9	24.6
高次脳機能障害 n=10	0.0	0.0	50.0	30.0	20.0	20.0

	自分が介助できなくなった場合のことが不安	学業が十分にできない	その他	わからない	無回答
全体 n=774	33.6	0.3	4.5	16.3	33.2
身体障害者 n=400	30.5	0.0	4.3	17.8	36.8
知的障害者 n=210	57.1	0.5	4.8	11.0	17.6
精神障害者 n=148	20.3	0.0	5.4	20.9	43.2
難病患者 n=50	50.0	0.0	4.0	22.0	14.0
発達障害 n=122	55.7	0.8	3.3	9.8	20.5
高次脳機能障害 n=10	70.0	0.0	0.0	20.0	10.0

（単位：%）

問５３　あなたの介助者が、あなたの介助をできなくなった場合、どのようにしたいですか。
（○は２つまで）

介助者が感じていることについては、「無回答」を除くと、「施設や病院を利用する」が 22.6%で最も多く、「家族・親戚に頼む」が 18.6%となっています。



■障害種別

【身体】・【知的】・【高次】では、「施設や病院を利用する」、【精神】では「わからない」、【難病】では「ホームヘルプ・ショートステイ等を頼む」、【発達】では「家族・親戚に頼む」が全体より多くなっています。

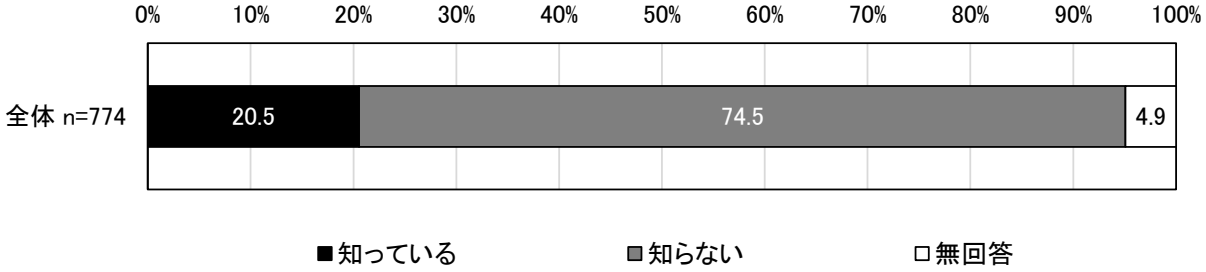
	ホームヘルプ・ショートステイ等を頼む	家族・親戚に頼む	知人・友人・近所の人に頼む	ボランティアに頼む	施設や病院を利用する	グループホームを利用する	介護・援助は必要としない	わからない	その他	無回答
全体 n=774	17.3	18.6	0.5	1.4	22.6	10.9	2.1	14.9	3.1	30.2
身体障害者 n=400	20.8	14.0	0.3	2.0	30.8	5.3	3.0	11.3	3.0	31.3
知的障害者 n=210	21.0	25.7	0.5	0.5	24.8	31.0	0.0	13.8	2.9	14.8
精神障害者 n=148	8.8	8.8	1.4	0.0	12.2	4.7	1.4	23.0	6.1	42.6
難病患者 n=50	32.0	26.0	2.0	2.0	28.0	6.0	2.0	20.0	4.0	12.0
発達障害 n=122	18.0	27.0	1.6	1.6	14.8	20.5	0.0	22.1	3.3	20.5
高次脳機能障害 n=10	10.0	10.0	0.0	10.0	60.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0

（単位：%）

10. 権利擁護について

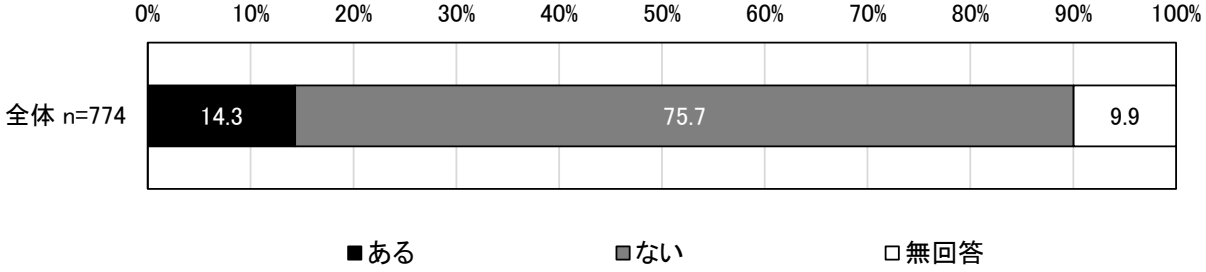
問５４　あなたは、障害者差別解消法を知っていますか。（○は１つだけ）

障害者差別解消法の認知度については、「知らない」が 74.5%、「知っている」が 20.5%となっています。



問５５　この法律では、障害を理由として、正当な理由なくサービスを拒否したり、制限したり、条件を付けたりするような「不当な差別的取扱い」を禁止していますが、これまでに差別を受けたり、見たり聞いたりしたことはありますか。（○は１つだけ）

障害を理由とした差別等の経験の有無については、「ない」が 75.7%、「ある」が 14.3%となっています。



■障害種別

すべての種別で「ない」の方が多くなっていますが、【知的】・【精神】・【難病】・【発達】では「ある」が全体より多くなっています。

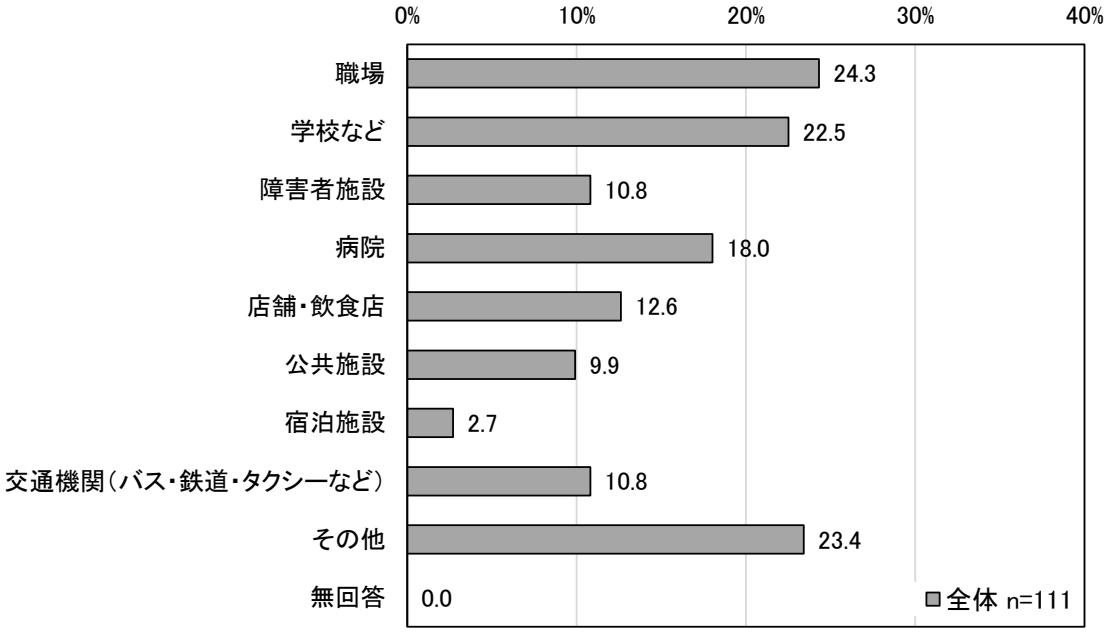
	ある	ない	無回答
全体 n=774	14.3	75.7	9.9
身体障害者 n=400	10.0	77.8	12.3
知的障害者 n=210	18.1	74.8	7.1
精神障害者 n=148	23.6	67.6	8.8
難病患者 n=50	20.0	74.0	6.0
発達障害 n=122	22.1	74.6	3.3
高次脳機能障害 n=10	10.0	90.0	0.0

（単位：%）

問５５で「１．ある」と回答した方にお聞きします。
問５５－１　どこで、誰から、どのようなことでしたか。（あてはまるものすべてに○）

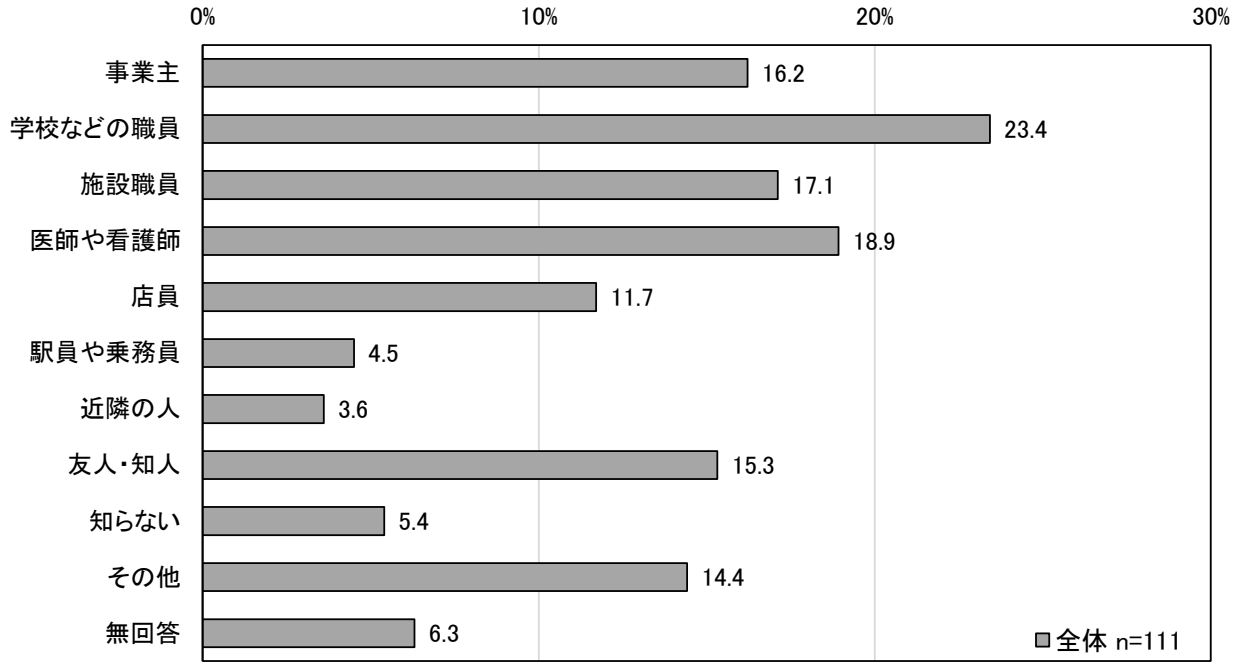
①どこで

障害を理由とした差別等を見たり聞いたりした場所については、「その他」を除くと、「職場」が24.3%で最も多く、次いで「学校など」が22.5%となっています。



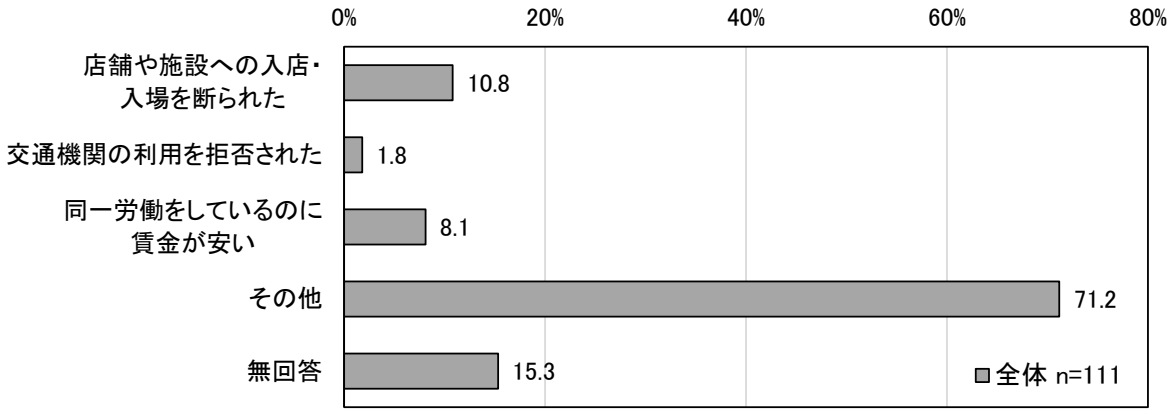
②誰から

障害を理由とした差別等を見たり聞いたりした人物については、「学校などの職員」が 23.4%で最も多く、次いで「医師や看護師」が18.9%となっています。



③どのようなこと

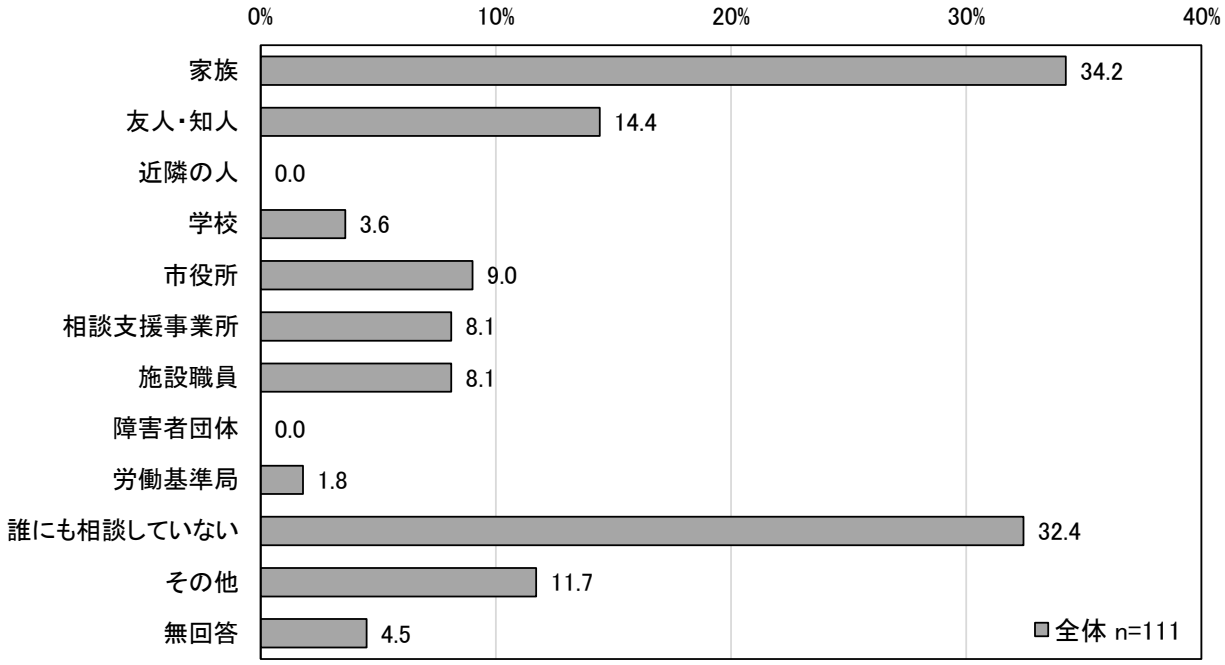
障害を理由とした差別等を見たり聞いたりした内容については「その他」を除くと、「店舗や施設への入店・入場を断られた」が 10.8%で最も多く、「同一労働をしているのに賃金が安い」が 8.1%となっています。



問５５で「１．ある」と回答した方にお聞きします。

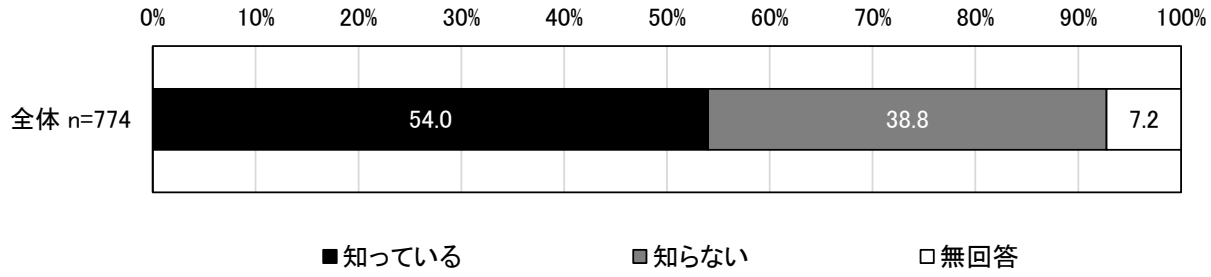
問５５－２　誰にまたはどんなところに相談しましたか。（○は２つまで）

障害を理由とした差別等の相談については、「誰にも相談していない」を除くと、「家族」が 34.2%で最も多く、次いで「友人・知人」が 14.4%となっています。



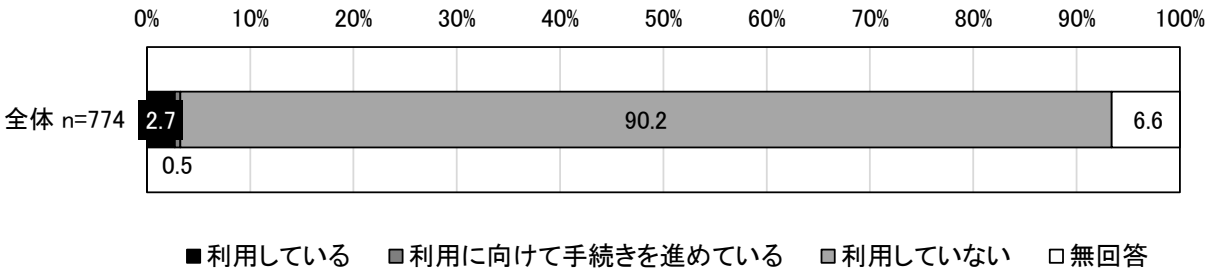
問５６　あなたは、成年後見制度を知っていますか。（○は１つだけ）

成年後見制度の認知度については、「知っている」が 54.0%、「知らない」が 38.8%となっています。



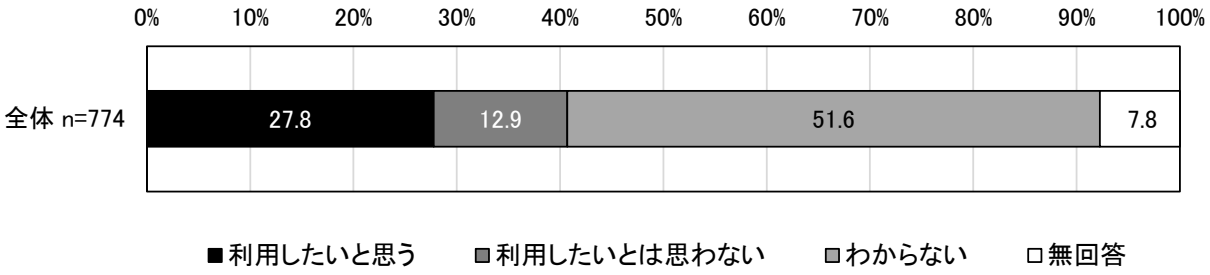
問５７　あなたは、成年後見制度を利用していますか。（○は１つだけ）

成年後見制度の利用有無については、「利用していない」が 90.2%で最も多く、次いで「利用している」が 2.7%、「利用に向けて手続きを進めている」が 0.5%となっています。



問５８　あなたは、将来的にご自身の判断能力が不十分となった場合に、成年後見制度を利用したいと思いますか。（○は１つだけ）

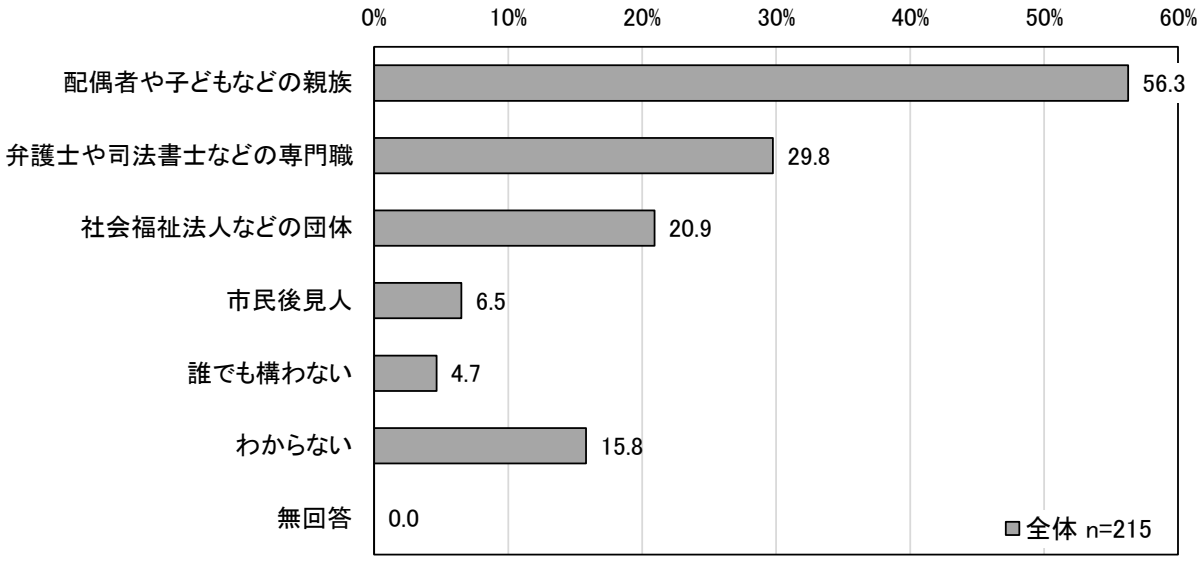
成年後見制度の利用希望については、「わからない」が 51.6%で最も多く、次いで「利用したいと思う」が 27.8%、「利用したいとは思わない」が 12.9%となっています。



問５８で「１．利用したいと思う」と回答した方にお聞きします。

問５８－１　あなたは、ご自身の判断能力が不十分となり、自分の身の回りの契約行為や財産管理ができなくなった場合に、誰に後見人となって支援してほしいですか。（あてはまるものすべてに○）

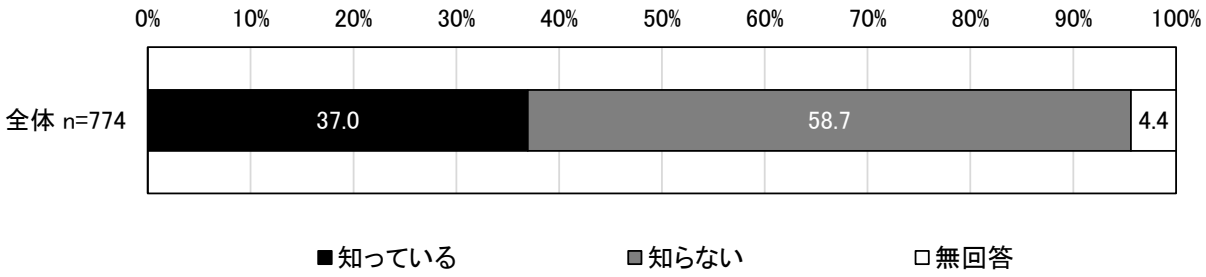
後見人となって支援してほしい人については、「配偶者や子どもなどの親族」が 56.3%で最も多く、次いで「弁護士や司法書士などの専門職」が 29.8%となっています。



11. 障害者虐待防止法について

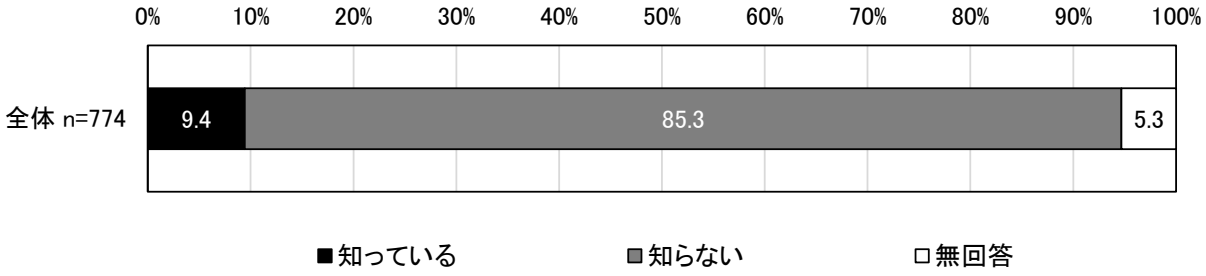
問５９　あなたは、障害者虐待防止法を知っていますか。（○は１つだけ）

、障害者虐待防止法の認知度については、「知らない」が 58.7%、「知っている」が 37.0%となっています。



問６０　あなたは、障害者虐待防止センターがあることを知っていますか。（○は１つだけ）

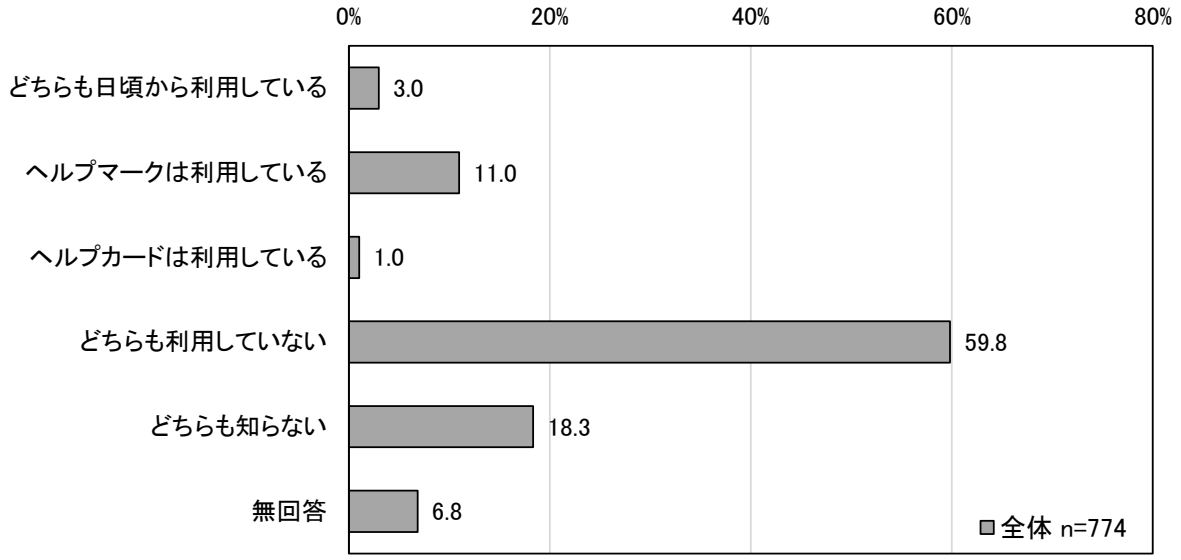
障害者虐待防止センターについては、「知らない」が 85.3%、「知っている」が 9.4%となっています。



12. ヘルプマークについて

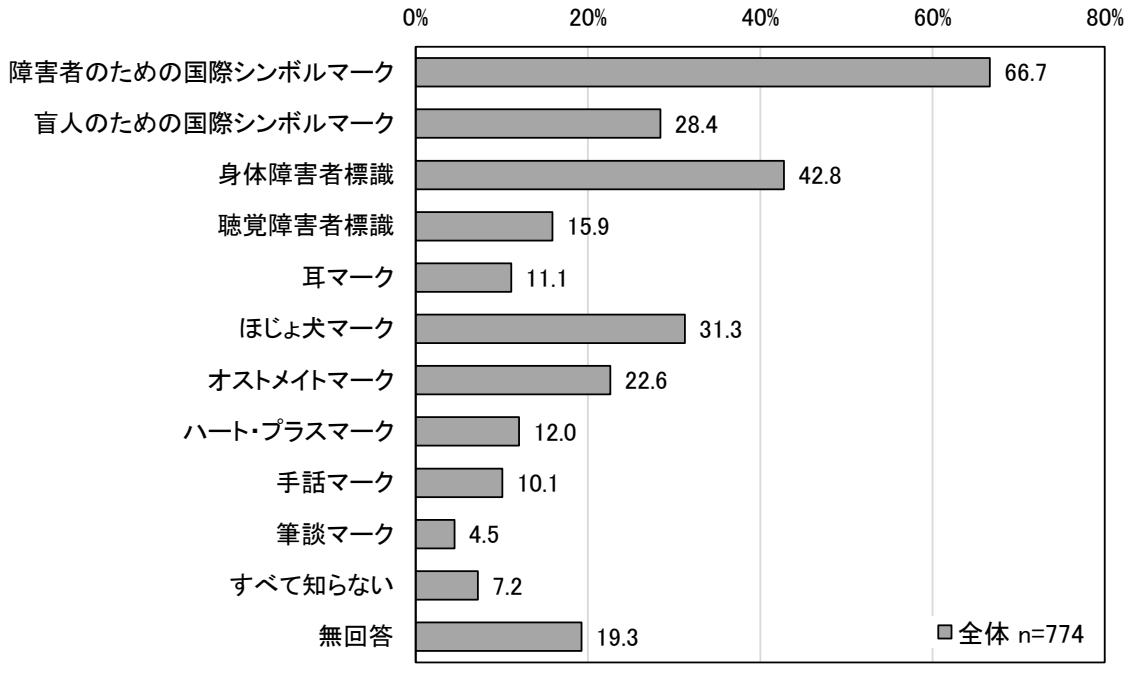
問６１　あなたは、ヘルプマークまたはヘルプカードを利用していますか。（○は１つだけ）

ヘルプマークまたはヘルプカードの利用状況については、「どちらも利用していない」が 59.8%で最も多く、次いで「どちらも知らない」が 18.3%となっています。



問６２　あなたが、ヘルプマーク以外で、次のシンボルマークで知っているものをお答えください。（あてはまるものすべてに○）

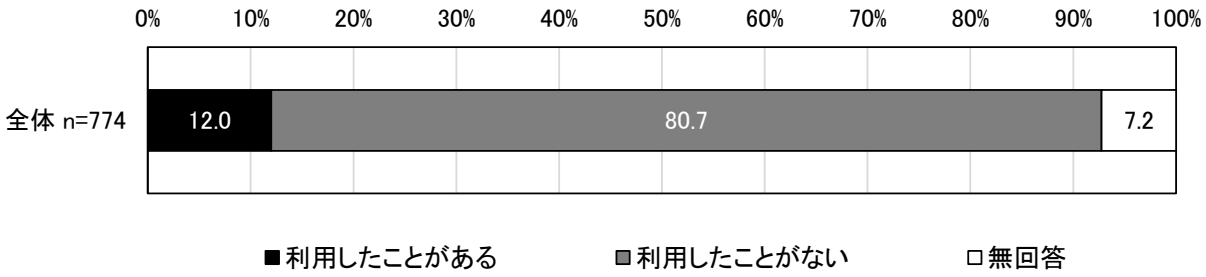
ヘルプマーク以外で知っているシンボルマークについては、「障害者のための国際シンボルマーク」が 66.7%で最も多く、次いで「身体障害者標識」が 42.8%となっています。



13. 障害者福祉センターについて

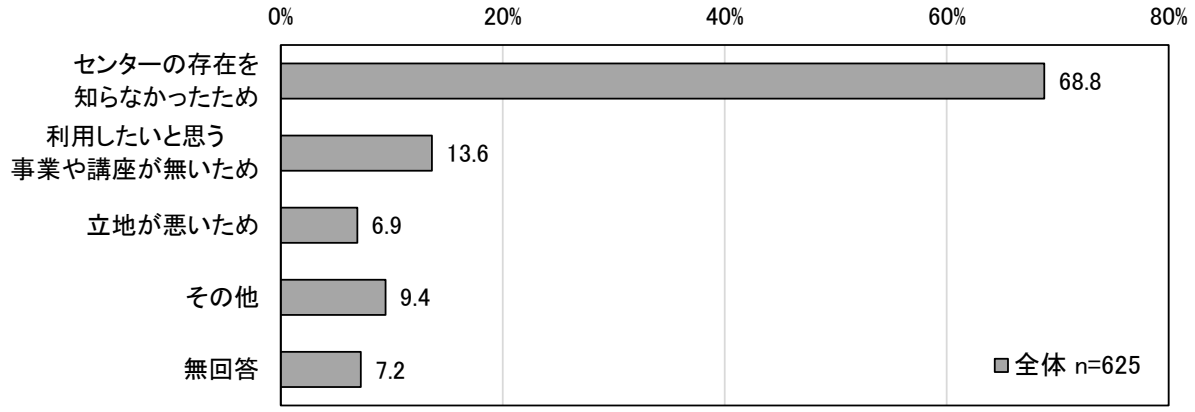
問６３　あなたは、障害者福祉センターを利用したことがありますか。（○は１つだけ）

障害者福祉センターを利用の有無については、「利用したことがない」が 80.7%で最も多く、次いで「利用したことがある」が 12.0%となっています。



問６３で「２．利用したことがない」と回答した方にお聞きします。
問６３－１　利用したことがないのは、なぜですか。（あてはまるものすべてに○）

障害者福祉センターを利用したことがない理由については、「センターの存在を知らなかったため」が 68.8%で最も多く、次いで「利用したいと思う事業や講座が無いため」が 13.6%となっています。



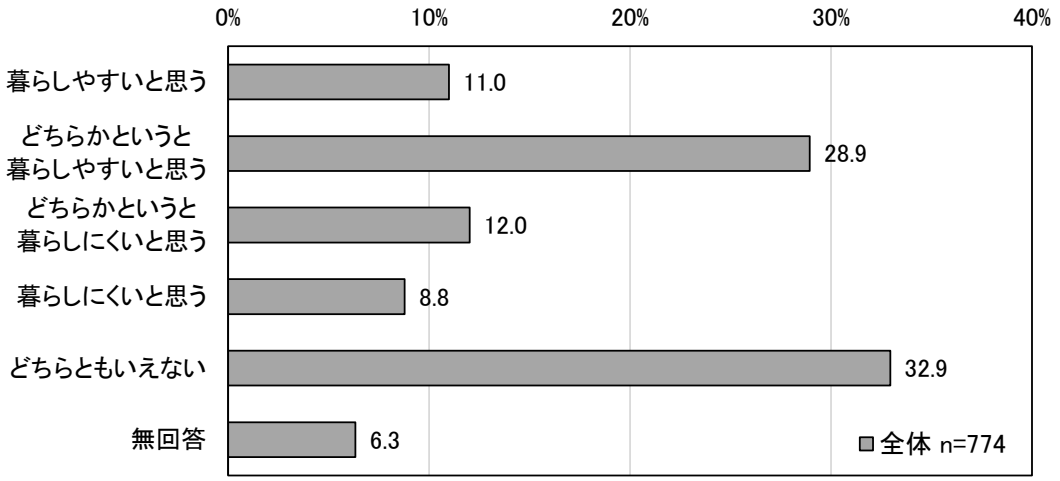
問６３－１で「２．利用したいと思う事業や講座が無いため」と回答した方にお聞きします。
問６３－２　あればいいと思う事業や講座等について、自由にご記入ください。

・うつ病のセルフケア、将来の生活についての講座。
・自身のその時の状況によって作業を変えるなど臨機応変に対応し、作業者（障害者）が社会復帰できるようサポートしてくれるような事業。作業を押し付けたりしない、その場にいるだけでもよい事業（静岡県三島市参照）。千葉には圧倒的に自由に動ける事業が少なすぎる。
・障害児の為の音楽会とか、絵画教室、お料理教室等、体操等、周りを気にしないで参加する教室を開いてほしい。今まで一度も見た事がないと思います。子供用の講座を開いてください。お願いします。親子で出かけるきっかけを作ってください。
・障害児を持つ保護者の会など。
・卓球が気軽に出来る講座。
・パソコン講座、麻雀講座。
・ヨガ教室。
・知的障害者のための支援事業等。
・そもそも現在の講座等がニーズに合わないし、意識・認識の乖離が大きすぎるので、具体的な内容が思いつきません。
・自立行動ができるので趣味的に興味を引くものがあれば良いと思うが、遠方まで出向くのはちょっと…。

14. 今後の施策の重要度

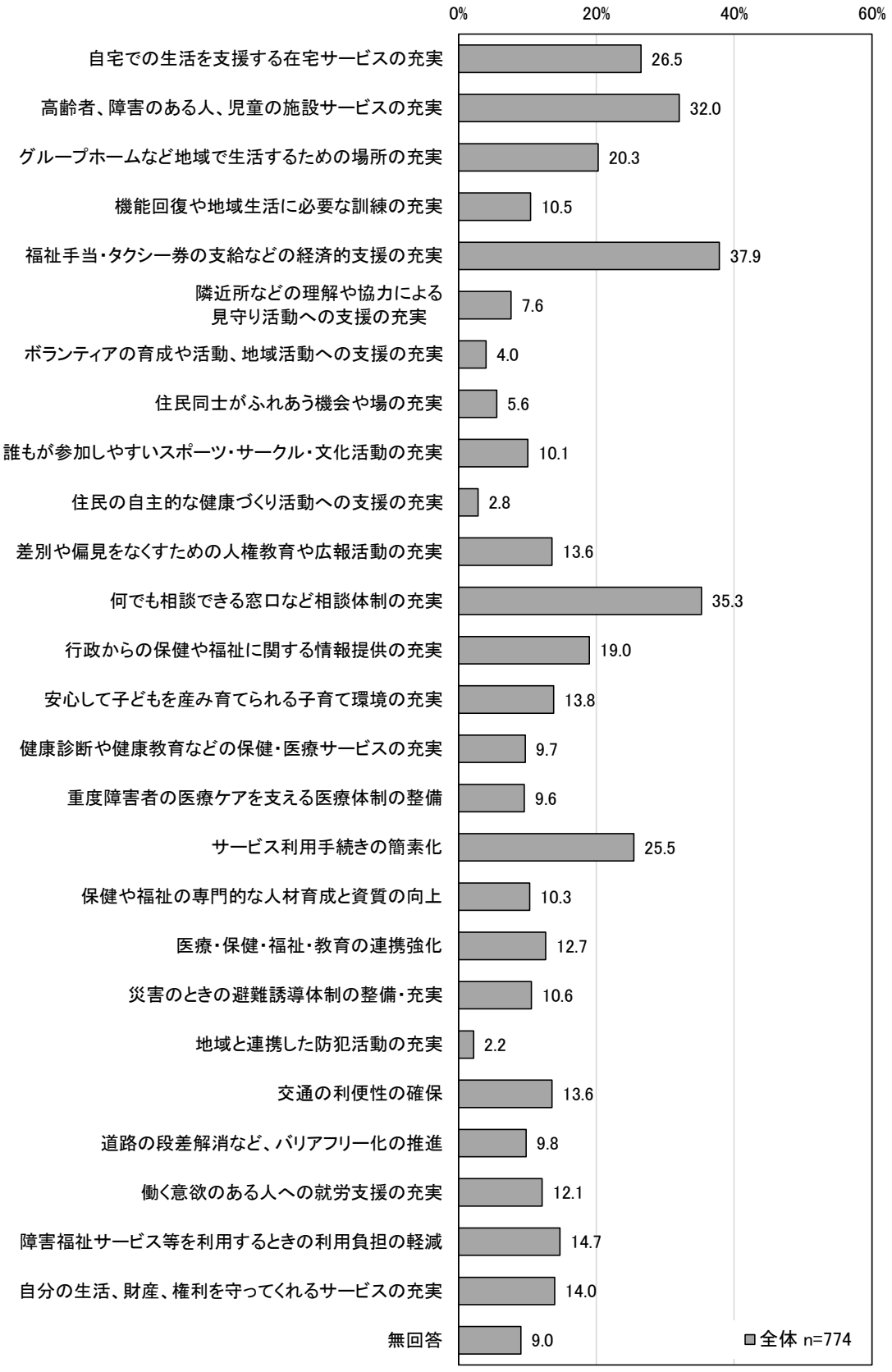
問６４　あなたは、流山市は障害のある人にとって暮らしやすいまちだと思いますか。（○は１つだけ）

流山市は障害のある人にとって暮らしやすいまちだと思いますかについては、「どちらともいえない」を除くと、『暮らしやすい』（暮らしやすいと思う+どちらかというと暮らしやすいと思う）が 39.9%、『暮らしにくい』（どちらかというと暮らしにくいと思う+暮らしにくいと思う）が 20.8%となっています。



問６５　流山市の福祉施策について、あなたが重要と思う施策はどれですか。（○は５つまで）

重要だと思う施策については、「高齢者、障害のある人、児童の施設サービスの充実」が 32.0%、「福祉手当・タクシー券の支給などの経済的支援の充実」が 37.9%、「何でも相談できる窓口など相談体制の充実」が 35.3%と３割を超えて多く、次いで「自宅での生活を支援する在宅サービスの充実」が 26.5%、「サービス利用手続きの簡素化」が 25.5%と２割台で多くなっています。



■障害種別

全体１位の「福祉手当・タクシー券の支給などの経済的支援の充実」は、【高次】では７割を超えて多くなっています。全体２位の「何でも相談できる窓口など相談体制の充実」は、【精神】と【発達】で多くなっています。

その他、種別ごとで全体より多くなっているものは以下の通りとなります。年齢や障害特性により、違いが出ています。

【身体】…

「自宅での生活を支援する在宅サービスの充実」

「道路の段差解消など、バリアフリー化の推進」

【知的】…

「高齢者、障害のある人、児童の施設サービスの充実」

「グループホームなど地域で生活するための場所の充実」

【精神】…

「何でも相談できる窓口など相談体制の充実」

「サービス利用手続きの簡素化」

「自分の生活、財産、権利を守ってくれるサービスの充実」

【難病】…

「自宅での生活を支援する在宅サービスの充実」

「重度障害者の医療ケアを支える医療体制の整備」

「サービス利用手続きの簡素化」

【発達】…

「高齢者、障害のある人、児童の施設サービスの充実」

「グループホームなど地域で生活するための場所の充実」

「差別や偏見をなくすための人権教育や広報活動の充実」

「何でも相談できる窓口など相談体制の充実」

「安心して子どもを産み育てられる子育て環境の充実」

「サービス利用手続きの簡素化」

「保健や福祉の専門的な人材育成と資質の向上」

【高次】…

「自宅での生活を支援する在宅サービスの充実」

「住民同士がふれあう機会や場の充実」

「重度障害者の医療ケアを支える医療体制の整備」

「障害福祉サービス等を利用するときの利用負担の軽減」

	自宅での生活を支援する在宅サービスの充実	高齢者、障害のある人、児童の施設サービスの充実	グループホームなど地域で生活するための場所の充実	機能回復や地域生活に必要な訓練の充実	福祉手当・タクシー券の支給などの経済的支援の充実	隣近所などの理解や協力による見守り活動への支援の充実	ボランティアの育成や活動、地域活動への支援の充実	住民同士がふれあう機会や場の充実	誰もが参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実
全体 n=774	26.5	32.0	20.3	10.5	37.9	7.6	4.0	5.6	10.1
身体障害者 n=400	37.0	26.5	13.8	12.8	46.8	6.0	3.3	5.8	7.8
知的障害者 n=210	20.5	46.2	49.5	8.1	25.2	11.4	5.7	3.8	9.5
精神障害者 n=148	18.9	16.9	13.5	7.4	43.2	8.8	2.7	6.8	14.2
難病患者 n=50	30.0	22.0	20.0	18.0	56.0	6.0	2.0	6.0	6.0
発達障害 n=122	18.9	44.3	32.0	10.7	25.4	13.9	5.7	7.4	15.6
高次脳機能障害 n=10	70.0	30.0	10.0	20.0	70.0	0.0	0.0	20.0	0.0

	住民の自主的な健康づくり活動への支援の充実	差別や偏見をなくすための人権教育や広報活動の充実	何でも相談できる窓口など相談体制の充実	行政からの保健や福祉に関する情報提供の充実	安心して子どもを産み育てられる子育て環境の充実	健康診断や健康教育などの保健・医療サービスの充実	重度障害者の医療ケアを支える医療体制の整備	サービス利用手続きの簡素化	保健や福祉の専門的な人材育成と資質の向上
全体 n=774	2.8	13.6	35.3	19.0	13.8	9.7	9.6	25.5	10.3
身体障害者 n=400	4.0	9.5	28.5	18.8	5.5	12.3	12.0	21.0	5.5
知的障害者 n=210	0.5	16.2	33.8	19.0	11.4	5.2	12.9	29.5	14.8
精神障害者 n=148	3.4	17.6	40.5	23.6	13.5	9.5	6.1	25.7	4.7
難病患者 n=50	4.0	6.0	22.0	22.0	10.0	14.0	20.0	34.0	14.0
発達障害 n=122	0.8	21.3	46.7	23.8	22.1	5.7	9.8	32.0	22.1
高次脳機能障害 n=10	0.0	10.0	20.0	30.0	0.0	10.0	30.0	30.0	0.0

	医療・保健・福祉・教育の連携強化	災害のときの避難誘導体制の整備・充実	地域と連携した防犯活動の充実	交通の利便性の確保	道路の段差解消など、バリアフリー化の推進	働く意欲のある人への就労支援の充実	障害福祉サービス等を利用するときの利用負担の軽減	自分の生活、財産、権利を守ってくれるサービスの充実	無回答
全体 n=774	12.7	10.6	2.2	13.6	9.8	12.1	14.7	14.0	9.0
身体障害者 n=400	9.5	12.3	2.0	18.8	15.0	8.3	14.5	10.8	11.3
知的障害者 n=210	11.4	12.9	1.9	5.2	3.3	15.2	17.1	19.0	7.1
精神障害者 n=148	11.5	9.5	3.4	14.2	6.1	16.2	16.2	23.0	8.8
難病患者 n=50	12.0	8.0	2.0	18.0	16.0	8.0	24.0	6.0	4.0
発達障害 n=122	19.7	6.6	0.8	7.4	1.6	18.0	12.3	18.0	3.3
高次脳機能障害 n=10	10.0	10.0	0.0	20.0	10.0	0.0	40.0	20.0	0.0

問６６　障害者（児）施策全般について、ご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

自由意見については、人の方から延べ件の回答が得られました。分類結果及び主な意見は以下の通りです。

内容		件数
サービス		**56**
	親亡き後や高齢化に対するサービスや支援の整備・充実	6
	障害者施設(通所施設・入所施設)の充実	18
	サービスの充実	6
	家族への支援の充実	11
	移動支援の充実	6
	スポーツや余暇活動の場の充実	1
	子育てに対する支援の充実	1
	医療的ケアについて	6
	短期入所やレスパイト、預かりの場の充実	1
療育・保育・教育		**46**
	教員の質の向上/教員に対する教育	5
	教育の充実	2
	特別支援学校の充実	12
	特別支援学級の充実	3
	療育施設の整備・充実	11
	継続した支援について	5
	サービスの利用基準の見直し	2
	保育施設の充実	6
経済的支援		**31**
	交通費の補助・割引	2
	医療費の負担の軽減	2
	経済的支援の充実	3
	サービス・施設利用の費用について	5
	手当の充実、要件の見直し	9
	その他料金等の軽減・免除	7
	年金の充実・増額	2
	住居に対する経済的援助	1
情報・相談		**42**
	情報提供の充実	27
	相談体制の充実/相談しやすい環境づくり	15

行政の制度・施策	**28**
障害者施策の充実	16
福祉施策全般の充実	1
介護保険制度について	4
高齢者施策の充実	7
障害への理解等	**12**
理解の促進、教育	12
インフラ・設備・交通	**21**
交通手段・交通機関の充実	4
駅やトイレ、建物、バスのバリアフリー化	5
外出しやすい街づくり	5
道路の整備	5
駐車場・駐輪場の増加・充実	2
支援者・事業者	**1**
職員の質の向上	1
医療・健康	**22**
障害専門の医療機関の充実	17
医療機関の充実	5
防災	**3**
災害時の避難について	3
行政の対応	**10**
職員の対応の改善	6
職員の知識、スキルの向上	4
行政の手続き	**8**
事務手続きの簡略化/手続きを迅速に	5
手続き場所を便利な場所に/手続きの土日対応	3
就労	**9**
就労支援の充実	3
就労の場・就労機会の充実	6
権利擁護	**5**
成年後見制度について	3
虐待・差別について	2
アンケートについて	**11**
内容や量について	10
封筒について	1
その他	**16**
合計	**321**

流山市
障害福祉計画アンケート調査
【結果報告書】

令和５年３月

発　行：流山市
編　集：流山市　健康福祉部　障害者支援課
〒270-0192　千葉県流山市平和台 1-1-1
電話：04-7158-1111（代表）